

2025年度 第2回
歯科衛生士模擬試験

解 答・解 説

解答・解説の見方

解説の記載は基本的に①問題に対する総論的解説、②選択肢ごとの○×、③各選択肢の解説という構成になっています。ただし、設問の性質その他によって上記の一部を記載していない問題もあります。

選択肢については内容が正しい肢に○、誤っている肢に×を付しています。

<注意>

選択肢の○×は内容主体に付されています。

正しい選択肢を問う問題については内容の正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

一方、誤っている選択肢を問う問題についても内容が正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

ex.

【正しい選択肢を問う問題の場合】

問 魚類について正しいのはどれか。

- a 光合成を行う。
- b えら呼吸を行う。
- c 羽毛がある。
- d 胎生である。

解答 b

- a × 光合成を行うのは植物の性質である。
- b ○
- c × 羽毛があるのは鳥類である。
- d × 胎生は哺乳類の特徴である。

【誤っている選択肢を問う問題の場合】


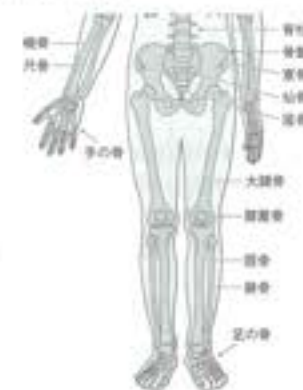
問 魚類について誤っているのはどれか。

- a えら呼吸を行う。
- b 水中を移動する。
- c 光合成を行う。
- d 卵を産む。

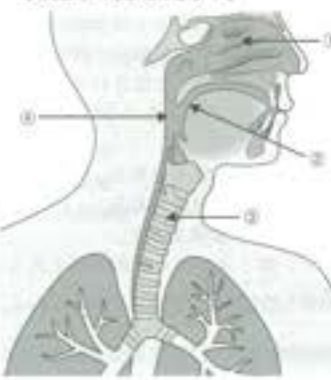

解答 c

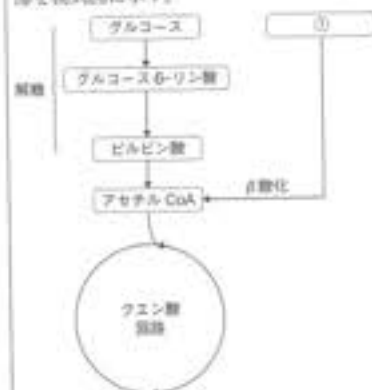
- a ○
- b ○
- c × 光合成を行うのは植物の性質である。
- d ○

正解であるcに“×”が付きます

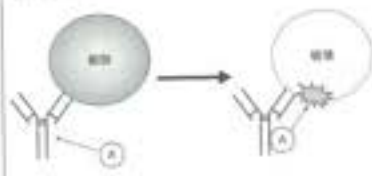
午前問題	解答・解説
人体と歯・口腔の構造と機能	
<p>1 骨の模式図を示す。</p>  <p>○の関節をつくる骨はどれか。2つ選べ。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 脛骨 b 腓骨 c 膝蓋骨 d 大腿骨 <p>▶keyword: 膝関節、脛骨</p>	<p>【解答】: a, d</p> <p>○は膝関節を示している。膝関節は大腿骨と脛骨によって形成される。大腿骨は股関節から膝関節に至る大腿部に存在する大きな長骨である。上端には球状の大転子頭が内上方に突出して寛骨と関節を形成し、股関節をつくる。下端は左右に隆起（内側顆・外側顆）をつくり、この関節面をもって脛骨の上端部と接して膝関節をつくる。脛骨は下腿の内側に位置する三角柱状の長骨で、内外側に大きく肥厚した上端と、三角柱状の脛骨体、下端の内果に分けられる。上端部の上面には上関節面を有し、大腿骨との間に膝関節をつくる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> a ○ b × 腓骨は脛骨の外側に位置する細長い骨で、上端の腓骨頭と下端の外果および両端を結ぶ腓骨体とからなり、膝関節の形成には加わらない。 c × d ○ <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 62-63</p>
<p>2 扁桃窩に存在するのはどれか。1つ選べ。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 舌扁桃 b 咽頭扁桃 c 口蓋扁桃 d 耳管扁桃 <p>▶keyword: 口腔、扁桃、Waldeyer (ワルグダイエル)の咽頭輪</p>	<p>【解答】: c</p> <p>扁桃は口腔すなわち口腔と咽頭の間に存在する集合リンパ小節で、口腔や鼻腔から侵入するウイルスや細菌が体内に取り込まれるのを防ぐ役割をもつ。口蓋扁桃、舌扁桃、咽頭扁桃、耳管扁桃は口腔の周りでWaldeyer (ワルグダイエル)の咽頭輪を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a × 舌扁桃は分界溝より後方の舌根部の粘膜下に存在する。 b × 咽頭扁桃は咽頭後壁の上部に存在する。 c ○ 口蓋扁桃は口蓋舌弓と口蓋咽頭弓の間の扁桃窩にありアーモンド (扁桃) 状の形態をしている。 d × 耳管扁桃は耳管咽頭口の後方に位置する。 <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 48-49</p>

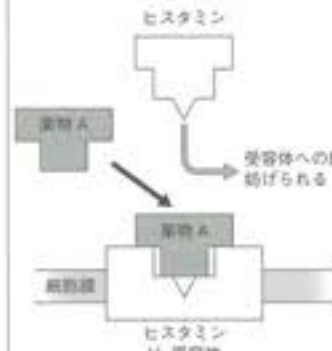
午前問題	解答・解説
<p>3 歯の研磨標本の顕微鏡写真(別冊 No. 1)を別に示す。 矢印が示すのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a エナメル質 b エナメル質 c Retzius (レチウス) 条 d Schreger (シュレーゲル) 条</p> <p>▶keyword: エナメル質、Retzius (レチウス) 条、成長線</p>	<p>【解答】: c</p> <p>エナメル質は歯冠象牙質を覆う石灰化組織であり人体で最も硬い構造物である。厚さは切縁部や咬頭部で厚く、歯頸部で薄い。硬さは、Mohs (モース) 硬度6~7であり水晶の硬さと同等である。永久歯は重量比で約95%が無機質で構成された結晶化したリン酸カルシウムで、ヒドロキシアパタイト (ハイドロキシアパタイト) である。エナメル質の主体となる構造はエナメル-象牙境からエナメル質表面へ走行するエナメル小柱である。エナメル質の成長線としてエナメル横紋、Retzius (レチウス) 条、新産線などがある。</p> <p>a × エナメル質はエナメル-象牙境からエナメル質の内層にわたって見られる葉状の構造をさす。 b × エナメル質はエナメル-象牙境からエナメル質表面まで到達する裂け目状の構造をさす。 c ○ Retzius (レチウス) 条はエナメル質の成長線と考えられる線条である。エナメル質内に放物線を描いて走る暗い線条として観察される。 d × Schreger (シュレーゲル) 条はエナメル-象牙境とほぼ直交するように色の濃い部分と薄い部分が交互に認められる環状の編み模様をさす。</p> <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 137-141</p>
<p>4 鰓弓と由来する筋との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 第一鰓弓—咬筋 b 第二鰓弓—口輪筋 c 第三鰓弓—側頭筋 d 第四鰓弓—外側翼突筋</p> <p>▶keyword: 鰓弓、咀嚼筋、顔面筋 (表情筋)</p>	<p>【解答】: a, b</p> <p>頭頸部の形成は将来の頭・頸部領域にできる嚔らみである鰓弓 (咽頭弓) が関わる。頭側から尾側に向かって第一~第六鰓弓という (ただし、ヒトでは第五鰓弓は一時的に出現するが、退化する) が、各鰓弓から鰓弓特有の筋、血管、神経、軟骨が発生する。第一鰓弓は顎骨弓ともよばれ、三叉神経 (V) が発生する。そのため三叉神経に支配される咀嚼筋も第一鰓弓由来である。第二鰓弓は舌骨弓ともよばれ、顔面神経 (VII) が発生し、顔面神経に支配される顔面筋 (表情筋) も第二鰓弓から生じる。第三鰓弓および第四~第六鰓弓に由来する構造物はそれぞれ、舌咽神経および迷走神経によって支配される。各鰓弓由来の構造物の主な機能は、第一鰓弓が咀嚼、第二鰓弓が表情、第三鰓弓が嚔下、第四~第六鰓弓が発声である。また鰓弓の支柱となる構造として、第一鰓弓では Meckel (メッケル) 軟骨、第二鰓弓では Reichert (ライヘルト) 軟骨がある。</p> <p>a ○ 咬筋は咀嚼筋に属する筋で、咀嚼筋は第一鰓弓由来の三叉神経に支配される。 b ○ 口輪筋は顔面筋 (表情筋) に属する筋で、顔面筋は第二鰓弓由来の顔面神経に支配される。 c × 側頭筋は咀嚼筋に属する筋で、咀嚼筋は第一鰓弓由来の三叉神経に支配される。 d × 外側翼突筋は咀嚼筋に属する筋で、咀嚼筋は第一鰓弓由来の三叉神経に支配される。</p> <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 170-171 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 70 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 97</p>

午前問題	解答・解説
<p>5 呼吸器系の模式図を示す。</p>  <p>機械的な刺激でくしゃみ反射が誘発されるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: くしゃみ反射、気道防御反射、上気道</p>	<p>【解答】: a</p> <p>くしゃみ反射は、鼻腔の粘膜など上気道の粘膜がほこりや異物による機械的、化学的刺激を受けた際に起こる防御反応である。鼻粘膜の刺激情報は、三叉神経第2枝 (上顎神経) を介して延髄に伝達され、くしゃみ反射が引き起こされる。一方、咳反射は下気道 (気管より下) への異物による機械的、化学的刺激によって発生する。</p> <p>a ○ ①は鼻腔の粘膜である。刺激によって三叉神経第2枝を活性化すると、くしゃみ反射が起こる。 b × ②は舌根部の粘膜である。刺激によって舌咽神経、迷走神経が活性化すると、嘔吐反射を引き起こす。 c × ③は気管の粘膜である。刺激によって迷走神経を活性化すると咳反射を引き起こす。 d × ④は咽頭口部 (中咽頭) の後壁粘膜である。刺激によって活性化すると、嘔吐反射を引き起こす。</p> <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 232 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 242-247 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 107</p>
<p>6 有髄神経線維の模式図を示す。</p>  <p>①はどれか。1つ選べ。</p> <p>a 筋上皮細胞 b 線維芽細胞 c マクロファージ d Schwann (シュワン) 細胞</p> <p>▶keyword: 有髄神経線維、髓鞘、グリア細胞</p>	<p>【解答】: d</p> <p>神経線維は神経突起 (軸索) と髓鞘 (ミエリン鞘) とよばれるリン脂質に富む鞘からなる。髓鞘をもつ神経線維を有髄神経線維、髓鞘をもたない神経線維を無髄神経線維という。髓鞘は中枢神経では希突起膠細胞が、末梢神経では Schwann (シュワン) 細胞がつくる。髓鞘は一定間隔で途切れており、その部分を Ranvier (ラングヴィエ) の絞輪という。①は髓鞘を示している。</p> <p>a × 筋上皮細胞は、一部の外分泌腺 (唾液腺、汗腺、乳腺など) の終末部の周りをかごのように取り囲む細胞で、収縮することによって分泌物を絞り出すように放出させる働きをもつ。 b × 線維芽細胞は、結合組織に存在する細長く扁平な細胞で、線維成分をつくる。 c × マクロファージは、白血球の一種である単球が血管外へ遊走して転化した免疫系の細胞で、活発な食作用を示す。 d ○ Schwann (シュワン) 細胞はグリア細胞の一種で、末梢神経に存在し髓鞘を形成する。</p> <p>【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 182 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 21, 54</p>

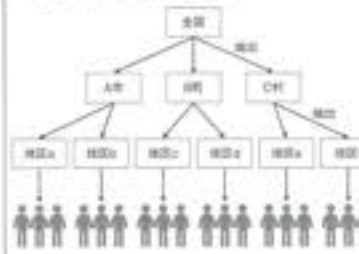
午前問題	解答・解説
<p>7 唾液に含まれる HCO_3^- の生成を促進する酵素はどれか、1つ選べ。</p> <p>a アミラーゼ b リゾチーム c 炭酸脱水酵素 d ペルオキシダーゼ</p> <p>▶keyword: 唾液、細菌作用</p>	<p>解答: c</p> <p>唾液には、細菌が産生する酸を中和する緩衝作用に働く成分として HCO_3^- (重炭酸イオン) が含まれている。 HCO_3^- は、線条部導管の細胞がもつ炭酸脱水酵素の作用で CO_2 (二酸化炭素) から生成が促進され、線条部導管において分泌される。また、炭酸脱水酵素自体も唾液中に分泌されるため、唾液中でも CO_2 から HCO_3^- 生成が行われている。</p> <p>a × アミラーゼは、デンプンを分解する唾液中の消化酵素である。 b × リゾチームは、細菌の細胞壁を分解し溶菌させる酵素である。 c ○ 炭酸脱水酵素は、 CO_2 から HCO_3^- の生成を促す酵素である。 d × ペルオキシダーゼは、唾液中のチオシアン酸イオンから抗菌物質であるヒポチオシアン酸イオンを生成する酵素である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 260-262、265-267 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 49-50</p>
<p>8 エネルギー産生に関与する代謝経路の一部を模式図に示す。</p>  <p>①はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 脂肪酸 b アミノ酸 c グリセロール d コレステロール</p> <p>▶keyword: 脂肪酸、β酸化</p>	<p>解答: a</p> <p>①は脂肪酸である。脂質の主なエネルギー基質である中性脂肪(トリグリセリド)は、リパーゼによってグリセロールと脂肪酸に分解され、グリセロールは解糖で、脂肪酸はβ酸化によって代謝される。β酸化は脂肪酸の炭素を2原子ずつ切断し、炭素数2のアセチル CoA に変換する代謝経路で、その過程で還元力も生成される。この反応はミトコンドリアのマトリックスで行われる。β酸化によって生じたアセチル CoA はクエン酸回路に、還元力は電子伝達系に送られ、エネルギー(ATP)産生に関与する。</p> <p>a ○ b × アミノ酸は、アミノ基転移反応や酸化的脱アミノ反応といった代謝反応で2-オキソ酸となり、ピルビン酸、アセチル CoA、クエン酸回路で引き続き代謝される。 c × グリセロールは、解糖の反応過程に合流して代謝される。 d × コレステロールは生体膜の構成成分、胆汁酸やステロイドホルモンなどの合成材料として重要であるが、体内で分解されないためエネルギー産生には関与しない。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 37-40</p>



午前問題	解答・解説
疾病の成り立ち及び回復過程の促進	
<p>9 血栓が存在すると脳塞栓症(脳梗塞)を引き起こす可能性があるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 右心房 b 左心房 c 腎動脈 d 大腸静脈</p> <p>▶keyword: 脳梗塞、遊離血栓、塞栓症</p>	<p>解答: b</p> <p>脳梗塞は、脳の栄養動脈の虚血によりその動脈から酸素や栄養を受けている神経細胞が壊死に陥ること、脳内で生じた血栓症や他部からの遊離血栓による塞栓により引き起こされる。遊離血栓は血液循環に随い移動するので、どの部位で血栓が生じたかにより脳梗塞を起こす可能性が異なる。</p> <p>a × 右心房の血栓が遊離すると、血流に従い肺動脈に移動し、肺血栓塞栓症を引き起こす可能性がある。 b ○ 左心房の血栓が遊離すると、血流に従い大動脈から総頸動脈を介して脳動脈に移動し、心原性脳塞栓症を引き起こす可能性がある。 c × 腎動脈の血栓が遊離すると、さらに先の径の小さい腎動脈を閉塞させ、腎梗塞を引き起こす可能性がある。 d × 大腸静脈の血栓が遊離すると、下大静脈から右心房、右心室を経由して肺動脈に移動し、肺血栓塞栓症を引き起こす可能性がある。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 17-20 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 111-113 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 9-12、123</p>
<p>10 象牙質の蝕門層の外層(第一層)の特徴はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 痛覚がある。 b 細菌の感染はない。 c う蝕検知液で濃染される。 d 象牙細管内に顆粒状結晶が沈着する。</p> <p>▶keyword: 外層(第一層)、軟化象牙質、細菌感染、う蝕検知液</p>	<p>解答: c</p> <p>象牙質の蝕門層の層構造は、表層から多歯層(樹状層)→寡歯層→先駆歯層→混濁層(脱灰層)→透明層→生活反応層からなる。外層(第一層)は、多歯層(樹状層)→寡歯層→先駆歯層で細菌感染がみられ、軟化象牙質にあたる。内層(第二層)は、混濁層(脱灰層)→透明層→生活反応層で細菌感染はみられない。生活反応層では、象牙細管内に無機質の顆粒状結晶の沈着が認められる。</p> <p>a × 痛覚があるのは内層(第二層)である。 b × 外層(第一層)では細菌感染がみられ、内層(第二層)では細菌感染はみられない。 c ○ う蝕検知液で濃染されるのは軟化象牙質で、外層(第一層)である。 d × 象牙細管内に無機質の顆粒状結晶の沈着が認められるのは生活反応層で内層(第二層)である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 94-95 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 141</p>
<p>11 エナメル上皮層の特徴はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 高齢者に好発する。 b 前歯部に好発する。 c 顎骨内を浸潤性増殖する。 d 上皮間葉性混合腫瘍である。</p> <p>▶keyword: エナメル上皮腫、歯原性腫瘍、顎骨内腫瘍、浸潤性増殖</p>	<p>解答: c</p> <p>エナメル上皮腫は、腫瘍実質が歯胚の上皮成分であるエナメル器や歯境に類似した組織像を呈し、さまざまな程度の分化を示す上皮性歯原性腫瘍である。歯原性腫瘍のなかで歯牙腫と並んで発生頻度が高い。代表的な通常型の組織像である濾胞型と巣状型のエナメル上皮腫は20~30歳代に好発し、性差はない。発育は緩慢で、増大すると、皮質骨の菲薄化により羊皮紙様感を触知するようになる。病変に隣在する歯の歯根に特徴的な吸収を認める。</p> <p>a × エナメル上皮腫は20~30歳代に好発する。 b × エナメル上皮腫の好発部位は下顎の大白歯部から下顎体である。 c ○ エナメル上皮腫は顎骨内を浸潤性増殖し骨吸収を特徴とする。 d × エナメル上皮腫は良性上皮性腫瘍である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 138-139 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 153</p>

午前問題	解答・解説
<p>12 ある血清タンパク質Aの免疫作用を模式図に示す。</p>  <p>Aが関与するアレルギーはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 遅延型アレルギー b 細胞傷害型アレルギー c 免疫複合体型アレルギー d アナフィラキシー型アレルギー</p> <p>▶keyword: 補体, II型アレルギー, II型アレルギー</p>	<p>▶解答: b, c</p> <p>血清タンパク質Aは補体である。模式図では細胞表面に結合した抗体のFc領域に補体が結合し、細胞膜に孔をあけて破壊する様子を示している。補体が関与するアレルギーは細胞傷害型(II型)と免疫複合体型(III型)である。</p> <p>a × 遅延型(IV型)アレルギーは細胞性免疫であり、T細胞やマクロファージによる標的細胞の直接傷害を特徴とし、補体の関与はない。</p> <p>b ○ 細胞傷害型(II型)アレルギーでは、標的細胞表面抗原にIgGやIgMが結合すると補体が活性化される。細胞と結合状態の抗体のFc領域に補体が結合したのち、さらに膜浸透複合体が形成され、パーフォリン作用により細胞膜に孔があき標的細胞は破壊される。</p> <p>c ○ 免疫複合体型(III型)アレルギーでは、抗原抗体複合体(免疫複合体)の組織沈着により組織傷害が起きる。免疫複合体形成により補体が活性化され、膜浸透複合体形成、血管透過性亢進、食細胞の遊走と酵素放出などを誘導し、組織傷害を起こす。</p> <p>d × アナフィラキシー型(I型)アレルギーはIgE抗体-肥満細胞複合体の抗原刺激により誘発され、補体の関与はない。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版 166, 182-187</p>
<p>13 歯肉線下プラークから採取した細菌のグラム染色像(別冊No.2A)および血液寒天培地で形成したコロニーの写真(別冊No.2B)を別に示す。</p> <p>この細菌はどれか、1つ選べ。</p> <p>a <i>Actinomyces israelii</i> b <i>Streptococcus mitis</i> c <i>Porphyromonas gingivalis</i> d <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i></p> <p>▶keyword: <i>Porphyromonas gingivalis</i>, グラム染色法</p>	<p>▶解答: c</p> <p>歯肉線下プラークに生息する歯周病原細菌の性状を問う問題である。写真Aの染色像ではプラーク中の細菌は赤色の楕円形状を呈しており、グラム陰性桿菌であることがわかる。またBのコロニーは黒色に着色し、コロニー周囲に溶血がみられることから <i>Porphyromonas gingivalis</i> と推測できる。</p> <p>黒色素産生性で溶血活性を有する歯周病原細菌のなかで、グラム陰性(赤色)桿菌(楕円形)としては <i>P. gingivalis</i> があげられる。</p> <p>なお、黒色素はヘモグロビン鉄の代謝で生じるヘマチンと硫化鉄で、溶血活性は溶血毒素によるものである。</p> <p>a × <i>Actinomyces israelii</i> は、グラム陽性桿菌(グラム染色で青色)であり、黒色素も溶血毒も産生しない。</p> <p>b × <i>Streptococcus mitis</i> は、グラム陽性球菌であり、黒色素を産生しない。α溶血や弱いβ溶血を示すことがあるが、写真のような明瞭なβ溶血は起こさない。</p> <p>c ○ <i>Porphyromonas gingivalis</i> は、グラム陰性桿菌であり、黒色素を産生し、溶血性も示す。</p> <p>d × <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> は、グラム陰性桿菌であり溶血性も示すが、黒色素は産生しない。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版 38, 96</p>

午前問題	解答・解説										
<p>14 OTC医薬品の分類と購入者への情報提供を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1481 251 1838 405"> <thead> <tr> <th>OTC医薬品分類</th> <th>購入時の情報提供</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>薬剤師が対面で書面での情報提供(義務)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>薬剤師が書面での情報提供(義務)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>薬剤師または登録販売者が情報提供(努力義務)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>法律上の規定なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>要指導医薬品はどれか、1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: OTC医薬品, 要指導医薬品, 一般用医薬品</p>	OTC医薬品分類	購入時の情報提供	①	薬剤師が対面で書面での情報提供(義務)	②	薬剤師が書面での情報提供(義務)	③	薬剤師または登録販売者が情報提供(努力義務)	④	法律上の規定なし	<p>▶解答: a</p> <p>OTC医薬品は、要指導医薬品と一般用医薬品(第1類医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品)に分類される。</p> <p>a ○ 購入時、薬剤師が対面で書面での情報提供(義務)を必要とするのは、要指導医薬品である。</p> <p>b × 購入時、薬剤師が書面での情報提供(義務)を必要とするのは、一般用医薬品の第1類医薬品である。</p> <p>c × 購入時、薬剤師または登録販売者が情報提供(努力義務)を必要とするのは、一般用医薬品の第2類医薬品である。</p> <p>d × 購入時の情報について、法律上の規定がないのは一般用医薬品の第3類医薬品である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 63-64</p>
OTC医薬品分類	購入時の情報提供										
①	薬剤師が対面で書面での情報提供(義務)										
②	薬剤師が書面での情報提供(義務)										
③	薬剤師または登録販売者が情報提供(努力義務)										
④	法律上の規定なし										
<p>15 ヒスタミンH₂受容体に対する薬物Aの作用を模式図に示す。</p>  <p>薬物Aはどれか、1つ選べ。</p> <p>a ロクロニウム臭化物 b アトロピン硫酸塩水和物 c プロプラノロール塩酸塩 d ジフェンヒドラミン塩酸塩</p> <p>▶keyword: 受容体を介する薬物の作用, 作用薬, 拮抗薬</p>	<p>▶解答: d</p> <p>模式図から薬物AがヒスタミンH₂受容体に結合して、ヒスタミンと競合的に拮抗する薬物であることがわかる。</p> <p>a × ロクロニウム臭化物は筋肉型ニコチン性受容体に結合して、アセチルコリンと競合的に拮抗する薬物である。</p> <p>b × アトロピン硫酸塩水和物はムスカリン性受容体に結合して、アセチルコリンと競合的に拮抗する薬物である。</p> <p>c × プロプラノロール塩酸塩はアドレナリンβ受容体に結合して、アドレナリンやノルアドレナリンと競合的に拮抗する薬物である。</p> <p>d ○ ジフェンヒドラミン塩酸塩はヒスタミンH₂受容体に結合する拮抗薬であり、抗ヒスタミン薬ともよばれる。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 9-12, 79-87, 130</p>										

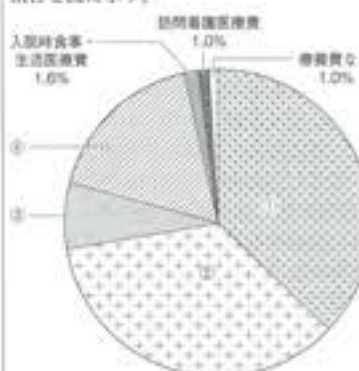
午前問題	解答・解説
<p>16 局所麻酔薬の基本構造を同じ示す。</p>  <p>この基本構造をもつのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a プロカイン塩酸塩 b リドカイン塩酸塩 c テトラカイン塩酸塩 d プロピトカイン塩酸塩</p> <p>▶keyword: アミド型局所麻酔薬、エステル型局所麻酔薬</p>	<p>▶解答: b, d</p> <p>局所麻酔薬の構造は、脂溶性部分である芳香族残基、水溶性部分であるアミノ基と中間鎖からなる。アミド型局所麻酔薬は中間鎖にアミド結合 ($\text{NH}-\text{C}(=\text{O})$)、エステル型局所麻酔薬はエステル結合 ($\text{O}-\text{C}(=\text{O})$) をもつ。図の化学構造にはアミド結合が含まれていることより、図の基本構造をもつのはアミド型局所麻酔薬である。</p> <p>a × プロカイン塩酸塩はエステル型局所麻酔薬である。 b ○ リドカイン塩酸塩はアミド型局所麻酔薬である。 c × テトラカイン塩酸塩はエステル型局所麻酔薬である。 d ○ プロピトカイン塩酸塩はアミド型局所麻酔薬である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 168-171</p>
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	
<p>17 高値の場合にう蝕活動性が高いと判定するのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 唾液流量 b 唾液緩衝能 c 唾液粘稠度 d 唾液中乳酸桿菌数</p> <p>▶keyword: う蝕活動性試験、唾液粘稠度、乳酸桿菌</p>	<p>▶解答: c, d</p> <p>う蝕活動性試験の評価項目は、宿主因子と微生物因子に大別される。宿主因子のうち唾液の評価項目には、流量、粘稠度、緩衝能、グルコースクリアランステスト、pHがある。微生物因子の評価項目には、グラム陽性菌数、乳酸桿菌数、ミュータンスレンザ球菌数、細菌の酸産生能がある。</p> <p>a × 唾液流量は低値でう蝕活動性が高いと判定される。流量が少ないと唾液の浄化(自浄)作用が低下する。 b × 唾液緩衝能は低値でう蝕活動性が高いと判定される。緩衝能が低いと口腔内やブラーク中のpHが低下した状態が長くなる。 c ○ 唾液粘稠度は高値でう蝕活動性が高いと判定される。粘稠度が高いと唾液の浄化(自浄)作用が低下する。 d ○ 唾液中乳酸桿菌数は高値でう蝕活動性が高いと判定される。乳酸桿菌はう蝕に関連する細菌である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 150-151 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 144</p>
<p>18 プロフェッショナルケアに用いられるフッ化物はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 珪フッ化ナトリウム b 8%フッ化第一スズ溶液 c 0.1%フッ化ナトリウム溶液 d リン酸酸性フッ化ナトリウム</p> <p>▶keyword: フッ化物歯面塗布法、プロフェッショナルケア</p>	<p>▶解答: b, d</p> <p>う蝕予防におけるプロフェッショナルケアにはフッ化物歯面塗布のフッ化物応用、PTCやPMTCなどの専門家による歯面清掃、小窩裂溝塞塞などがある。</p> <p>a × 水道水フロリデーションに用いられる。 b ○ フッ化物歯面塗布に用いられる。 c × 洗口法(毎日法)に用いられる。 d ○ フッ化物歯面塗布に用いられる。日本の場合、フッ化物イオン濃度は0.9% (9,000 ppm) である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 168-184</p>

午前問題	解答・解説
<p>19 学校保健について正しいのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 幼稚園児は学校歯科保健の対象である。 b 健康診断は保健管理領域の活動である。 c 学校歯科医は非常勤の学校保健職員である。 d 学校給食の普及は学校保健安全法の目的に含まれる。</p> <p>▶keyword: 歯科保健教育、健康診断、学校歯科医</p>	<p>▶解答: a, b</p> <p>学校保健は、保健教育、保健管理、組織活動の3領域で展開される。対象は学校教育法で規程されている学校の幼児、児童生徒、学生および職員である。学校歯科医は非常勤の学校保健職員として、大学以外の学校に置かれる。</p> <p>a ○ 幼稚園の幼児は学校歯科保健の対象である。 b ○ 健康診断は保健管理領域のうち、対人管理の心身の管理に含まれる。 c × 学校歯科医は非常勤の学校保健職員である。 d × 学校給食の普及は学校給食法の目的である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 264-279</p>
<p>20 標本抽出法を同じ示す。</p>  <p>正しいのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 系統抽出法 b 多段抽出法 c 有意抽出法 d 単純無作為抽出法</p> <p>▶keyword: 標本抽出法、多段抽出法</p>	<p>▶解答: b</p> <p>母集団の一部を抽出して調査する方法を標本調査という。標本を抽出する方法には、有意抽出法と無作為抽出法がある。無作為抽出法には、単純無作為抽出法、系統抽出法、多段抽出法、層化抽出法がある。</p> <p>a × 系統抽出法は母集団の一覧から等間隔で調査対象者を抽出する方法である。 b ○ 多段抽出法は複数の段階に分けて標本を抽出する方法である。図に示す方法は標本抽出を2段階で行っており、母集団から対象となる市町村を無作為に抽出した後に、対象地域を抽出して標本を決定している。 c × 有意抽出法は母集団から調査者が意図的に標本を選び出す方法である。 d × 単純無作為抽出法は母集団から必要な抽出数を無作為に選択し、調査の対象とする方法である。</p> <p>▶文献: 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 84-88</p>

午前問題	解答・解説
<p>21 令和4年歯科疾患実態調査結果のうち、う歯(DMF歯)、歯周ポケット(4mm以上)、現在歯20本以上、喪失歯を有する者の年齢別割合を国に示す。</p>  <p>歯周ポケット(4mm以上)はどれか、1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 歯科疾患実態調査、歯周ポケット(4mm以上)を有する者の割合、現在歯20本以上を有する者の割合</p>	<p>解答: d</p> <p>歯科疾患実態調査では、う歯の有病率や平均歯数、現在歯の保有状況、喪失歯およびその補綴状況、歯肉の状況などが調査されている。</p> <p>a × 喪失歯を有する者の割合である。喪失歯を有する者の割合は、加齢とともに増加し、50~60歳代で約60%、60~70歳代で約80%となる。</p> <p>b × う歯(DMF歯)を有する者の割合である。う歯(DMF歯)を有する者の割合は、加齢とともに増加し、40歳代ではほぼ100%となる。</p> <p>c × 現在歯20本以上を有する者の割合である。現在歯20本以上を有する者の割合は、加齢とともに減少し、80歳前後で約50%となる。80歳代は51.6%と推計されている。</p> <p>d ○ 歯周ポケット(4mm以上)を有する者の割合である。歯周ポケット(4mm以上)を有する者の割合は、加齢とともに増加し、60~70歳代でピークとなり、その後、やや減少する。</p> <p>文源: 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 119-125 令和4年歯科疾患実態調査結果の概要 https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf</p>
<p>22 3歳児歯科健康診査の結果の一部を国に示す。</p>  <p>う歯罹患率はどれか、1つ選べ。</p> <p>a A型 b B型 c C₁型 d C₂型</p> <p>▶keyword: 3歳児歯科健康診査、う歯罹患率</p>	<p>解答: b</p> <p>3歳児歯科健康診査のう歯罹患率判定区分は、O型:う歯がない、A型:上顎前歯部のみ、または白歯部にのみう歯がある、B型:白歯部および上顎前歯部にう歯がある、C₁型:下顎前歯部にのみう歯がある、C₂型:下顎前歯部と他の部位にう歯がある、であり、う歯罹患率に基づき歯科保健指導が行われる。</p> <p>a × b ○ この患児は白歯部および上顎前歯部にう歯があるため、う歯罹患率はB型である。</p> <p>c × d ×</p> <p>文源: 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 258-260 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 34</p>

午前問題	解答・解説
<p>23 大規模災害時のアセスメント票の使用目的はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 口腔内の死後記録 b 避難所の情報の迅速評価 c 緊急時の具体的な行動指針 d 罹病者の治療優先順位区分表示</p> <p>▶keyword: アセスメント票、ラビッドアセスメント(災害時迅速評価)</p>	<p>解答: b</p> <p>災害時の迅速評価はラビッドアセスメントともよばれ、時間や手段、要員などが制約されるなかで、支援に必要な内容や優先度を把握するための情報を効果的に収集し分析することをいう。実際には、保健医療の全体概要を把握するものから個々の課題別のもので、さまざまな種類のアセスメント票が用いられる。歯科分野においては、施設・避難所等歯科口腔保健ラビッドアセスメント票などが用いられている。</p> <p>a × デンタルチャートの使用目的である。 b ○ c × アクションカードの使用目的である。 d × トリアージタグの使用目的である。</p> <p>文源: 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 322, 324, 329 災害歯科医学 48-51</p>
<p>24 ノーマライゼーションに関係するのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a バリアフリーの推進 b ヘルスプロモーションの啓発 c ユニバーサルデザインの考案 d リハビリテーション施設の設置</p> <p>▶keyword: ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン</p>	<p>解答: a, c</p> <p>ノーマライゼーションとは社会福祉の基本理念であり、地域社会のなかで何らかの障害をもつ人などの弱者が、できる限り健常者と同じような社会生活を送れるようにすることである。</p> <p>a ○ ノーマライゼーションの概念を具現化する柱の一つで、高齢者や障害者などが生活していくうえで障壁となるものを除去することである。障壁となるものには物理的、社会的、制度的、心理的、情報面などがある。</p> <p>b × ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである。オタワ憲章で提唱された。</p> <p>c ○ ノーマライゼーションの概念を具現化する柱の一つである。ユニバーサルデザインは誰にでも使いやすく、優しい製品や環境であるためのデザイン(設計)のことである。</p> <p>d × リハビリテーション施設は理学療法や作業療法などのリハビリテーションを行う施設のことである。</p> <p>文源: 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 3 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 5-6</p>
<p>25 窒素酸化物が主要な原因となるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 砂漠化 b オゾン層破壊 c 海洋プラスチック汚染 d 光化学オキシダント形成</p> <p>▶keyword: 窒素酸化物、光化学オキシダント</p>	<p>解答: d</p> <p>自動車や工場などから排出される窒素酸化物や炭化水素類は、太陽光の紫外線との化学作用により、酸化力の強いオキシダントとなる。オキシダントは刺激性、酸化作用があり、眼や咽頭、気管支を刺激したり、植物への影響、ゴムの亀裂などを起こしたりする。</p> <p>a × 家畜の過放牧、過剰な耕作、木材の過剰伐採などが原因である。 b × フロン類(クロロフルオロカーボン、ハイドロクロロフルオロカーボン、ハイドロフルオロカーボン)などが原因である。 c × 不適切に処理され自然界に流出したプラスチックが原因となり、海の生態系などの環境を破壊している問題をいう。 d ○ 窒素酸化物や炭化水素類が原因である。</p> <p>文源: 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 38, 51-53 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 40-44</p>

午前問題	解答・解説
26 感染性廃棄物につけるバイオハザードマークの色が示すのはどれか。1つ選べ。 a 性状 b 排出年月日 c 処理の委託先 d 病原微生物の種類 keyword: 廃棄物処理、感染性廃棄物、バイオハザードマーク	解答: a 感染性廃棄物とは、「医療関係機関等から生じ、人が感染し、若しくは感染するおそれのある病原体（感染性病原体）が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物」をいう（廃棄物処理法施行令）。感染性のあるものは特別管理一般廃棄物あるいは特別管理産業廃棄物として、分別処理されなければならない。その際、感染性廃棄物であることを識別できるように、種類（性状）別に色分けしたバイオハザードマークをつけることが望ましい。 a○ 黄色は鋭利なもの（注射針等）、分別排出が困難なもの、赤色は液状または泥状のもの（血液等）、棕色は固形状のもの（血液等が付着したガーゼ等）と性状によって区別される。 b× c× d× 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 59-60 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 46
27 EBM を実践する際のスタッフを示す。 ① 事後評価 ② 患者への適用 ③ 文献情報の検索 ④ 文献の批判的吟味 ⑤ 患者の問題の定式化 手順で正しいのはどれか。1つ選べ。 a ③→②→④→⑤→① b ③→④→⑤→②→① c ⑤→③→④→②→① d ⑤→③→②→④→① keyword: EBM	解答: c EBMとは根拠に基づく医療（Evidence-based Medicine）のことである。実践の手順はSTEP1:問題の定式化、STEP2:情報の収集と選択（文献情報の検索）、STEP3:情報の批判的吟味（文献の批判的吟味）、STEP4:情報の適用（患者への適用）、STEP5:自己評価（事後評価）である。 a× b× c○ d× 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 11-12 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 15-16 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 49-51
28 食品の製造工程における危害要因の管理手法はどれか。1つ選べ。 a HACCPシステム b リコールシステム c クレーム管理システム d トレーサビリティシステム keyword: HACCP	解答: a HACCPシステムは、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程のなかで、食品の製造・加工などの各工程における生物学的・化学的・物理的の危害を事前に分析し、重要管理点（CCP）を継続的に監視することで、安全性を確保する国際的な衛生管理手法である。 a○ HACCPとはHazard Analysis and Critical Control Point（危害要因分析・重要管理点）の略で、食品の製造工程での危害要因を事前に分析し、重要な工程を監視・記録することで、食品の安全性を維持する予防的手法である。日本でも制度化が進められ、すべての食品事業者を導入が義務化されている。 b× リコールシステムとは、製品出荷後に安全上の問題が判明した際に、その製品を回収するための仕組みである。HACCPのような製造段階での「予防」ではなく、「事後対応」の手段である。 c× クレーム管理システムとは、消費者からの苦情や意見を集約・対応するための体制や手順を指す。製造工程での危害要因管理とは関係しない。 d× トレーサビリティシステムとは、食品の生産から流通、販売までの履歴を追跡可能にする仕組みである。危害要因の管理とは異なるが、入荷食品の回収やリスク対応の迅速化には有効となる。 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 79 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 98

午前問題	解答・解説
29 健康増進法に基づく市町村の健康増進事業で実施されるのはどれか。1つ選べ。 a 結核検診 b HIV抗体検査 c 風しん抗体検査 d 肝炎ウイルス検診 keyword: 健康増進法、市町村の健康増進事業	解答: d 健康増進法に基づく健康増進事業で実施される検診は、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、がん検診である。 a× b× c× d○ 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 285 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 174-176 ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 110
30 就業歯科衛生士数は、衛生行政報告例において3年ごとに公表され、令和4年末現在では145,183人で、前年に比べて増加している。また、就業場所別に構成割合をみると、診療所が90.1%と最も多く、次に介護保険施設が5.1%である。 下線部で正しいのはどれか。2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④ keyword: 就業歯科衛生士数	解答: a, c 衛生行政報告例（主な就業医療関係者数等）における就業歯科衛生士数は、急激な増加が継続しており、平成22年には歯科医師数よりも多くなり、令和4年末現在は145,183人である。就業場所別に構成割合をみると、診療所（90.1%）、病院（5.1%）、市区町村（1.4%）、歯科衛生士学校または養成所（1.2%）、介護保険施設等（0.9%）の順である。 a○ b× 歯科衛生士法に基づいて2年ごとに実施される業務従事者届出の集計結果として、2年ごとに公表される。 c○ d× 診療所の次に多いのは病院である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 146 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 77-79 ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 112
31 令和4年度診療種類別国民医療費の構成割合を図に示す。  国民医療費の総額は、令和4年度で約47兆円となり、前年度比で3.7%の増加となった。 なお、診療種類別の国民医療費は次の通りである。 ◆医療入院医療費: 約17兆円、構成割合は37.2% ◆医療入院外医療費: 約16兆円、構成割合は35.3% ◆歯科診療医療費: 約3兆円、構成割合は6.9%（対前年比で25%の増加） ◆薬剤調剤医療費: 約8兆円、構成割合は17.1% a× ①は医療入院医療費である。 b× ②は医療入院外医療費である。 c○ ③は歯科診療医療費である。 d× ④は薬局調剤医療費である。 keyword: 国民医療費、歯科診療医療費	解答: c 国民医療費の総額は、令和4年度で約47兆円となり、前年度比で3.7%の増加となった。 なお、診療種類別の国民医療費は次の通りである。 ◆医療入院医療費: 約17兆円、構成割合は37.2% ◆医療入院外医療費: 約16兆円、構成割合は35.3% ◆歯科診療医療費: 約3兆円、構成割合は6.9%（対前年比で25%の増加） ◆薬剤調剤医療費: 約8兆円、構成割合は17.1% a× ①は医療入院医療費である。 b× ②は医療入院外医療費である。 c○ ③は歯科診療医療費である。 d× ④は薬局調剤医療費である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 147-151

午前問題		解答・解説
歯科衛生士概論		
32	セカンド・オピニオンの権利が示されているのはどれか。1つ選べ。 a シドニー宣言 b リスボン宣言 c ジュネーブ宣言 d ヘルシンキ宣言	解答: b セカンド・オピニオンとは、患者が診断や治療について正しく理解し、納得して治療を受けるために、自身の担当医師の意見（ファースト・オピニオン）に加えて、担当の医師以外の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞くことである。治療法や治療方針を選択する前に、その診断や治療法が最良であるか確認したいときに利用することが望ましいとされている。 a × 臓器移植・臓器提供に関する死亡判定の基準が示されている。 b ○ 患者の権利に関する宣言であり、このなかの「選択の自由の権利」においてセカンド・オピニオンの権利が示されている。 c × 人命尊重を基本理念とした医療職の職業倫理が示されている。 d × 人を対象とした医学研究に関する倫理が示されている。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 68、75 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学 41
▷keyword: セカンド・オピニオン、リスボン宣言		
33	歯科衛生研究における研究倫理で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 対象者の個人情報、適切に保護されなければならない。 b データを分析する前までに倫理審査の承認を受けなければならない。 c 研究者は継続して研究倫理についての研修を受けなければならない。 d 歯科衛生業務で自ら得たデータを用いた研究は倫理審査を受ける必要はない。	解答: a, c 歯科衛生研究は、日常の生活を営んでいる人々を対象とすることも多い。人を対象とした研究については、いかなる場合においても、常に人の生命を尊重し、個人の尊厳と人権を守ることが求められている。対象者（患者）は1人の人間であるという認識をもって、倫理的配慮を行うことが必要である。 a ○ 対象者の個人情報は、適切に保護されなければならない。 b × 倫理審査はすべての研究開始までに行うのが原則である。 c ○ 研究者は継続して研究倫理についての研修を受けなければならない。 d × 自分の臨床での研究であっても、人を対象とした場合は審査を受ける必要がある。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学 44-51 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 67-68
▷keyword: 研究倫理、倫理審査		
34	Edward Hall による対人距離の分類で、医療面接の際の距離として最も適切なのはどれか。1つ選べ。 a 公共距離 b 個体距離 c 社会距離 d 密接距離	解答: b 空間的距離・位置は、人と人との心理的な距離でもあり、関係性によって異なる。アメリカの文化人類学者である Edward Hall は、対人距離（パーソナルスペースの広さ）は相手との関係性によって変わるとして、密接距離、個体距離、社会距離、公共距離の4つに分類した。それぞれの距離は、さらに近接相と遠方相に分けられる。 (近い) 密接距離 < 個体距離 < 社会距離 < 公共距離 (遠い) a × 公共距離とは、講義・講演などの際の距離である。相手に個人を意識させない距離で、近接相は 360~760 cm、遠方相は 760 cm 以上である。 b ○ 個体距離とは、対話や会話の際の距離である。近接相は 45~75 cm（相手を捕まえられる距離）、遠方相は 75~120 cm（両者が手を伸ばせば指先が触れ合うことができる距離）である。 c × 社会距離とは、ビジネスのための会議などの際の距離である。近接相は 120~200 cm、遠方相は 200~360 cm である。 d × 密接距離とは、ごく親密な関係における距離である。近接相は 0~14 cm、遠方相は 14~45 cm である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 48、96
▷keyword: 空間的距離・位置		

午前問題		解答・解説
35	チーム医療で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 患者中心の医療の実現を目的とする。 b 国家資格をもつ者のみで構成される。 c 他施設との間で行うことはできない。 d メンバー間で情報を共有して意思決定をする。	解答: a, d チーム医療とは、患者の治療に複数の医療専門職が連携してあたることである。異なる職種や医療専門職が連携・協働してそれぞれの専門スキルを発揮することにより、医療の質や患者の満足度を高めることができる。 a ○ メンバー間の連携により、患者の状況に的確に対応した医療を提供することを目的とする。 b × 定義によっては患者と家族をメンバーに含むこともある。また医療ソーシャルワーカーや診療情報管理士などもメンバーに含まれることがあり、国家資格をもつ者のみで構成されるということではない。 c × 必要であれば、診療を受けている医療機関以外の施設の専門職種なども参加することができる。 d ○ 情報共有とカンファレンスなどの意見交換と意思決定が不可欠である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 7 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 252-253
▷keyword: チーム医療		
臨床歯科医学		
36	歯科疾患診断への歯科用コーンビームCTの適応で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 舌腫瘍 b 顎骨内腫瘍 c 顎骨内囊腫 d 関節円板転位	解答: b, c 歯科用コーンビームCTは歯とその周囲構造や上下顎骨を観察するのに適した撮影法である。歯や歯槽骨などの硬組織の描出は優れるが、軟部組織の描出能は低い。 a × 舌腫瘍は軟組織に発生するため、歯科用コーンビームCTでは不十分とされている。CTかMRIが有用である。 b ○ 歯科用コーンビームCTの適応である。 c ○ 歯科用コーンビームCTの適応である。 d × 関節円板は歯科用コーンビームCTでは診断が困難である。関節円板の転位や形状変化の検出にはMRIが用いられる。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版 64-70
▷keyword: 歯科用コーンビームCT		
37	検査を行っている写真(別冊No.3)を別に示す。 測定しているのはどれか。1つ選べ。 a 動脈 b 静脈 c 毛細血管 d 周囲軟組織	解答: a 写真の検査機器はパルスオキシメータである。酸素と結合したヘモグロビンと結合していないヘモグロビンで、赤色光・赤外光の吸収率が異なる性質を利用した装置である。パルスオキシメータから生体に照射された光は、指先の組織層、動脈層、静脈層を通過するときに各層で吸収を受け、吸収されずに透過した光をセンサーが読み取る。動脈は心臓からの拍動を反映し、厚みが変化するので、透過する光の量も変わり、センサーの受け取る信号が変化する。その変化を情報とするので、厚みの変わらない静脈や組織の影響は受けず、動脈血の変化のみの情報を測定できる。 a ○ 動脈血の酸素飽和度を測定している。 b × 静脈は拍動しないのでパルスオキシメータではその変化を捉えることができない。 c × 毛細血管は拍動しないのでパルスオキシメータではその変化を捉えることができない。 d × 軟組織は拍動しないのでパルスオキシメータではその変化を捉えることができない。 文献: 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 35-37
▷keyword: パルスオキシメータ、経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO ₂)		

午前問題	解答・解説
38 48歳の男性。上顎右側犬歯の審美不良を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No.4)を別に示す。 原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。 a 爪楊枝の使用 b 長期に及ぶ喫煙 c エナメル質のアブラクション d テトラサイクリン系抗菌薬の長期服用	解答：c 口腔内写真は上顎右側犬歯歯頸部のくさび状欠損である。くさび状欠損は典型的な非う蝕性歯科硬組織疾患であり、歯ブラシの誤った使用やアブラクションによって生じるとされている。また、臨床的に象牙質知覚過敏症を併発することも多い。 a× 爪楊枝は歯頸部歯肉を傷つける場合があるが、歯頸部歯質への影響はない。 b× 喫煙は歯の表面の着色の原因となるが、実質欠損は生じない。 c○ 咬合力が深く関与するアブラクションが大きな原因と考えられている。 d× 多数歯におよぶ歯の変色を呈するが、実質欠損は生じない。 文庫：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 19
39 歯の漂白法のために制作した器具の写真(別冊No.5)を別に示す。 この器具を用いる漂白法で正しいのはどれか。1つ選べ。 a 光照射を行う。 b 有髄歯は適応外である。 c 1回の処置で終了となる。 d 過酸化尿素ゲルを併用する。	解答：d 写真はホームブリーチ法に用いるカスタムトレーである。ホームブリーチ法は、過酸化尿素を主成分とする薬剤によって、1~2週間程度の期間で効果を発現させる方法である。 a× オフィスブリーチ法とは異なり光照射は不要である。 b× 歯髄の有無は施術には影響がない。 c× 1日2時間程度で約2週間の治療期間が見込まれる。 d○ 一般的に過酸化尿素ゲルが用いられている。 文庫：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 75-77
40 24歳の女性。上顎右側犬歯部の冷水瘻を主訴として来院した。上顎右側第一大臼歯の慢性潰瘍性歯髄炎と診断され抜髄法が行われた。治療の流れの図(別冊No.6)、使用する器具の写真(別冊No.7A)およびその先端の拡大写真(別冊No.7B)を別に示す。 この器具を使用する操作はどれか。1つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答：c 本症例では、慢性潰瘍性歯髄炎に対して抜髄法が選択されており、根管内の歯髄を物理的に除去する操作が必要となる。根幹部歯髄を除去する方法は、抜髄針(クレンザー)を用いる方法と、手用根管切削器具を用いる方法がある。写真の器具は、ブローチホルダーに装着された抜髄針(クレンザー)で、先端には細かい棘がついている。この棘は、根管内の歯髄組織を絡めとるためのもので、根幹部歯髄の除去に特化した器具である。ただし、抜髄針は深い根管では根管壁に棘が食い込んだり破折の危険性があるため、近年では使用頻度は少なくなっている。 なお、同じブローチホルダーに装着する器具として「ブローチ針」があるが、これは根管乾燥や根管粘着に用いる綿栓(ブローチ綿栓)作成に使用されるものであり、抜髄針とは用途が異なる。 a× 軟化象牙質の除去には、エキスカベータやラウンドバーなどが使用される。 b× 髄室開通は、バーなどを用いて天蓋を除去し髄室を広げる操作である。 c○ 抜髄針(クレンザー)は、根管内の歯髄を物理的に絡めとって除去するための器具であり、先端の細かい棘がその役割を果たす。ブローチホルダーに装着して使用する。 d× 根管の拡大形成には、Kファイルやリーマーなどの手用根管切削器具やニッケルチタン製エンジン用ファイルが使用される。 文庫：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 151-154

▶keyword: くさび状欠損、アブラクション、摩耗症

▶keyword: 歯の漂白法、ホームブリーチ法、カスタムトレー

▶keyword: 抜髄、根幹部歯髄除去、抜髄針(クレンザー)

午前問題	解答・解説
41 54歳の男性。上顎右側第二小臼歯の咬合時の違和感を主訴に来院した。診察の結果、感染根管治療を行うことになった。補綴装置の除去を行い根管内の充填物の除去を開始した。初診時のエックス線画像(別冊No.8A)と、根管内の充填物の除去中にブローチ綿栓を根管内に挿入した際の口腔内写真(別冊No.8B)および根管内から取り出したブローチ綿栓の写真(別冊No.8C)を別に示す。 この操作におけるブローチ綿栓の使用目的はどれか。1つ選べ。 a 根管粘着 b 根管内の乾燥 c 根管内の感染除去 d 根管充填材の残存確認	解答：d 本症例では、感染根管治療の一環として、既存の根管充填材(ガッタパーチャ)の除去が必要となった。根管内の根管充填材の除去は手用根管切削器具やゲージグリッドドリルなどの回転切削器具を用いて機械的に除去する方法に加えて、補助的にガッタパーチャ軟化材を用いてガッタパーチャを軟化して除去しやすくする。 初診時のエックス線画像では、根管充填材が白い不透過像として確認される。また根尖部にはエックス線透過像が認められ、根尖性歯肉炎が疑われる。 操作中の口腔内写真は、根管内にブローチ綿栓が挿入される場所である。ガッタパーチャ軟化材の作用後に根管内に根管充填材が残存していないかを確認する目的で、軟化した根管充填材を試き取る目的で使用される。また、取り出された綿栓がピンク色に染まっていることから、軟化したガッタパーチャ(ピンク色)が付着していることが確認できる。これは、根管内に充填材が残存していることを示しており、引き続き機械的またはガッタパーチャ軟化材によって除去を継続する必要がある。 文庫：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 177

▶keyword: 感染根管治療、根管充填材除去、ガッタパーチャ軟化材



- a× ヨウ素製剤やフェノール製剤などの液体の根管消毒薬を根管に粘着する際には、ブローチ綿栓やペーパーポイントが使用されるが、その前に根管充填材の除去が必要である。
b× ブローチ綿栓は乾燥にも使用されるが、本操作ではガッタパーチャ軟化材を併用した根管充填材の除去が主目的である。
c× 感染根管治療における根管内の感染除去は、拡大形成や洗浄、根管消毒などの方法で行われる。ブローチ綿栓は、感染除去そのものを目的としたものではない。
d○

▶keyword: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 177

午前問題	解答・解説
42 25歳の男性、下顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴に来院した。急性化膿性歯髄炎と診断され、麻酔抜髄を行うことになった。ある操作中のエックス線画像(別冊No. 9A)および器具の写真(別冊No. 9B)を別に示す。 直前に行われた操作で使用する器具はどれか、2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答 : c, d 麻酔抜髄の術式を問う問題である。設問の画像はファイルとエックス線画像を用いて根管長測定を行っている。したがって直前の操作は根管口拡大である。根管口拡大に使用する器具は、ピーソーリマー、ゲーツグリザンドリル、根管上部形成用ニッケルチタン製エンジン用ロークリーファイルである。 a × ①は探針である。根管開通時に髄角の有無の確認に使用する。 b × ②はスプレッダーである。根管充填時に、マスターポイント挿入後、翼方加圧に使用する。 c ○ ③はピーソーリマーである。根管口拡大に使用する。 d ○ ④はニッケルチタン製エンジン用上部拡大形成器具である。根管口拡大に使用する。 文献 : 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 160-170 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 125-128
keyword : 根管口拡大	
43 超音波スケーラーについて正しいのはどれか、2つ選べ。 a 術者の疲労が軽減される。 b キャビテーション効果が得られる。 c ベースメーカー装着者に使用できる。 d エアタービンの圧縮空気を応用している。	解答 : a, b 超音波スケーラーは、超音波振動出力によって注水下で歯石の粉砕とバイオフィーム除去を行う機械的器具である。電正式と磁正式に分けられる。 a ○ フェーザタッチ(40~80g)で行えるため患者、術者の疲労が軽減できる。 b ○ キャビテーション(真空泡沫現象)効果が得られる。 c × ベースメーカー使用者への使用は禁忌である。 d × エアタービンの圧縮空気を応用しているのは音波(エア)スケーラーである。 文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 162-163 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 178-182
keyword : 超音波スケーラー、キャビテーション効果	
44 55歳の女性、歯肉からの出血を主訴に来院した。慢性歯周炎と診断され歯周基本治療を行った。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A)、歯周基本治療後の口腔内写真(別冊No. 10B)および上顎前歯部の歯周組織検査の一部(別冊No. 11)を別に示す。 正しいのはどれか、2つ選べ。 a 初診時の上顎右側中切歯に歯周膿瘍が認められる。 b 初診時の上顎左右側中切歯辺縁歯肉にクレフトが認められる。 c 歯周基本治療後の上顎左側中切歯、側切歯間の辺縁歯肉の炎症は持続している。 d 歯周基本治療後の上顎左右側中切歯間にブラケットライアングルが出現している。	解答 : c, d a × 上顎右側中切歯の辺縁歯肉は発赤しており、歯周組織検査でも4mm以上の歯周ポケットとBOP(+)の存在が認められるため、炎症は存在する。ただし、Jに著しい腫脹を伴う膿瘍形成は認められない(歯周膿瘍は、深い歯周ポケットのある部位に多く発現する化膿性炎症である)。 b × 初診時の上顎左右側中切歯間には歯肉の腫脹は認められるが、クレフト(唇側歯肉内のV・J字型の裂け目)の所見は認められない。 c ○ 歯周基本治療後の上顎左側中切歯、側切歯間は発赤と腫脹が認められる。また歯周組織検査でも歯周ポケット深さの改善はみられるものの、4mm以上の歯周ポケット、BOP(+)が残存し、炎症の持続が示唆される。 d ○ ブラケットライアングルとは、歯間乳頭の退縮により歯間部に生じる黒い三角形の空隙のことである。歯周基本治療後の上顎左右側中切歯間にブラケットライアングルが出現している。 文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 26, 58-60, 74-75
keyword : 歯周基本治療、再評価	

午前問題	解答・解説
45 上下顎全部床義歯を製作するためにフェイスボウトランスファーを行うことになった。 咬合器の基準平面をフランクフルト平面とする際の前方基準点はどれか、1つ選べ。 a 眼点 b 鼻唇点 c 鼻翼下縁 d 平均的顎頂点	解答 : a フェイスボウトランスファーとは、フェイスボウを用いて頭蓋(顎関節)に対する上顎の三次元的な位置関係を記録し、咬合器上にトランスファーする(移す)操作である。上顎模型の咬合器への装着のために行われる。これにより、患者の開閉口運動時の下顎の回転軸と咬合器の開閉軸を一致させることができ、咬合器上での下顎運動の再現性が向上する。 a ○ 前方基準点である。基準平面をフランクフルト平面とする際に用いる。フェイスボウのリファレンスポインターを合わせて固定する。 b × 後方基準点である。 c × 前方基準点であるが、基準平面をCamper(カンペル)平面とする際に用いる。フェイスボウのリファレンスポインターを合わせて固定する。 d × 後方基準点である。 文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 40, 53-54, 126
keyword : フェイスボウトランスファー、前方基準点、後方基準点	
46 部分床義歯を装着した口腔内写真(別冊No. 12)を別に示す。 矢印が示す構造の役割はどれか、1つ選べ。 a 安定 b 維持 c 支持 d 把持	解答 : b 部分床義歯の構成要素であるクラスプは、形態によって環状鉤とパークラスプに分類される。写真の矢印はパークラスプを示しており、義歯床からバーが支台歯方向へ横走し、歯頸部からバー先端が支台歯のアンダーカット域に位置して、維持力を発揮する。 a × 機能時に義歯が動かないことである。人工歯の排列位置や咬合様式、咬合接触関係、人工歯の咬頭傾斜などが関係する。 b ○ 義歯を顎堤から離脱させる力に抵抗する作用のことで、1バーや義歯床がその役割を担う。 c × 義歯の沈下に抵抗する作用のことで、レストや義歯床がその目的のために使用される。 d × 義歯の水平的な動きに抵抗する作用のことで、義歯床や隣接面板がその機能を有する。 文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 153 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 156
keyword : 部分床義歯、支台装置、パークラスプ	
47 40歳の女性、上顎左側中切歯の審美障害を主訴として来院した。この歯は失活歯であり、クラウンの再製作を行うことになった。クラウン製作のための臨床操作を行った後の口腔内写真(別冊No. 13)を別に示す。 この操作の目的はどれか、2つ選べ。 a 審美性の改善 b 適合性の向上 c 咬合関係の改善 d 残存歯質の強化	解答 : b, d 写真は支台築造を行った後の口腔内写真である。支台築造の目的は、崩壊した支台歯形態の回復、残存歯質の強化、保持形態の付与、適合性の向上などである。 a × 支台築造の主目的ではない。 b ○ c × 支台築造の主目的ではない。 d ○ 文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 82
keyword : 支台築造	

午前問題	解答・解説
<p>48 上顎前歯部の半固定性ブリッジに適用されるポンティック基底面形態はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 鞍状型 b 船底型 c 偏側型 d 離底型</p> <p>▶keyword: ブリッジ、ポンティック、基底面形態</p>	<p>解答: c</p> <p>固定性および半固定性ブリッジは装置を取り外しての清掃ができないため、非自浄性ポンティックである鞍状型・有床型は使用することはできない。また離底型ポンティックは審美性に劣るため、前歯部では使用することはできない。偏側型とリッジラップ型は清掃性と審美性を兼ね備えているため、上顎前歯部でも使用できる。</p> <p>a × 自浄性に劣るため、半固定性ブリッジには使用できない。 b × 下顎前歯部や臼歯部に用いる。 c ○ 上顎の前歯部や臼歯部に用いる。 d × 下顎臼歯部に用いる。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 72 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 174-176</p>
<p>49 63歳の女性。胃がんに対して化学療法を受けている。1週間前より食事がとりづらくなり、口腔内がざらつき痛むようになったという。粘膜に擦過除去可能な白苔がみられ、担当医から抗真菌薬のシロップが処方された。</p> <p>正しいのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 免疫が向上している。 b 粘膜を清拭するよう指導する。 c 固形皮質ステロイド軟膏も有効する。 d 薬液服用後すぐに口腔清掃を行うよう指導する。</p> <p>▶keyword: 口腔カンジダ症</p>	<p>解答: b</p> <p>擦過除去可能な白苔がみられたことや抗真菌薬が処方されたことから、口腔カンジダ症であると考えられる。口腔カンジダ症は、宿主の全身の抵抗力や免疫力が低下したことにより、口腔常在菌であるカンジダ菌種が病的に異常増殖して発症する日和見感染症である。治療には抗真菌薬の投与を行うが、口腔清掃、義歯洗浄などの口腔衛生状態の改善も重要である。</p> <p>a × 免疫力が低下することにより生じる。 b ○ 口腔清掃が重要である。 c × 抗真菌薬が有効するが、ステロイド性抗炎症薬は逆に悪化させる。 d × シロップ薬の局所投与では、十分な効果を得るために、15～30秒程度口腔内に含んでから飲み込むことが推奨される。服用後もしばらくはうがいや口腔清掃を行わず、口腔内に薬剤が残留した状態を保つことで、持続的な効果が期待できる。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 59-60</p>
<p>50 真性三叉神経痛の特徴はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 顔面に特定の圧痛点がある。 b 三叉神経の外傷が原因である。 c 洗顔で疼痛発作が誘発される。 d 反復する疼痛が5分以上持続する。</p> <p>▶keyword: 三叉神経痛</p>	<p>解答: a, c</p> <p>三叉神経痛は、真性三叉神経痛（本態性三叉神経痛）と仮性三叉神経痛（症候性三叉神経痛）がある。通常、単に「三叉神経痛」という場合は、真性三叉神経痛を指す。</p> <p>・真性三叉神経痛: 三叉神経が周囲の血管に圧迫されることを原因とする ・仮性三叉神経痛: 腫瘍、炎症、外傷など、血管圧迫以外の器質的原因が存在する</p> <p>a ○ 三叉神経の終末が骨から出る孔（眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔）に圧痛点がある。 b × 脳幹から出た三叉神経が周囲の血管に圧迫されるのが原因といわれている。 c ○ 口唇周囲や鼻翼、頬などを刺激すると疼痛発作を誘発する部位がある。これをPatrick（パトリック）の発痛帯とよぶ。食事や会話、洗顔、歯磨き、髭剃りなどで疼痛が誘発されるため、口腔清掃をはじめ日常の動作が困難となる。 d × 疼痛の持続時間は数秒から数分以内と短い。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 126-127</p>
<p>51 全身麻酔中の体液喪失の原因はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 輸液 b 低血圧 c 不感蒸泄 d 歯肉の経口摂取制限</p> <p>▶keyword: 全身麻酔</p>	<p>解答: c, d</p> <p>全身麻酔中はさまざまな理由で体液喪失をきたし、相後合併症の原因となる。</p> <p>a × 輸液は体液喪失への対処法の1つである。 b × 体液喪失の結果として血圧が低下する。 c ○ 不感蒸泄（皮膚や歯野からの水分の蒸発）は体液喪失の原因の1つである。 d ○ 歯肉の経口摂取制限は体液喪失の原因の1つである。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 282</p>

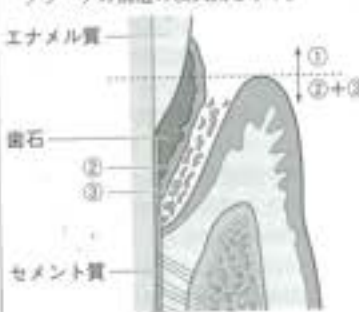
午前問題	解答・解説
<p>52 上顎前突によりリスクが高まるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 黒毛舌 b 喉石症 c 歯冠破折 d エナメル上皮腫</p> <p>▶keyword: 不正咬合による障害、外傷</p>	<p>解答: c</p> <p>不正咬合は歯や歯周病のほか、外傷や機能障害（咀嚼障害、構音障害など）など、さまざまな障害の原因となる。</p> <p>a × 抗真菌薬などによる菌交代現象が原因と考えられている。 b × 唾液腺の腺体内や導管内に石が形成される疾患で、導管の炎症などが原因と考えられている。 c ○ 上顎前突や犬歯の唇側転位など、歯が唇側に突出している場合、転倒やスポーツで強く歯面を打つなどすると、口唇や頬粘膜の損傷、歯の破折などを起こしやすい。 d × 良性腫瘍の一種である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 2-5</p>
<p>53 口腔内写真（別冊No.14）を別に示す。正しい所見はどれか、2つ選べ。</p> <p>a マイナスのANB角 b プラスのオーバージェット c マイナスのオーバーバイト d マイナスのアーチレングスディスクレパンシー</p> <p>▶keyword: オーバージェット、オーバーバイト、アーチレングスディスクレパンシー</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a × ANB角はセファロ分析の項目の1つで口腔内写真からは評価できない。ANB角がマイナスの場合は下顎前突である。 b ○ オーバージェットは前歯の前後的な被蓋を表す。写真から上顎前歯が下顎前歯よりも前に位置しているため、オーバージェットはプラスである。 c × オーバーバイトは前歯の垂直的な被蓋を表す。写真から前歯部の垂直的被蓋は過蓋咬合のみであるため、オーバーバイトはプラスである。マイナスの場合は開咬である。 d ○ 歯列には叢生が認められるため、アーチレングスディスクレパンシーはマイナスである。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 61-63, 67-68</p>
<p>54 強い矯正力による圧迫側歯根膜に生じる組織変化はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 骨形成 b 硝子様変性 c 穿下性骨吸収 d 直接性骨吸収</p> <p>▶keyword: 圧迫側、牽引側、硝子様変性、穿下性骨吸収</p>	<p>解答: b, c</p> <p>矯正力による組織変化に関する設問である。強い矯正力が加えられると、まず圧迫側の歯根膜が圧迫され、血流障害が生じ、貧血帯となる。貧血帯では、血流障害によって細胞への栄養供給が途絶えるため、歯根膜細胞が死に、硝子様変性という状態になる。この硝子様変性組織の周辺には破骨細胞が出現し、穿下性骨吸収という骨吸収が起こる。</p> <p>a × 牽引側歯根膜で生じる組織変化である。 b ○ c ○ d × 弱い矯正力によって起こる骨吸収である。弱い矯正力が加えられると、圧迫側歯根膜は充血帯となり、充血帯では歯槽骨の表面に破骨細胞が多数集まり、直接性骨吸収が起こる。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 84</p>

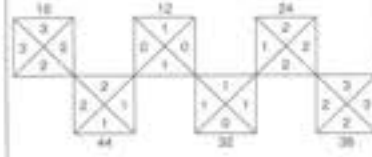
午前問題	解答・解説
55 矯正装置の写真(別冊No.15)を別に表示。 この装置はどれか、1つ選べ。 a タングクリブ b Begg(ベッグ)タイプリテーナー c Hawley(ホーレー)タイプリテーナー d Nance(ナンス)のホールディングアーチ	解答: b 写真はBegg(ベッグ)タイプリテーナーである。保定装置の一種で、唇側線が歯列全体を取り囲む床装置である。 a× タングクリブは、舌突出癖を除去するために用いられる装置で、舌突出を防止するクリブが存在する。 b○ c× Hawley(ホーレー)タイプリテーナーは、唇側線が犬歯の遠心までを取り囲む保定装置である。 d× Nance(ナンス)のホールディングアーチは、臼歯部のバンド、主線、レジボタンから構成され、保険や加固定を目的に使用される。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 107
keyword: 保定装置, Begg(ベッグ)タイプリテーナー	
56 3歳の女兒、歯並びが気になることを主訴として保護者と来院した。全身的に特記すべき事項はない。保護者によると、日常的に指を吸う様子がみられるという。初診時の研究用模型の写真(別冊No.16)を別に表示。 まず行うべき対応はどれか、1つ選べ。 a 心理療法 b 薬物療法 c 歯機能療法 d 咬合誘導装置装着	解答: a 保護者の話から吸指癖が疑われ、研究用模型の写真からその影響と思われる上顎前歯部の唇側傾斜および上顎歯列弓の狭窄が認められる。幼児では心理的要因によりさまざまな口腔習癖がみられるが、習癖が長期間継続すると、歯列不正や咬合異常を引き起こすことがある。幼児期の口腔習癖では、まず心理的アプローチや行動療法から行い、治療が新たな心因的ストレスとならない対応が望ましい。 a○ まず心理療法として、口腔習癖が歯並びや口腔の発育に悪影響であると説明することや、習癖の原因となり得るストレスや不安感を除去する方法について支援する。 b× 薬物療法として抗不安薬や睡眠導入薬が有効なことがあるが、低年齢でまずはじめに使用することは好ましくない。 c× 習癖が長期化し、歯列不正が著しい場合は歯機能療法を行うこともあるが、心理療法や行動療法でも改善が難しい場合に実施する。 d× ほかのアプローチなしに口腔習癖除去装置や咬合誘導装置による歯列改善は、それが新たなストレスとなる可能性があり適切でない。 文献: 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 50 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 49
keyword: 口腔習癖	
57 小窩裂溝充填法の適応となるのはどれか、2つ選べ。 a 盲孔 b 破折線 c 中心結節 d エナメル突起	解答: a, c 小窩裂溝充填法はブラッシング効果の及ぶにくい部位(小窩や裂溝)に対して、物理的に形態を修正することにより、う蝕の発生を予防する方法である。そのため臼歯部だけではなく、前歯部の形態異常も適応症となる。 a○ 上顎側切歯口蓋側に生じやすい形態異常で、う蝕になりやすいため小窩裂溝充填法の適応である。 b× 外傷などにより生じた破折線に小窩裂溝充填法は不適である。 c○ 小白歯部咬合面中央部に出現する突起状の異常結節で、結節の付け根に生じる裂溝がう蝕になりやすく、また結節部の破折防止のための小窩裂溝充填法の適応である。 d× 大白歯の主根の根のエンメル質がセメント-エンメル境から根分岐部に向かって伸びる突起で、根分岐部病変の原因となり得るが小窩裂溝充填法の適応ではない。 文献: 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 181-182 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 236
keyword: 小窩裂溝充填法	

午前問題	解答・解説
58 認知症患者を在宅介護する家族介護者の介護負担度を把握するための指標はどれか、2つ選べ。 a BIC-11 b MMSE c GOHAI d Zarit尺度	解答: a, d 介護負担とは介護の義務や責任を引き受けたことから生じる重荷であり、主たる家族介護者に生じやすい。家族介護者には、身近に介護を手伝ってくれたり相談に乗ってくれたりする相手がいない場合も多い。要介護者の診療に関わる医療従事者は、家族介護者の介護負担を把握し、公共の相談機関や介護支援サービスの有効活用、さらにケアマネジャーへの相談など、介護負担の軽減に役立つサービスの利用についても促す必要がある。 a○ BIC-11(Borden index of Caregiver: 多次元介護負担感尺度)は、自宅に要介護者を介護する介護者の負担感を測定する尺度である。時間的負担感、心理的負担感、実存的負担感、身体的負担感、サービス関連負担感の5領域に関する11項目の質問から構成される。 b× MMSE(Mini Mental State Examination)は認知機能の評価尺度である。認知症のスクリーニングを目的とする。 c× GOHAI(General Oral Health Assessment Index)は口腔に関連した疾患特異的QOL尺度である。 d○ Zarit介護負担尺度は、「親族を介護した結果、介護者が情緒的、身体的健康、社会生活および経済状態に関して被った被害の程度」を介護負担感と定義し、それを定量的に評価するものとして作成された指標である。22項目の質問から構成される。 文献: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 108
keyword: 介護負担, Zarit介護負担尺度, BIC-11	
59 要介護高齢者の歯科訪問診療時における、カテーテルを用いた口腔吸引から通水までの手順を示す。 ① → 患者に吸引の説明 → 手洗い、手指消毒 → ② → カテーテル準備 → カテーテルと吸引器の接続 → ③ → カテーテルの挿入、吸引 → 通水 ①に入る語句の組合せで正しいのはどれか、1つ選べ。 ① ② ③ a 吸引圧の設定 呼吸音の確認 手袋装着 b 吸引圧の設定 手袋装着 呼吸音の確認 c 呼吸音の確認 吸引圧の設定 手袋装着 d 呼吸音の確認 手袋装着 吸引圧の設定	解答: d 吸引の目的は、主に口腔、鼻腔、気管内の貯留物や分泌物などを吸引装置を用いて除去することで、気道の閉塞(窒息)を防ぐことのほか、貯留物の気道流入による誤嚥性肺炎の誘発を予防することなどである。嚥下機能の低下した高齢者は、分泌物が気道にこびりつき細菌が繁殖しやすくなる。口腔健康管理の際に吸引が必要とされた者には、苦痛を最小限に抑え、的確に貯留物を吸引除去することが重要である。 a× b× c× d○ 呼吸音の確認→患者に吸引の説明→手洗い、手指消毒→手袋装着→カテーテル準備→カテーテルと吸引器の接続→吸引圧の設定→カテーテルの挿入、吸引→通水、の順に行う。 文献: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 187-190
keyword: 口腔吸引, カテーテル, 誤嚥性肺炎	

午前問題	解答・解説
<p>60 78歳の女性。食事に時間がかかるようになったことを主訴として来院した。3か月前から食事時間が延びているという。3年前から現在まで新たな全身疾患には罹患していない。上下顎全部床義歯を装着しており、診査の結果、義歯の適合・咬合はともに問題なかった。口腔機能低下症を疑い口腔機能精密検査を行った結果、2つの検査の結果が基準を下回っていた。その検査の写真(別冊No.17A、B)を別に示す。適切な対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 舌の筋力を鍛える。 b 唇と頬の力を鍛える。 c 食事形態の指導を行う。 d 唾液腺マッサージを行う。</p> <p>▶keyword: 口腔機能低下症、口腔機能精密検査</p>	<p>解答: c, d 口腔機能精密検査により口腔機能低下症と診断された場合は、基準を下回った検査項目に応じた対応により、口腔機能の維持・向上を図る。</p> <p>a × 低舌圧を認める場合は、舌の筋力訓練器具などを用いて舌の筋力を鍛える。 b × オールディアドコキネシスにより舌口唇運動機能低下を認める場合は、吹き戻しの笛などを利用して唇と頬の力を鍛える。 c ○ 写真Aは咀嚼機能検査である。咀嚼機能低下を認める場合は、食事形態の指導を行う。 d ○ 写真Bは口腔水分計による口腔粘膜湿度の測定である。口腔乾燥を認める場合は、唾液腺マッサージにより唾液分泌を促す。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 95-98</p>
<p>61 自閉スペクトラム症児の歯科治療時の合理的配慮として適切なものはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 保護者の同席を避ける。 b 診察手順を視覚的に提示する。 c フラッディング法を多用する。 d 光や音などの感覚刺激を減らす。</p> <p>▶keyword: 自閉スペクトラム症</p>	<p>解答: b, d 自閉スペクトラム症(ASD: Autism Spectrum Disorder)児に対する歯科治療時における「合理的配慮」とは、その子どもの特性やニーズに応じて、治療環境・方法・コミュニケーションなどを調整・工夫し、安心して歯科医療を受けられるようにする配慮を指す。具体的には、①予測可能な環境を整える、②感覚過敏への対応をする、③患児に適したコミュニケーション支援を選択する、などが挙げられる。保護者や支援者とも協力して、歯科治療を不安なく受けられるように整える。</p> <p>a × 普段と異なる環境では不安が大きくなるため、特別な理由がない場合は保護者や支援者と患児を隔離する必要はない。 b ○ 視覚支援により、自閉スペクトラム症児が手順を理解しやすくなる。 c × フラッディング法は最も強く不安や恐怖を感じる状態に長い時間直面させる方法である。自閉スペクトラム症児の感覚過敏や不安が悪化する可能性が高いため、適さない。 d ○ 自閉スペクトラム症児は光や音、触覚に過敏や鈍麻があることが多いので、患児に合わせて、照明や音の調整を行う。歯科診療時には、イヤーマフやアイマスクを使用したり、手用器具を用いるなどの対応も選択肢の1つとなる。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 20-24、57-59</p>

午前問題	解答・解説
<p>62 21歳の女性。喉痛型の慢性喉痛である。摂食嚥下障害があり、ときどき誤嚥し、咽頭残留が著明である。この患者の誤嚥性肺炎の予防策として最も重要なものはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 食事中の会話 b 一口量の増加 c 抗菌薬の予防的投与 d 食後の口腔衛生管理の徹底</p> <p>▶keyword: 誤嚥性肺炎、摂食嚥下障害</p>	<p>解答: d 誤嚥性肺炎は、唾液や飲食物の誤嚥により、口腔内の細菌が気管・肺に入り込むことで発症する。予防策としては、誤嚥の防止と、口腔衛生管理による口腔内環境の改善が重要である。</p> <p>a × 食事中に会話すると、食事以外に意識が向いてしまい、嚥下と呼吸のタイミングがずれて誤嚥しやすくなる。 b × 一口量が多すぎると嚥下反射が追いつかず、食塊が気管に入りやすくなる。一口量を少なくし、ゆっくりと嚥下を促すことが重要である。 c × 抗菌薬の予防的投与は、耐性菌の出現などの問題があり、一般的に推奨されていない。 d ○ 口腔内の細菌数を減らすことで、誤嚥性肺炎の発症リスクを大幅に低下させることが報告されている。そのため食後の口腔衛生管理の徹底は重要である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 129 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 82</p>
歯科予防処置論	
<p>63 歯科予防処置に該当するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉炎症部位のプロベリング b 第一大臼歯への小窩裂溝填塞 c 根露出部位へのフッ化物歯面塗布 d 深い歯周ポケット内のプラーク除去</p> <p>▶keyword: 歯科衛生士法、歯科予防処置</p>	<p>解答: b, c 歯科衛生士の業務は歯科衛生士法第2条に規定されている。歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療の補助の3業務であり、それぞれの区別は重要である。</p> <p>a × 歯肉炎症部位のプロベリング操作は、歯周病の検査にあたるので歯科診療の補助に該当する。 b ○ 小窩裂溝填塞は歯科予防処置に該当する。萌出直後の幼若な臼歯の咬合面はう蝕になるリスクが高いため、この時期に小窩裂溝填塞を実施するとう蝕予防に効果的である。 c ○ フッ化物歯面塗布は知覚過敏を抑制する目的で実施する場合もあるが、根面う蝕予防の目的で実施する場合は歯科予防処置に該当する。 d × 歯科予防処置に該当するのは「歯牙露出前及び正常な歯茎の遊離線下の付着物及び沈着物機械的操作によって除去すること」である。深い歯周ポケット内のプラーク除去は歯周病の治療の一環として行われるものであり、歯科医師の指示に基づき行われる歯科診療の補助に該当する。</p> <p>文庫: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 9-11</p>

午前問題	解答・解説
<p>64 プラークの構造の模式図を示す。</p>  <p>③の特徴はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 歯周病の宿主因子である。 b 根面う蝕の形成に関与している。 c 歯周病原性の高い細菌を多く含む。 d 唾液と接触すると数時間で形成される。</p> <p>▶keyword: 歯肉線下プラーク、付着性プラーク、非付着性プラーク</p>	<p>【解答】: c</p> <p>プラークは、歯肉辺縁を基準として、歯冠部に付着している歯肉線下プラーク (①) と、根面に付着している歯肉線下プラーク (②+③) に大別される。歯肉線下プラークはさらに、歯根面に付着している付着性プラーク (②) と付着していない非付着性プラーク (③) に分けられる。</p> <p>【歯肉線下プラークの分類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付着性プラーク: 成熟した歯肉線下プラークと類似したグラム陰性嫌気性菌が多い。 ・非付着性プラーク: 歯根面との付着や細菌間の付着が弱く、歯肉ポケット内を浮遊していたりポケット上皮に付着したりしている。歯周病原性の高いグラム陰性の運動性桿菌やスピロヘータなどの細菌を多く含んでいる。 <p>a × プラークは歯周病の細菌因子である。宿主因子には局所性修飾因子 (プラーククリテンションファクターと外菌性修飾因子) と全身性修飾因子 (全身疾患など) がある。</p> <p>b × ②に示す付着性プラークの特徴である。</p> <p>c ○</p> <p>d × 唾液と接触すると数時間で形成されるのはペリクルである。</p> <p>【文献】: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 29-30 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 28-30 歯科衛生学シリーズ 保健衛生学 111-115 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 10-11</p>
<p>65 長期喫煙者にみられる歯周病所見で正しいのはどれか、3つ選べ。</p> <p>a 付着の獲得 b 歯肉滲出液量の増加 c 歯肉辺縁部の線維性肥厚 d プロローピング時の歯肉出血の減少</p> <p>▶keyword: 歯周病と喫煙</p>	<p>【解答】: c, d</p> <p>タバコ煙が最初に通過する口腔は、喫煙の影響が蓄積していく器官である。特に歯周組織は、タバコ煙による直接的影響と、血液を介した間接的影響の双方の影響を受ける。喫煙直後は、ニコチンの末梢血管系への影響として、ニコチンの血管収縮作用により歯肉上皮下毛細血管への血流量の減少、ヘモグロビン量および酸素飽和度の低下を起こす。さらに長期間の喫煙により、炎症歯肉の出血や歯肉滲出液量の減少をきたし、臨床的には歯肉ポケットが深く進行した歯周炎であっても、BOPが少ないという特徴を示す。</p> <p>a × 喫煙者では歯周病による歯周組織の破壊が進みやすく、PPD (プロローピングポケットデプス)、アタッチメントロス (付着の喪失)、歯槽骨吸収が大きい。</p> <p>b × 喫煙直後は歯肉ポケット上皮側で一時的に血流量、歯肉滲出液量の増加がみられるが、長期間の喫煙により歯肉滲出液量は減少する。</p> <p>c ○ 喫煙による物理的・化学的刺激により、歯肉への血流不足や歯肉組織の線維化が起こる。</p> <p>d ○ 喫煙者では歯肉の血管収縮・血流量減少によりプロローピング時の歯肉出血 (BOP) は少ない。</p> <p>【文献】: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 274-277 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 36, 154-155</p>

午前問題	解答・解説										
<p>66 PFI (Plaque Index) の評価結果を図に示す。</p>  <p>個人のPFIはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 1.6 b 2.4 c 9.3 d 37.2</p> <p>▶keyword: PFI (Plaque Index)</p>	<p>【解答】: a</p> <p>PFI (Plaque Index) は歯肉炎のリスクファクターであるプラークを重視し、歯肉辺縁に接する部位の付着量を評価する。GI (Gingival Index) と対象歯が同一で、併用するように考案されている。対象歯は $\frac{6}{4} \frac{2}{2} \frac{4}{6}$ の6歯の近心・遠心・頬 (唇)・舌 (口蓋) 側の4歯面である。判定基準は下表のとおりで、各被検歯のPFIと個人のPFIを以下の式で計算する。いずれも最大値3、最小値0である。</p> <p>PFIの判定基準</p> <table border="1" data-bbox="1893 434 2593 627"> <thead> <tr> <th>スコア</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>プラークなし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>肉眼ではプラークの付着が確認できない。フローブや歯垢染色剤を用いてわかる程度の付着状態</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>肉眼でプラークの存在を確認でき、中程度のプラークが歯肉辺縁に付着</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>多量 (厚さ1~2mm) のプラークが歯肉辺縁に付着</td> </tr> </tbody> </table> <p>各被検歯の $PFI = \frac{4 \text{ 歯面のスコアの合計}}{4 \text{ (歯面数)}}$</p> <p>個人の $PFI = \frac{\text{各被検歯のPFIの合計}}{\text{被検歯数}}$</p> <p>a ○ 各被検歯のスコアは、16が10/4=2.5、12が2/4=0.5、24が7/4=1.8、36が10/4=2.5、32が3/4=0.8、44が6/4=1.5である。よって、個人の $PFI = (2.5 + 0.5 + 1.8 + 2.5 + 0.8 + 1.5) / 6 = 9.6 / 6 = 1.6$ となる。</p> <p>b × c × d ×</p> <p>【文献】: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 129-130 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 57-58</p>	スコア	判定基準	0	プラークなし	1	肉眼ではプラークの付着が確認できない。フローブや歯垢染色剤を用いてわかる程度の付着状態	2	肉眼でプラークの存在を確認でき、中程度のプラークが歯肉辺縁に付着	3	多量 (厚さ1~2mm) のプラークが歯肉辺縁に付着
スコア	判定基準										
0	プラークなし										
1	肉眼ではプラークの付着が確認できない。フローブや歯垢染色剤を用いてわかる程度の付着状態										
2	肉眼でプラークの存在を確認でき、中程度のプラークが歯肉辺縁に付着										
3	多量 (厚さ1~2mm) のプラークが歯肉辺縁に付着										

午前問題

解答・解説

67

初診時と SPT 時の歯周組織検査の結果の一部を示す。

初診時		SPT時	
歯	AL	歯肉退縮	PPD
11	3	2	4
12	4	3	3
13	5	4	5
14	6	5	4
21	3	2	4
22	4	3	3
23	5	4	5
24	6	5	4

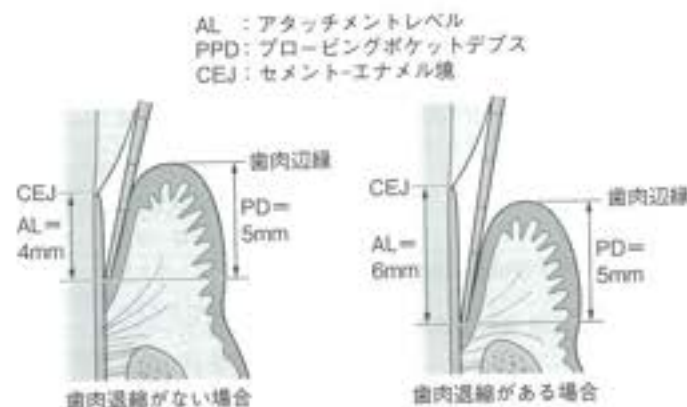
初診時から SPT 時の変化で正しいのはどれか、2つ選べ。

- a 下顎左側第二小臼歯舌側中央はアタッチメントゲインがみられる。
 b 下顎左側第一大臼歯頬側中央は付着歯肉幅の増加がみられる。
 c 下顎左側第一大臼歯舌側中央はアタッチメントロスがみられる。
 d 下顎左側第二大臼歯舌側遠心部はプロービングポケット深さの減少がみられる。

▶keyword: アタッチメントレベル(AL)、アタッチメントゲイン、アタッチメントロス

解答: a, d

アタッチメントレベル(AL)はセメント-エナメル境(CEJ)から歯周ポケット底までの距離であり、プロービングポケット深さ(PPD)は歯周ポケット内に挿入した歯周プローブの先端から歯肉内縁部までの深さのことである。アタッチメントレベルが根尖側に移動することをアタッチメントロス(付着の喪失)といい、歯冠側に移動することをアタッチメントゲイン(付着の獲得)という。



- a○ 下顎左側第二小臼歯舌側中央はALの値が3mm→2mmと減少しており、アタッチメントゲインがみられる。
 b× 付着歯肉幅とは遊離歯肉溝から歯肉歯槽粘膜境までの幅のことであり、この検査結果からは付着歯肉幅の増加の有無は確認できない。
 c× 下顎左側第一大臼歯舌側中央はALの値が6mm→5mmと減少しており、アタッチメントゲインがみられる。
 d○ 下顎左側第二大臼歯舌側遠心部はPPDの値が4mm→3mmと減少している。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 116-117
 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 60-62
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 25

午前問題

解答・解説

68

グレーシータイプキュレットを操作している写真(別冊No.18)を別に示す。使用しているグレーシータイプキュレットはどれか、1つ選べ。

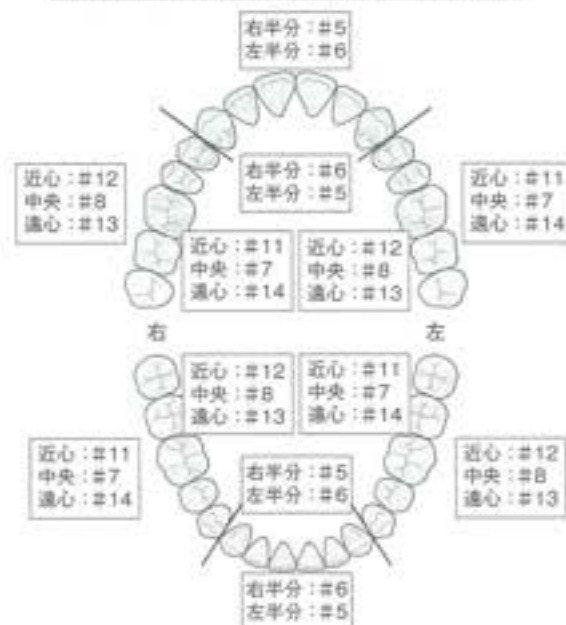
- a #5
 b #8
 c #11
 d #12

▶keyword: グレーシータイプキュレット

解答: d

写真は下顎左側第一小臼歯の頬側近心歯をグレーシータイプキュレットで操作しているところであり、使用しているのは#12である。

番号	使用部位
#1/2	前歯部
#3/4	前歯部
#5/6	前歯部、小臼歯部
#7/8	臼歯部頬舌側面
#9/10	臼歯部頬舌側面
#11/12	臼歯部近心面および近心方向の隣接歯間部
#13/14	臼歯部遠心面および遠心方向の隣接歯間部



- a× この部位に使用することはできるが、写真のキュレットスケララーは副歯が2つあるため#5ではない。
 b× #8はこの部位の頬側面に使用する。
 c× #11は臼歯部近心用で、この部位の舌側面近心に使用する。
 d○

文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 169、171-176
 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 164-165、171-176
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 35

午前問題

解答・解説

- 69 57歳の男性。SPTのため3か月ぶりに来院した。口腔内写真(別冊No.19A)と使用する機器の写真(別冊No.19B)を示す。
この機器の使用時の対応で正しいのはどれか、2つ選べ。
- 水量は噴霧状に調整する。
 - 上下方向のストロークを行う。
 - インサートチップの使用角度は歯面に対し30度である。
 - インサートチップの側面先端から1~2mmの部分を選合させる。

▶keyword: エアスケーラーの操作方法

解答: b, d

写真はエアスケーラーであり、歯肉縁下用チップを装着している。エアスケーラーは、エアービン用の圧縮空気を応用してチップを微振動させ、歯石を除去する機器である。電気的なノイズの発生がないため、ペースメーカー装着者にも安全に使用できる。また、振動数が少ないため冷却の必要がなく、視野の確認が容易である。

- 噴霧状に水量を調整するのは超音波スケーラーで歯肉縁上歯石を除去する場合である。
- ポケット底部まで挿入し、上下や左右のゆっくりとしたストロークを行う。
- インサートチップの基本の使用角度は、歯面に対して15度前後である。
- インサートチップの先端は歯面に対し、歯面を傷つけないように側面先端から1~2mmの部分に沿わせるように動かす。エアスケーラーのチップは楕円軌道を描いて振動するため、側面以外の内面や背面も使用可能である。

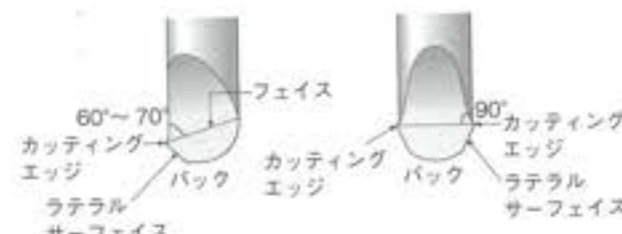
文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 177-188
歯科衛生学シリーズ 歯周病学 162-163
ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 35-37

- 70 シックルタイプスケーラーとグレイシータイプキュレットのシャープニングで、共通した対象部位はどれか、2つ選べ。
- トウ
 - バック
 - フェイス
 - ラテラルサーフェイス

▶keyword: シャープニング

解答: c, d

シャープニングとは、スケーラーの刃部の形態を変えずに、鋭利なカッティングエッジを得るために行う操作である。スケーラーの原形を変えないためには、スケーラーの刃部の形態や角度を理解する必要がある。



シックルタイプ
グレイシータイプ キュレット ユニバーサルタイプ キュレット

- シックルタイプはトウを研ぐ必要はない。グレイシータイプキュレットでは、シャープニングをしていくとラテラルサーフェイス(側面)から先端に移行する部分が角張ってくるため、トウの形態修正を必要とする。
- バック(背面)はいずれのスケーラーでもシャープニングの対象とならない。
- 細かなバリを除去するためにフェイス(内面)を研ぐ場合は、刃部内面の彎曲に合わせるように円筒形の砥石を当てて行う。
- ラテラルサーフェイス(側面)を研ぐことによって、鋭利なカッティングエッジを得る。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 189-196
ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 37-40

午前問題

解答・解説

- 71 歯面清掃に使用する器具の写真(別冊No.20)を示す。
この器具の特徴はどれか、2つ選べ。
- 回転式器具である。
 - 仕上げ研磨が必要である。
 - ペースメーカー装着者にも使用できる。
 - PMTcペーストを併用する際は無水で行う。

▶keyword: サブソニックブラシシステム

解答: c, d

写真はサブソニックブラシシステムである。エアスケーラーの機構により専用ブラシを用い、注水下でのブラシの振動による音波効果(サブソニック振動)で発生する泡により、歯面清掃を行う。

【サブソニックブラシの適応】

- 歯肉辺縁の洗浄
 - 知覚過敏、根面露出部の清掃
 - 小窩溝溝填塞前の溝溝清掃
 - 根面周縁、インプラントアバットメントなどの補綴装置や矯正装置周辺の清掃など
- エアスケーラーの機構による振動を利用した機器である。回転式器具による歯面清掃・歯面研磨は、マイクロモーターエンジン用コントラアングルハンドピースに研磨用器具(研磨用カップ、研磨用ブラシ)を装着して行う。
 - 歯頸部の硬組織やレジン修復物に対しても、表面粗さに影響を与えることなく使用できるため、使用後の仕上げ研磨は不要である。
 - エアービン用の圧縮空気を応用してブラシを振動させるため、ペースメーカー装着者にも使用可能である。
 - 泡による歯面清掃だけでなく、ペーストを使用した歯部の沈着物除去も可能である。その際は無水で行う必要がある。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 206-207

- 72 67歳の男性。ブラッシング時の出血を主訴に来院し、歯周基本治療を行った。歯周基本治療終了後の再評価の結果、3か月ごとのメンテナンスに移行することになった。
メンテナンス時の歯科衛生士の対応として正しいのはどれか、2つ選べ。
- ブラークの付着状況を検査する。
 - 病状安定の維持を目的として処置を行う。
 - 服薬の変化がないか投薬後で確認する。
 - BMIを18.5未満に維持するよう指導する。

▶keyword: メインテナンス

解答: a, c

歯周治療により、歯周組織が臨床的に健康を回復した状態を「治癒」という。メンテナンスは、歯周治療により治癒した歯周組織を長期間維持するための健康管理のことである。メンテナンスでは、口腔内検査をもとに処置が必要な部位を判断し、保健指導、SRP、PTC、フッ化物塗布などを行う。検査でう蝕や歯周組織に異常が見つかれば、歯科医師による診断を受け、治療が行われる。

- 治癒した歯周組織を維持するためには良好な口腔衛生状態を保つことが必要である。メンテナンスでは毎回口腔衛生状況の評価を行い、適切なセルフケアが継続できているかどうかを確認する。
- 病状安定はサポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)の対象となる状態である。メンテナンスは治癒した歯周組織の維持を目的とする。
- 全身状態や服薬、生活環境に変化がないか確認して患者状況を知ることが必要である。
- メンテナンスでは肥満などの改善のための食事指導が必要になることもあるが、高齢者でBMIが18.5未満は低栄養状態になるので、不適切である。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 191-195

午前問題	解答・解説
73 フッ化物歯面塗布法で使用する器材の写真(別冊No. 21)を別に示す。 ゲルタイプのフッ化物を用いたトレー法で使用するものはどれか。2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④ ▶keyword: フッ化物歯面塗布、トレー法	解答: b, c フッ化物歯面塗布法には一般法(綿球・綿棒塗布法)、トレー法、イオン導入法、歯ブラシ法などがある。トレー法は既製のディスクポータブルトレーまたは個人トレーを用いる方法で、薬剤の形状は溶液、ゲル、フォーム(泡)がある。現在、我が国では溶液の塗布に適したトレーがないため、溶液を使用したトレー法は勧められない。 【トレー法の術式】 歯面清掃→トレーの適合→トレーへの薬剤応用→歯面乾燥→トレーの装着→トレーの除去→塗布後の注意 a × ①のロールワットは、綿球・綿棒塗布法で簡易防湿に用いる。トレー法ではエアで歯面を乾燥させてトレーを装着するので使用しない。 b ○ ②のディスクポータブルシリンジは、トレーに薬剤を応用する際に用いる。適応量である2 mL以内のフッ化物をシリンジで計量しトレーに盛る。 c ○ ③は小綿球である。トレー法の場合、小綿球は余剰ゲルの拭き取りに使用する。 d × ④の歯ブラシは、歯ブラシ法でゲルを塗布する際に用いる。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 207-217 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 171-172
74 10歳の男児。矯正治療を希望して母親と来院した。治療開始前に行った2種類のう蝕活動性試験の結果の写真(別冊No. 22A, B)を別に示す。歯科医師から、PTC後に家庭でのフッ化物洗口を指導するように指示があった。 洗口法とフッ化物イオン濃度の組合せで、この男児に最も適するのはどれか。1つ選べ。 a 毎日法—225 ppm b 毎日法—250 ppm c 毎日法—450 ppm d 週1回法—900 ppm ▶keyword: フッ化物洗口、う蝕ハイリスク児	解答: c う蝕活動性試験の結果は、写真AのDentocult [®] -SMの判定はClass 3 (>10 ⁶ CFU/mL)、写真BのRD テスト [®] の判定はピンク色(High)で、いずれの結果からもう蝕ハイリスクの患者であることが考えられる。この患児の場合、家庭でのフッ化物洗口は毎日法が望ましく、なおかつフッ化物イオン濃度450 ppmの洗口剤が効果的である。フッ化物洗口法は対象者や利便性を考慮して選択する必要がある。 a × 広く家庭や集団で推奨される洗口法とフッ化物イオン濃度である。 b × 広く家庭や集団で推奨される洗口法とフッ化物イオン濃度である。 c ○ d × 週1回法は小・中学校などスクールベースの場合に推奨される。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 143-146、217-220
75 歯磨剤に配合されるフッ化物はどれか。2つ選べ。 a フッ化第一スズ b フッ化カルシウム c リン酸酸性フッ化ナトリウム d モノフルオロリン酸ナトリウム ▶keyword: フッ化物配合歯磨剤	解答: a, d 国内で製造されているフッ化物配合歯磨剤は、モノフルオロリン酸ナトリウムまたはフッ化ナトリウムが配合されている。そのほか、輸入製品としてフッ化第一スズが配合されたものを入手することができる。これまですべての歯磨剤のフッ化物配合比は0.1% (1,000 ppm) 以下に定められていたが、2017年にフッ化ナトリウムとモノフルオロリン酸ナトリウムを配合するものについて、フッ化物イオン濃度の上限が1,500 ppmに改められた。 a ○ b × フッ化カルシウムはフッ化物塗布により歯面に生成される無機化合物である。 c × リン酸酸性フッ化ナトリウムは歯面塗布に用いられるフッ化物である。 d ○ 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 224-230 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 178

午前問題	解答・解説
76 6歳の女児。定期健診のため保護者とともに来院した。下顎左側第一大臼歯が萌出してきたため、小窩裂溝充填を行うことになった。歯科医師から保護者に対し処置内容や注意点について説明するよう指示があった。 説明内容として適切なのはどれか。2つ選べ。 a 歯の一部を削りますが、痛みはありません。 b むし歯になりやすい歯の溝の部分にシーラント材で塞ぎます。 c 処置後30分間は、うがいをしたり食べたり飲んだりしないでください。 d つめたところをチェックしますので、3~6か月後に来院してください。 ▶keyword: 小窩裂溝充填術(フィッシャーシーラント)	解答: b, d 萌出直後の幼弱な臼歯の咬合面はう蝕になるリスクが高いため、この時期に小窩裂溝充填材で物理的に咬合を封鎖し、う蝕の発生を予防することが重要である。保護者には小窩裂溝充填をしたからといってう蝕にならないわけではないこと、3~6か月の間隔での定期歯科受診が必要であることを説明し、並行してフッ化物も塗布するように促す。 a × 歯質の切磨は行わない。歯面清掃後に酸処理(レジンのみ)、小窩裂溝充填材の充填を行う。 b ○ 小窩裂溝充填はう蝕リスクの高い小窩裂溝を物理的に封鎖する処置である。 c × フッ化物局所応用時のような洗口や飲食の制限はない。 d ○ 小窩裂溝充填材は咬合や摩擦によって破損や脱落することがあるため、3~6か月間隔で定期的な確認が必要である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 236-242 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 57
77 セメント系小窩裂溝充填剤で使用する材料の写真(別冊No. 23)を別に示す。 この材料の使用目的はどれか。1つ選べ。 a むれ性の向上 b 初期感水の防止 c 咬溝深部の清掃 d レジntagの形成 ▶keyword: セメント系小窩裂溝充填材、パーニッシュ	解答: b 写真の材料はパーニッシュである。セメント系小窩裂溝充填材は充填後、マイクロブラシにパーニッシュを浸して小窩裂溝充填材に塗布し、エアで乾燥させることにより耐水性皮膜をつくり初期感水を防止することができる。 a × むれ性を向上する目的で使用するのは、コンポジットレジン修復時に使用するプライマーである。 b ○ c × 咬溝深部の有機物を除去する目的で、次亜塩素酸ナトリウム水溶液や過酸化水素水を使用する場合がある。 d × レジン系小窩裂溝充填材使用時に用いるエッチング液(ゲル)は、エナメル質を脱灰してレジntag(硬化したレジンの小突起)を形成する目的で使用する。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 237-241
歯科保健指導論	
78 患者の問題解決に向けて歯科衛生計画を立案する際に適切なものはどれか。1つ選べ。 a 達成可能な目標を設定する。 b 目標設定には期限を設けない。 c リスク型では現在の状態を維持することを目標とする。 d 喫煙と歯周病の関係の説明することはケア計画である。 ▶keyword: 歯科衛生過程、歯科衛生計画立案	解答: a 歯科衛生計画を立案する際には、対象者の問題解決のために個別の短期目標・長期目標を設定する。歯科衛生上の問題の原因に対して、その原因の消失や軽減が短期目標であり、長期目標が達成できるよう段階的に設定する。目標を設定後、歯科衛生上の問題を解決するための計画を、ケア計画、教育計画、観察計画の3つの内容で立案する。 a ○ 期待される結果(目標)は、歯科衛生介入によって達成可能な内容にする。 b × 原則、短期目標は1~数週間、長期目標は1~数か月で達成できるものを設定する。 c × リスク型は、「歯科衛生介入をしなければ生じる可能性がある状態」が起こらないようにすることが目標となる。 d × 喫煙と歯周病の関係の説明は、対象者の知識の向上や行動変容のための指導内容であり、教育計画(E-P)に分類される。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 83-86 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 37-38

午前問題

79 75歳の男性、1年前に脳梗塞を発症し、左半身麻痺があり、友人との会食の機会が減少した。自宅では主に妻が介護している。ブラッシングは自力で可能だが、洗面所への移動には介助が必要である。そこで廊下に手すりを設置し、段差をなくしたところ自力での移動が可能となった。

下欄部分で国際生活機能分類 (ICF) の環境因子はどれか、1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ keyword : ICF (国際生活機能分類)

解答・解説

解答 : c

ICF (国際生活機能分類) (下図参照) は、人間の生活機能と障害の分類法として、2001年世界保健機関 (WHO) 総会において採択された。人が生きていくうえで障害を、その人の個性や周りの環境のかかわりを考えたうえで体系立てて分類された世界共通の指標である。その構成は、生活機能の3つの分類「生命レベル (心身機能・身体構造)」、「生活レベル (活動)」、「人生レベル (参加)」とそれに影響する2つの背景因子 (環境因子、個人因子) と健康状態からなる。

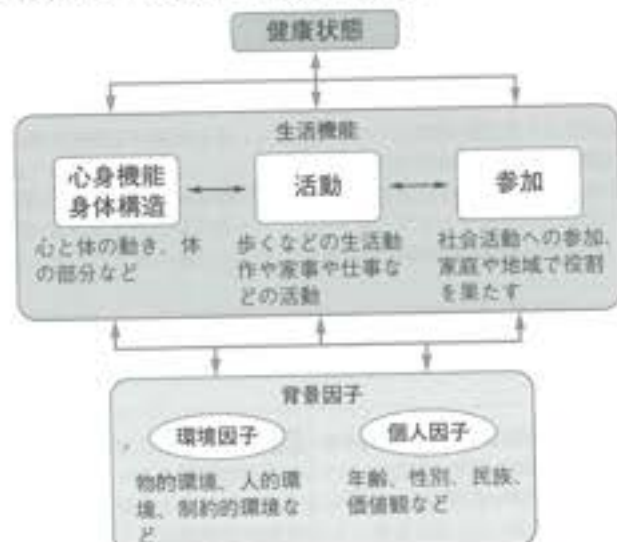


図 ICFにおける構成要素

- a × 「心身機能・身体構造」に分類される。心身機能とは、心身の生理的・心理的機能を意味する。手足の動きや柔軟性、呼吸状態、視覚・聴覚のほか、活力の低下や易疲労性も含まれる。身体構造とは、上下肢の関節の構造、胃、腸、皮膚・粘膜といった、身体の各器官の解剖学的な部位を意味する。
- b × 「参加」に分類される。参加とは、主に地域や家庭の一員として参加することを意味する。
- c ○ 「環境因子」(人的環境)に分類される。環境因子は、バリアフリーの住環境や公共交通機関などの「物的環境」、家族構成や援助者といった「人的環境」、医療、福祉サービスなど「制約的環境」に大別される。
- d × 「活動」に分類される。活動とは、主に日常生活を営むために必要な具体的な行為を意味する。ADLやIADL、仕事や余暇活動も含まれる。

文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 71-72
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 303-305
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 247-248

午前問題

80 78歳の男性、入院中の口腔衛生管理を行うことになった。今朝のバイタルサインと血液検査の結果を表に示す。

呼吸数	16回/分
体温	36.4度
血圧	135/82 mmHg
脈拍	60回/分
血清クレアチニン (Cr)	0.82 mg/dL
ヘモグロビン (Hb) 濃度	12.5 g/dL
アルブミン (Alb)	4.1 g/dL

疑われる状態はどれか、1つ選べ。

- a 検眼
b 貧血
c 高血圧
d 腎不全

▶ keyword : 臨床検査、貧血

解答・解説

解答 : b

高齢者への歯科診療を行う際には、自覚症状の聞き取りだけでなく、他覚症状や客観的評価の確認が必要であるとともに、検査項目の基準範囲を理解しておく。

成人の安静時の呼吸数は15~20回/分、体温(腋窩温)は36~37℃、75歳以上の外来通院可能な健康状態の血圧の目標は140/90 mmHg未満、高齢者の脈拍は50~60回/分である。血清クレアチニン (Cr) は男性で0.65~1.1 mg/dL、ヘモグロビン (Hb) 濃度は男性で13.5~17 g/dL、アルブミン (Alb) は4.1~5.1 g/dLである。

この男性は、ヘモグロビン濃度が低下した状態(貧血)である。高齢者は貧血が多く、Hbによる酸素運搬機能が低下しているため創傷治癒不全や易感染性といった問題が生じてくる。

- a × 高齢者では脈拍50回/分以下を徐脈という。この男性は60回/分で問題ない。
- b ○ 貧血はHbにより評価し、男性の基準値は13.5~17 g/dLである。基準値より低値であるため、貧血気味と読み取ることができる。貧血とは、赤血球数またはヘモグロビン濃度が減少した状態のことである。
- c × 診察室血圧140/90 mmHg以上で高血圧と定義される。この男性は135/82 mmHgで高値血圧に該当する。
- d × 腎不全は腎臓の機能が極度に低下した状態である。腎臓の機能が低下するとクレアチニン(老廃物)濃度が上昇する。この男性は0.82 mg/dLで問題ない。

文献 : 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 114-121, 322
 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 50-51, 210-213

81 70歳の男性、部分床義歯を使用しており、クラスプにはコバルトクロム合金が使用されている。義歯洗浄剤について相談を受けた。

金属部分の腐食を避けつつ、義歯の衛生管理を行うための義歯洗浄剤の成分で適切なのはどれか、2つ選べ。

- a 酸
b 酵素
c 過酸化水素
d 次亜塩素酸

▶ keyword : 義歯洗浄剤

解答 : b, c

義歯洗浄剤は、義歯の化学的清掃として用いる。有効成分(過酸化水素系、酵素系、次亜塩素酸系など)により効果や使用方法が異なるため、義歯の種類によって義歯洗浄剤を使い分ける。

- a × 酸は金属イオンと反応しやすく、腐食の原因となることがある。
- b ○ 酵素系は、義歯に付着したタンパク質汚れを分解する作用があり、金属部分に対しても腐食性が低いため安全に使用できる。
- c ○ 過酸化水素は、発泡作用により汚れを落とし、殺菌や消臭効果がある。
- d × 次亜塩素酸は殺菌作用が強いが、金属に影響を与える。

文献 : 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 262
 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 138-139
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 76

午前問題		解答・解説																								
82	<p>85歳の女性。家族が在宅で介護をしており、家族から口腔清掃の介助方法について教えてほしいと依頼があった。患者の情報を図に示す。</p> <p>身体の活動性 [ADL] 障害高齢者の日常生活自立度：ランクB、むせやすい [口腔清掃自立度 (BDR指標)] B: b1, D: b, R: b [口腔と義歯の清掃自立状況] 自発性: b, 習慣性: b1, 有効性: b</p> <p>口腔内の状態 5+2 6+6 7もに義歯を装着している。出血あり</p> <p>家族への指導で適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 入れ歯の清掃は家族が行ってほしい。 b 軟らかい毛の歯ブラシを使ってください。 c 誤嚥防止のためうがいはさせないでください。 d 口腔清掃時には仰向けで頭を上にあげてください。</p> <p>▶ keyword: ADL、改訂 BDR 指標 (口腔清掃自立度判定基準)</p>	<p>解答: b</p> <p>高齢者、特に要介護高齢者においては、ADL の評価や口腔清掃の自立度がどの程度であるか把握することが大切である。この女性は、現在歯が多数あるが、義歯を装着しており、出血もあることから、口腔清掃状態も考慮して指導をする必要がある。指導のための評価として、口腔清掃の自立度や口腔と義歯の清掃自立状況を評価する (下表参照)。</p> <p>改訂 BDR 指標 (口腔清掃自立度判定基準)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自立</th> <th>一部介助</th> <th>全介助</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">B 歯磨き (Brushing)</td> <td>b ほぼ自分で磨く a1: 移動して a2: 寝床で</td> <td>b 部分的には自分で磨く b1: 座位を保つ b2: 座位を保てない</td> <td>c 自分で磨けない c1: 座位、半座位をとる c2: 半座位もとれない</td> </tr> <tr> <td>D 義歯着脱 (Denture Wearing)</td> <td>b 着脱のどちらかができる</td> <td>c 自分ではまったく着脱しない</td> </tr> <tr> <td>R うがい (Mouth Rinsing)</td> <td>b 水を口に含む程度はする</td> <td>c 水を口に含むこともできない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自発性</td> <td>a 自分から進んで清掃する</td> <td>b いわれれば自分で清掃する</td> <td>c 自発性はない</td> </tr> <tr> <td>習慣性</td> <td>b ときどき清掃する b1: 週1日以上 b2: 週1回以下</td> <td>c ほとんど清掃していない</td> </tr> <tr> <td>有効性 (部位到達・操作・時間)</td> <td>b 清掃部位への到達や歯擦動作など、一部の清掃行為で有効にできない傾向がある</td> <td>c 清掃部位への到達や歯擦動作など、多くの清掃行為で有効にできていない</td> </tr> </tbody> </table> <p>a × 口腔と義歯の清掃自立状況、自発性の項目について「b: いわれれば自分で清掃する」ため、まずは本人自身で磨いてもらい、必要があれば家族が介助する。</p> <p>b ○ 出血があるため軟毛の歯ブラシを勧める。</p> <p>c × 口腔清掃自立度、うがいの項目について「R-b: 水を口に含む程度はする」ため、うがいを禁止する必要はない。ただし、むせがあるので頭の角度、姿勢に配慮する必要がある。</p> <p>d × 仰臥位で頭部を後屈すると誤嚥のリスクが高まる。むせやすい患者ではあるが座位を保てるため、座位での清掃を指導する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 377 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 102-106 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 210</p>		自立	一部介助	全介助	B 歯磨き (Brushing)	b ほぼ自分で磨く a1: 移動して a2: 寝床で	b 部分的には自分で磨く b1: 座位を保つ b2: 座位を保てない	c 自分で磨けない c1: 座位、半座位をとる c2: 半座位もとれない	D 義歯着脱 (Denture Wearing)	b 着脱のどちらかができる	c 自分ではまったく着脱しない	R うがい (Mouth Rinsing)	b 水を口に含む程度はする	c 水を口に含むこともできない	自発性	a 自分から進んで清掃する	b いわれれば自分で清掃する	c 自発性はない	習慣性	b ときどき清掃する b1: 週1日以上 b2: 週1回以下	c ほとんど清掃していない	有効性 (部位到達・操作・時間)	b 清掃部位への到達や歯擦動作など、一部の清掃行為で有効にできない傾向がある	c 清掃部位への到達や歯擦動作など、多くの清掃行為で有効にできていない
		自立	一部介助	全介助																						
B 歯磨き (Brushing)	b ほぼ自分で磨く a1: 移動して a2: 寝床で	b 部分的には自分で磨く b1: 座位を保つ b2: 座位を保てない	c 自分で磨けない c1: 座位、半座位をとる c2: 半座位もとれない																							
	D 義歯着脱 (Denture Wearing)	b 着脱のどちらかができる	c 自分ではまったく着脱しない																							
	R うがい (Mouth Rinsing)	b 水を口に含む程度はする	c 水を口に含むこともできない																							
自発性	a 自分から進んで清掃する	b いわれれば自分で清掃する	c 自発性はない																							
	習慣性	b ときどき清掃する b1: 週1日以上 b2: 週1回以下	c ほとんど清掃していない																							
	有効性 (部位到達・操作・時間)	b 清掃部位への到達や歯擦動作など、一部の清掃行為で有効にできない傾向がある	c 清掃部位への到達や歯擦動作など、多くの清掃行為で有効にできていない																							

午前問題		解答・解説
83	<p>72歳の女性。抗がん剤治療のため入院している。担当医師より口腔粘膜保護材 (エピシル® 口腔用液) の使用について歯科保健指導を依頼された。</p> <p>指導内容で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 冷蔵庫で保管してください。 b 適量を口に含みすすいでから吐き出します。 c 口腔粘膜の水分を吸収してゲル状になります。 d 口内炎の痛みを緩和させる目的で使用します。</p> <p>▶ keyword: 保湿剤、口腔粘膜炎、口腔衛生管理</p>	<p>解答: c, d</p> <p>口腔粘膜保護材 (エピシル® 口腔用液) は化学療法や放射線療法に伴う口内炎で生じる疼痛コントロールに使用する。口腔粘膜に生じた病変部に適用すると、数分以内にゲル状になり物理的バリアの形成により口腔内の疼痛を緩和させる。</p> <p>a × 冷所で保管すると成分が固まり液が出にくくなる恐れがあるため、冷蔵庫ではなく室温で保管する。</p> <p>b × ボンプを1~3回押下 (プッシュ) し患部に適量塗布した後は舌で患部に塗り広げる。吐き出しはしない。</p> <p>c ○ 塗布後は舌で患部に塗り広げ、ゲル状の保護膜が形成されるまで数分待つ。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 265 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 34 エピシル® 口腔用液添付文書 https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/medical/product_med/item/000446/upload/revision/attach/000446_ATC.pdf</p>

午前問題	解答・解説															
<p>84 禁煙開始後1か月の患者に標準的支援を行っている。標準的禁煙支援（ABC方式）アドバイス例を関に示す。</p> <p>① 自分で禁煙する自信がないようでしたら、禁煙治療を受けられる医療機関をご紹介します。</p> <p>② タバコは、がんになるだけでなくいろいろな病気にかかりやすくなることわかっています。ぜひこの機会に禁煙しましょう。</p> <p>③ 「ニコチン依存症」にかかっているため、タバコをやめにくいことがわかっています。今は薬を使って医療機関で治療を受ければ、比較的楽にやめられますよ。</p> <p>④ 禁煙した後で体重が増えてしまったんですね。それはタバコを吸わないことで食欲が増し、ニコチンの作用がなくなると基礎代謝が低下するためです。</p> <p>2回目の電話フォローアップで、「C」にあたるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 禁煙支援、短時間支援（ABR方式）、標準的支援（ABC方式）</p>	<p>解説: d</p> <p>禁煙支援の時間が十分に確保できない場合は短時間支援（ABR方式）を、特定保健指導や事後指導の場合など禁煙支援の時間を確保できる場合は標準的支援（ABC方式）を行う（下表参照）。短時間支援は個別面談1回（1～3分）、標準的支援は、初回個別面談1回（10分）と電話フォローアップ4回（5分）の組合せで実施する。</p> <p>この患者は禁煙開始後1か月を経過しており実行期にあたる。禁煙継続のための支援を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>短時間支援（ABR方式）</th> <th>標準的支援（ABC方式）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>個別面談1回</td> <td>個別面談1回と電話フォローアップ4回</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>1～3分</td> <td>初回面談10分、フォローアップ5分</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>Ask（喫煙状況の把握） Brief advice（短時間の禁煙アドバイス） （1）禁煙の重要性を高めるアドバイス （2）禁煙のための解決策の提案 Refer（医療機関等の紹介） ※準備期のみ</td> <td>Ask、Brief advice は上記と同様 Cessation support（禁煙実行・継続の支援） （1）初回の個別面談 ※準備期のみ ①禁煙開始日の設定 ②禁煙実行のための問題解決カウンセリング ③禁煙治療のための医療機関等の紹介 （2）電話によるフォローアップ ※禁煙開始日設定者のみ ①喫煙状況とその後の経過の確認 ※禁煙に対する賞賛と励まし ②禁煙継続のための問題解決カウンセリング</td> </tr> <tr> <td>支援の場</td> <td>各種健診（特定健診やがん検診など）</td> <td>特定保健指導や事後指導等の各種保健事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>a × ①は ABR方式の「R」、医療機関への紹介にあたる。禁煙ステージの準備期のみが対象である。</p> <p>b × ②は ABR方式の「B」、短時間の禁煙アドバイスのうち、禁煙の重要性を高めるアドバイスにあたる。</p> <p>c × ③は ABR方式の「B」、短時間の禁煙アドバイスのうち、禁煙のための解決策の提案にあたる。</p> <p>d ○ ④は ABC方式の「C」、禁煙実行・継続の支援にあたる。電話によるフォローアップのうち、禁煙継続のための問題解決カウンセリングで、実行期のアドバイスである。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 282-283 禁煙支援マニュアル 第2版増補改訂版（厚生労働省） https://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en-sien/manual2/dl/addition01.pdf</p>		短時間支援（ABR方式）	標準的支援（ABC方式）	回数	個別面談1回	個別面談1回と電話フォローアップ4回	時間	1～3分	初回面談10分、フォローアップ5分	内容	Ask（喫煙状況の把握） Brief advice（短時間の禁煙アドバイス） （1）禁煙の重要性を高めるアドバイス （2）禁煙のための解決策の提案 Refer（医療機関等の紹介） ※準備期のみ	Ask、Brief advice は上記と同様 Cessation support（禁煙実行・継続の支援） （1）初回の個別面談 ※準備期のみ ①禁煙開始日の設定 ②禁煙実行のための問題解決カウンセリング ③禁煙治療のための医療機関等の紹介 （2）電話によるフォローアップ ※禁煙開始日設定者のみ ①喫煙状況とその後の経過の確認 ※禁煙に対する賞賛と励まし ②禁煙継続のための問題解決カウンセリング	支援の場	各種健診（特定健診やがん検診など）	特定保健指導や事後指導等の各種保健事業
	短時間支援（ABR方式）	標準的支援（ABC方式）														
回数	個別面談1回	個別面談1回と電話フォローアップ4回														
時間	1～3分	初回面談10分、フォローアップ5分														
内容	Ask（喫煙状況の把握） Brief advice（短時間の禁煙アドバイス） （1）禁煙の重要性を高めるアドバイス （2）禁煙のための解決策の提案 Refer（医療機関等の紹介） ※準備期のみ	Ask、Brief advice は上記と同様 Cessation support（禁煙実行・継続の支援） （1）初回の個別面談 ※準備期のみ ①禁煙開始日の設定 ②禁煙実行のための問題解決カウンセリング ③禁煙治療のための医療機関等の紹介 （2）電話によるフォローアップ ※禁煙開始日設定者のみ ①喫煙状況とその後の経過の確認 ※禁煙に対する賞賛と励まし ②禁煙継続のための問題解決カウンセリング														
支援の場	各種健診（特定健診やがん検診など）	特定保健指導や事後指導等の各種保健事業														

午前問題	解答・解説										
<p>85 特定健康診査の問診票のうち、服用の有無を確認する質問で対象となる薬はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 血糖を下げる薬 b 貧血を改善する薬 c 骨吸収を抑える薬 d コレステロールを下げる薬</p> <p>▶keyword: 特定健康診査、特定保健指導、質問票</p>	<p>解説: a, d</p> <p>特定保健指導対象者の選定と階層化のために服薬の有無は必要な質問である。医師の診断のもとに現在服用している薬については、3種類（血圧を下げる薬、血糖を下げる薬またはインスリン注射、コレステロールや中性脂肪を下げる薬）であり、①は、②はい、③はいで回答する。高血圧症、糖尿病または脂質異常症について既に医療機関で治療を受けており服薬中である者については、生活習慣の改善支援も行われていると考えられるため特定保健指導の対象とならない。</p> <p>a ○ b × 「医師から貧血と言われたことがある」①はい、②いいえという質問はあり、詳細健診（貧血検査）の必要性を判定するために必要な質問である。 c × 骨吸収を抑える薬に関する質問はない。 d ○</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 101-102 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 284-285 標準的な質問票令和6年度版 chrome-extension://efaidnbnmhbpcjpcglclefindmkaj/https://www.kourita.or.jp/kumamoto/content/files/R6hyo-kyunteki_shitumon.pdf</p>										
<p>86 ミネラルの特徴を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>元素名</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>・生体含有量が大量ミネラルで最も多い。 ・骨や歯の構成成分である。 ・血液凝固、細胞内情報伝達に関与する。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>・骨や歯の構成成分である。 ・細胞膜、核膜の構成成分である。 ・血液や組織液のpHや浸透圧の調整をする。</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>・生体含有量が微量ミネラルで最も多い。 ・ヘモグロビンの構成成分として、酸素の運搬に関与する。 ・酵素の補助をする。</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>・ほとんどが骨や歯に存在する。 ・エナメル質のヒドロキシアパタイト結晶の安定化に関与する。 ・プラーク中の細菌による酸産生を抑制する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄はどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: ミネラル</p>	元素名	特徴	①	・生体含有量が大量ミネラルで最も多い。 ・骨や歯の構成成分である。 ・血液凝固、細胞内情報伝達に関与する。	②	・骨や歯の構成成分である。 ・細胞膜、核膜の構成成分である。 ・血液や組織液のpHや浸透圧の調整をする。	③	・生体含有量が微量ミネラルで最も多い。 ・ヘモグロビンの構成成分として、酸素の運搬に関与する。 ・酵素の補助をする。	④	・ほとんどが骨や歯に存在する。 ・エナメル質のヒドロキシアパタイト結晶の安定化に関与する。 ・プラーク中の細菌による酸産生を抑制する。	<p>解説: c</p> <p>鉄（Fe）は③である。鉄は生体含有量が最も多い微量ミネラルであり、その約70%が赤血球中のヘモグロビンの構成成分として存在し、酸素の運搬などに関与している。日本人では不足しやすいミネラルの一つであり、鉄欠乏状態が悪化すると鉄欠乏性貧血を発症する。また、食物中の鉄には、比較的吸収されやすい肉などの動物性食品に含まれるヘム鉄と、吸収されにくい野菜などの植物性食品に含まれる非ヘム鉄の2種類がある。</p> <p>a × ①はカルシウム（Ca）である。カルシウムはリンとともにヒドロキシアパタイト（$\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_2$）の構成成分であり、約99%が骨や歯に存在する。日本人では不足しやすいミネラルの一つである。</p> <p>b × ②はリン（P）である。リンはカルシウムとともにヒドロキシアパタイト（$\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_2$）の構成成分であり、カルシウムに次いで生体内に多いミネラルである。リンは多くの食品に含まれているため、過剰摂取に注意が必要である。</p> <p>c ○ d × ④はフッ素（F）である。フッ素はヒドロキシアパタイトを安定なフルオロアパタイト（$\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6\text{F}_2$）に変換することで耐酸性を向上させるとともに、プラーク内細菌による酸産生を抑制するため、う蝕予防効果が高い。また、「日本人の食事摂取基準」では摂取基準が定められていない。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 栄養学 58-60 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 22-23</p>
元素名	特徴										
①	・生体含有量が大量ミネラルで最も多い。 ・骨や歯の構成成分である。 ・血液凝固、細胞内情報伝達に関与する。										
②	・骨や歯の構成成分である。 ・細胞膜、核膜の構成成分である。 ・血液や組織液のpHや浸透圧の調整をする。										
③	・生体含有量が微量ミネラルで最も多い。 ・ヘモグロビンの構成成分として、酸素の運搬に関与する。 ・酵素の補助をする。										
④	・ほとんどが骨や歯に存在する。 ・エナメル質のヒドロキシアパタイト結晶の安定化に関与する。 ・プラーク中の細菌による酸産生を抑制する。										

午前問題	解答・解説
87 三色食品群分類での黄群の食品はどれか。2つ選べ。 a 油 b チーズ c ほうれん草 d ジャガイモ ▶keyword: 三色食品群、エネルギー、栄養素	解答: a, d 三色食品群は含まれる栄養素の特徴から食品を赤・黄・緑の3色に分類したものである。黄群は主にエネルギーのもとになる食品が該当する。 a○ 油などの油脂類の主成分は脂肪酸で、エネルギーのもとになる。 b× チーズなどの乳製品は、特にカルシウムの供給源として重要である。チーズは三色食品群の赤群に分類される。 c× ほうれん草などの野菜類は、食物繊維やビタミン、ミネラルの供給源として重要である。ほうれん草は三色食品群の緑群に分類される。 d○ ジャガイモはいもおよびでんぷん類で、穀物と同様に主食となる食品である。炭水化物を主成分とし、残りはほぼ水分である。 文献: 歯科衛生学シリーズ 栄養学 78-79
88 「歯ぐきの健康を保つ食品」が分類されるのはどれか。1つ選べ。 a 病者用食品 b 栄養機能食品 c 機能性表示食品 d 特定保健用食品 ▶keyword: 保健機能食品	解答: d 国が定めた安全性や有効性に関する基準などに従い、その機能性が容器包装に表示されている食品を保健機能食品といい、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品がある。 a× 病者用食品は、特別用途食品の一つで、病者が健康の保持・回復などに適する用途について表示を行う食品である。消費者庁長官から表示の許可を受ける必要がある。 b× 栄養機能食品は、体の成長や発育、健康の維持に必要な栄養成分の補給や補完を目的とした食品である。特定保健用食品とは異なり、国による審査や許可を受ける必要はない。すでに科学的根拠が確認された成分が基準量含まれていれば表示できる(規格基準型)。 c× 機能性表示食品は、科学的根拠に基づいて食品の機能性を制度事業者の責任で商品パッケージに表示した食品である。事業者は販売前に消費者庁長官に届け出れば表示できる(届出制)。 d○ 特定保健用食品(トクホ)は、摂取によって特定の保健の目的が期待できることを表示することが許可された食品である。事業者は、有効性、安全性について国の審査を受け、消費者庁長官の許可を受ける必要がある(個別許可型)。「むし歯の原因になりにくい食品」や「歯を丈夫で健康にする食品」、「歯ぐきの健康を保つ食品」など、歯を健康に保ちたい人を対象とした食品がある。 文献: 歯科衛生学シリーズ 栄養学 91-93 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 287
89 キシリトールの説明で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 非発酵性糖質の一つである。 b 菌体外多糖類生成の基質となる。 c 甘味度はスクロースと同等である。 d グルコースの糖アルコールである。 ▶keyword: キシリトール	解答: a, c キシリトールはキシロースの糖アルコールで、「スクロースの代わりに用いる甘味物質」である代用甘味料の一つである。 a○ プラーク中の細菌によって酸産生の原料となる糖質を発酵性糖質というが、糖アルコールは非発酵性の糖質系代用甘味料である。 b× キシリトールは非発酵性糖質であり、菌体外多糖類の生成の基質とならない。 c○ スクロース(ショ糖)を1.00とする甘味度でキシリトールは1.08でありほぼ同等である。 d× キシリトールはキシロースの糖アルコールである。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 286-290 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 105, 119

午前問題	解答・解説																											
90 A市では、40歳代の潜在的な糖尿病患者の早期発見を目的とした市民講座を開催している。過去の事業報告書の一部を表に示す。 <table border="1" data-bbox="1476 270 1852 811"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①職員</td> <td>5名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>②会場</td> <td>保健センター(会議室)</td> <td>保健センター(小ホール)</td> </tr> <tr> <td>③専門職の活用</td> <td>なし</td> <td>管理栄養士・歯科衛生士(各1名)</td> </tr> <tr> <td>④予算</td> <td>10万円</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>⑤内容</td> <td>ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート</td> <td>ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート</td> </tr> <tr> <td>⑥来場者数</td> <td>20名</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>⑦血糖値測定者率</td> <td>5名(25%)</td> <td>17名(25%)</td> </tr> <tr> <td>⑧本年度の特定健診受診率</td> <td>38%</td> <td>34%</td> </tr> </tbody> </table> この事業の評価で改善がみられたのはどれか。1つ選べ。 a プロセス評価 b アウトカム評価 c アウトプット評価 d ストラクチャー評価 ▶keyword: 保健事業における評価		2023年度	2024年度	①職員	5名	10名	②会場	保健センター(会議室)	保健センター(小ホール)	③専門職の活用	なし	管理栄養士・歯科衛生士(各1名)	④予算	10万円	20万円	⑤内容	ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート	ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート	⑥来場者数	20名	68名	⑦血糖値測定者率	5名(25%)	17名(25%)	⑧本年度の特定健診受診率	38%	34%	解答: d PDCAサイクルを活用して健康教育を進め、目標を達成するためには、評価が重要な鍵となる。単に実施した事業内容の振り返りでなく、具体的にさまざまな角度から評価をし、結果に応じた改善策を検討する必要がある。地域歯科保健に関する評価には、4つの観点がある。(1)ストラクチャー評価(保健事業を実施、継続するための仕組みや体制の評価)、(2)プロセス評価(事業の目的の達成に向けた過程や実施した活動状況の評価)、(3)アウトプット評価(目的や目標の達成のために行われる事業の結果の評価)、(4)アウトカム評価(事業の目的や目標の達成度、成果の数値目標の評価)があげられる。可能な限り数値などにより継続的に変化を確認できるようにして評価を行い、次回以降の計画立案での改善につなげるのが望ましい。 a× 報告書の⑤にあたる。保健事業内容としては、昨年度より目標達成に向けた新規の内容は行っていない。 b× 報告書の⑧にあたる。糖尿病など生活習慣病の早期発見を目的とした特定健診への次年度の受診率は減少しており、本事業をきっかけとした来場者の受診行動につながっていないことがわかる。受診行動を促進するためには、対象者のスクリーニングを行い、血糖高値者へのハイリスクアプローチも必要となる。 c× 報告書の⑥⑦にあたる。会場の規模が広がったことや前年度からの認知度により来場者人数は増加したものの、血糖値測定者は、同比率となった。潜在的な糖尿病患者を早期発見する目的の達成には至っていない。 d○ 報告書の①～④にあたる。保健事業のための態勢づくりとして、昨年に比べて、専門職の活用と職員が増員され、マンパワーが追加されている。これにより来場者の増加につながったと考えられる。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 406-407 厚生労働省 HP「個別保健事業の評価」 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000117696.pdf
	2023年度	2024年度																										
①職員	5名	10名																										
②会場	保健センター(会議室)	保健センター(小ホール)																										
③専門職の活用	なし	管理栄養士・歯科衛生士(各1名)																										
④予算	10万円	20万円																										
⑤内容	ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート	ポスターの掲示 血糖値の測定 健康相談 来場者事後アンケート																										
⑥来場者数	20名	68名																										
⑦血糖値測定者率	5名(25%)	17名(25%)																										
⑧本年度の特定健診受診率	38%	34%																										
歯科診療補助論																												
91 共同動作時における術者と補助者の位置で基準となるのはどれか。2つ選べ。 <table border="1" data-bbox="1476 1217 1852 1371"> <thead> <tr> <th>術者</th> <th>補助者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 8時</td> <td>1時</td> </tr> <tr> <td>b 9時</td> <td>1時</td> </tr> <tr> <td>c 11時</td> <td>4時</td> </tr> <tr> <td>d 12時</td> <td>1時</td> </tr> </tbody> </table> ▶keyword: 共同動作	術者	補助者	a 8時	1時	b 9時	1時	c 11時	4時	d 12時	1時	解答: a, c 補助者は術者の施術範囲を妨げないようにポジショニングしなければならない。患者水平位、座位ともに3時の位置で補助する機会が多く、そのほかに1時～4時の位置で補助することもある。術者と補助者は、患者の口腔を中心として対称となる位置を基準とすることが多い。 a○ b× 補助者は3～4時の位置にいるのが望ましい。 c○ d× 補助者は3～4時の位置にいるのが望ましい。 文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 82																	
術者	補助者																											
a 8時	1時																											
b 9時	1時																											
c 11時	4時																											
d 12時	1時																											

午前問題	解答・解説
<p>92 歯科用レーザーの注意事項で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a レーザー管理区域には警告標識の掲示を行う。</p> <p>b レーザー光束強度測定はレーザー管理区域のみで行う。</p> <p>c レーザー機器管理者は歯科衛生士が担うことができる。</p> <p>d レーザー管理区域内では、術者、補助者、患者とも使用レーザーの波長に合わせたゴーグルを着用する。</p> <p>▷keyword: 歯科用レーザー</p>	<p>解答: a, d</p> <p>歯科用レーザーはJIS(日本産業規格)におけるレーザー機器のクラス分けで、最も危険性の高い「クラス4」に分類されている。その使用にあたっては、歯科医師だけでなく、歯科衛生士ほか診療補助者もレーザーの適切かつ安全な使用と管理に責任をもたねばならない。</p> <p>a○ う蝕検査に用いられるレーザー機器はJISにおけるレーザー機器のクラス分けで「クラス2」に分類され、管理区域の設定や保護ゴーグルの装着の必要はなく、歯科衛生士が通常業務の一環として使用できる。</p> <p>b× レーザー機器管理者とレーザー機器使用者は、レーザー光の危険性について教育を受け、十分な知識をもっていなければならない。加えて歯科治療用レーザーは医療用レーザー機器に該当するので、医師免許または歯科医師免許をもっていることが必須条件である。</p> <p>c×</p> <p>d○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法 42-44 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 83-84</p>
<p>93 セルフアドヒーシブ型レジンセメントの操作で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 支台歯に酸処理を行う。</p> <p>b 支台歯にボンディング材を塗布する。</p> <p>c ミキシングチップを用いて混和する。</p> <p>d セメント塗布前に補綴装置の内面を適切に処理する。</p> <p>▷keyword: 接着性レジンセメント</p>	<p>解答: c, d</p> <p>セルフアドヒーシブ型レジンセメントは、象牙質表面のカルシウムや水分と化学的・機械的に結合するためボンディング処理やエッチング処理(酸処理)を必要としない。</p> <p>a× 酸処理は必要ない。</p> <p>b× ボンディングは必要ない。</p> <p>c○</p> <p>d○ 補綴装置の材質に応じてサンドブラストやシラン処理などの内面処理は必要である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 283 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 79-89 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法 105</p>
<p>94 酸化亜鉛非ユージノールセメントと比較した酸化亜鉛ユージノールセメントの特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯髄鎮静作用がある。</p> <p>b レジン重合を促進する。</p> <p>c 辺縁封鎖性に優れている。</p> <p>d 細菌発育の阻止効果がある。</p> <p>▷keyword: セメント系仮封材、酸化亜鉛ユージノールセメント、酸化亜鉛非ユージノールセメント</p>	<p>解答: a, d</p> <p>酸化亜鉛非ユージノールセメントと酸化亜鉛ユージノールセメントはセメント系仮封材・仮着材である。ユージノールには、歯髄の鎮痛・鎮静作用や細菌発育の阻止効果がある。さらに、レジン重合阻害作用を有するため、レジン系セメントでの接着や、レジン系修復材料を使用する場合には使用禁忌である。これらの特徴は酸化亜鉛ユージノールセメントのみにある。酸化亜鉛非ユージノールセメントと酸化亜鉛ユージノールセメントの辺縁封鎖性は両者ともに優れている。</p> <p>a○ 歯髄鎮静作用は酸化亜鉛ユージノールセメントのみの特徴である。</p> <p>b× レジン重合促進は両者のどちらにもあてはまらない。レジン重合阻害は酸化亜鉛ユージノールセメントのみの特徴である。</p> <p>c× 辺縁封鎖性は両者ともに優れている。</p> <p>d○ 細菌発育の阻止効果は酸化亜鉛ユージノールセメントのみの特徴である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 301-303 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 108-110</p>

午前問題	解答・解説
<p>95 40歳の男性。右上の前歯に食物がよく挟まるようになったことを主訴に来院した。上顎右側側切歯歯心う蝕がみつかったため、直接修復処置を行うことになった。素材の写真(別冊No.24)を別に示す。処置直前に歯間分離を行う場合に必要なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▷keyword: 歯間分離法、直接修復処置</p>	<p>解答: a, c</p> <p>歯間分離とは歯の隣接面の検査や修復治療のため、歯と歯の間の距離(歯間距離)を広げることである。歯間分離法には即時歯間分離法と緩徐歯間分離法の2種類がある。検査や修復の直前に行うのが即時歯間分離法、矯正用エラストックなどにより、時間をかけて歯間分離することを緩徐歯間分離法という。今回は治療直前に行うため、即時歯間分離法を用いる。</p> <p>a○ ①はアイボリー型セパレーターである。前歯部で使用する即時歯間分離用である。</p> <p>b× ②はエリオット型セパレーターである。主に臼歯部で使用するくさび分離を応用した即時歯間分離用で前歯部用もある。ネジが傾斜になるようにセッティングして使用する。</p> <p>c○ ③はウェッジである。即時歯間分離用である。木製(左)やプラスチック製(右)があり、前歯部、臼歯部のどちらでも使用することができる。</p> <p>d× ④はエラストックセパレーターである。緩徐歯間分離用である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法 33-35, 37 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 109 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 90-91</p>
<p>96 56歳の女性。歯の色の変色を主訴として来院した。歯科医師の診断の結果、ウォーキングブリーチ法を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊No.25)を別に示す。写真の操作の次に行うのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 漂白剤を練和して噴霧</p> <p>b 歯冠部の根管充填材の除去</p> <p>c コンポジットレジンによる仮封</p> <p>d グラスアイオノマーセメント裏層</p> <p>▷keyword: ウォーキングブリーチ法、無髄歯の漂白法</p>	<p>解答: b</p> <p>ウォーキングブリーチ法は緊密な根管充填がなされた無髄歯のみを対象とする漂白法である。写真はシェードタイピングを行っているところである。手順は、エックス線により根管充填状態を確認→歯の色調の検査→歯冠部の根管充填材を除去(b)→グラスアイオノマーセメントによる裏層(d)→高濃度過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを練和して噴霧(a)→コンポジットレジンなどによる緊密な仮封(c)である。薬剤は約1週間を1クールとして交換し、複数回の処置を行う。漂白終了して1~2週間経過後に開拓部をコンポジットレジンによって修復し完了となる。</p> <p>a×</p> <p>b○</p> <p>c×</p> <p>d×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法 74-78</p>
<p>97 45歳の女性。上顎前歯部のフラップ手術(POP)を施行することになった。局所麻酔後にプロービング・ボンサウンディングを行い、歯周部位を切開し歯肉を剥離・翻転、歯肉ポケット内壁の炎症性肉芽組織の除去を行った。最後に歯肉弁を整形し縫合した。器具の写真(別冊No.26)を別に示す。下部の操作と使用する器具の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▷keyword: フラップ手術、歯肉剥離術</p>	<p>解答: c, d</p> <p>フラップ手術(歯肉剥離術)は、局所麻酔下で行われる歯周外科処置である。まず、麻酔下で歯周プローブを用いて垂直的・水平的な骨縁の位置を把握する(ボンサウンディング)。続いて、メスなどで切開を行い、剥離子で歯肉を剥離・翻転させ、病変部を明視化する。その後、キュレットスケーラーでブラークや歯石、炎症性不良肉芽組織を掻爬し、最終的に縫合して手術を完了させる。</p> <p>a× 写真①は剥離子である。歯肉・骨膜の剥離操作に使用する器具である。歯肉の切開には、メスやペリオドンタルナイフ、カーランドメスなどを用いる。</p> <p>b× 写真②はルートチップである。歯根の除去や残根の除去に使用する器具である。歯肉の剥離・翻転には、剥離子などを用いる。</p> <p>c○ 写真③はキュレットスケーラーである。歯肉ポケット内壁と骨欠損部位の炎症性肉芽組織の除去には、各種グレイシータイプキュレットスケーラーを用いる。</p> <p>d○ 写真④は有鉤ピンセットである。縫合時、有鉤ピンセットは、滑りやすい歯肉組織を的確に把持するために不可欠な器具である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 140-149 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 184</p>

午前問題	解答・解説
<p>98 36歳の男性。下顎右側臼歯部ブリッジの装着後からかみ合わせに違和感を感じるという主訴で来院した。歯科医師から咬合接触検査を行うための器具を準備するように指示を受けた。器具の写真(別冊No.27)を別に示す。</p> <p>準備する器材はどれか、2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 咬合接触検査</p>	<p>解答: a, c</p> <p>咬合接触検査は咬頭嵌合位(中心咬合位)および偏心咬合位での咬合接触の有無、部位、数などを咬合検査用材料を用いて検査する。使用するのには咬合検査用ワックス、咬合紙、咬合検査用シリコンゴム、咬合検査用ストリップスがある。</p> <p>a○ ①は馬蹄形咬合紙と全顎用咬合紙ホルダーである。上下顎歯列に咬合紙を介在させ、咬合させた後に咬合紙と歯面にみられる色の濃淡により、咬合接触部位や咬合接触の強さを検査する。</p> <p>b× ②はノギスである。開口量検査や義歯製作時の咬合高径の計測に使用する。</p> <p>c○ ③は咬合検査用ストリップスと咬合紙ホルダーである。上下顎歯列にストリップスを介在させ、咬合させた後にストリップスを引き抜いて咬合接触の有無や強さを検査する。</p> <p>d× ④はアルコールランプである。パラフィンワックスなどを熱して軟らかくするときに使用する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 56-57</p>
<p>99 歯科医師の指示により上顎左側中切歯に、既製樹脂冠を使用してプロビジョナルレストレーションを製作することになった。試適後の操作の写真(別冊No.28)を別に示す。</p> <p>次に行う操作はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 形態修正を行う。 b 支台歯に圧接する。 c 分離材を支台歯に塗布する。 d 患者に咬合するように指示をする。</p> <p>▶keyword: 既製樹脂冠、プロビジョナルレストレーション</p>	<p>解答: b</p> <p>写真は既製樹脂冠(レジン冠)の内面に常温重合レジンを手積み法にて満たしているところである。レジン既製冠を使用したプロビジョナルレストレーションの製作手順は、①歯の大きさに合わせて既製樹脂冠を試適し修正する。②支台歯、隣接歯、歯肉縁に分離材を塗布する。③既製樹脂冠の内面に常温重合レジンを手積み法で満たす。④支台歯に圧接後、大きな余剰部分を除去、既製樹脂冠を数回着脱させ、アンダーカットに入り込んでいないか確認し硬化を待つ。⑤口腔外で形態修正、辺縁修正し適合の確認をする。⑥咬合調整を行う。⑦研磨用ポイントで研磨を行う。⑧仮着用セメントで仮着を行う。</p> <p>a× 形態修正は、レジンの硬化後、口腔外で行う。</p> <p>b○ 支台歯に圧接後、大きな余剰部分を除去する。既製樹脂冠を数回着脱させ、アンダーカットに入り込んでいないことを確認し、硬化を待つ。</p> <p>c× 分離材の塗布は、試適後に行う。</p> <p>d× 咬合調整は形態修正後に行う。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 89-90 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 154-155 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 177-178</p>
<p>100 67歳の女性。下顎右側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。歯科医師の診断の結果、歯根折が認められ、局所麻酔下で近心根の抜歯を行った。圧迫止血後、抜歯窩からの出血が続いたため、止血薬を抜歯窩に挿入することになった。</p> <p>使用できるのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a アスコルビン酸 b 酸化セルロース c トラネキサム酸 d ゼラチンスポンジ</p> <p>▶keyword: 局所止血薬</p>	<p>解答: b, d</p> <p>止血薬は、出血した箇所 directly 対応する局所止血薬と、注射薬などとして全身投与する全身止血薬がある。</p> <p>局所止血薬には、酸化セルロース、ゼラチンスポンジ、トロンビン、アドレナリンなどがあり、全身止血薬にはトラネキサム酸、アスコルビン酸、ビタミンKなどがある。</p> <p>a× アスコルビン酸は全身止血薬の血管強化薬である。</p> <p>b○ 酸化セルロースは局所止血薬として用いることができる。</p> <p>c× トラネキサム酸は全身止血薬の抗プラスミン薬である。</p> <p>d○ ゼラチンスポンジは局所止血薬として用いることができる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 182-183 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 122-124</p>

午前問題	解答・解説
<p>101 65歳の女性。乳がんの手術後、術後薬物療法として2クール目が開始された。</p> <p>2週間後の血液検査の結果でナディアを疑う所見はどれか、1つ選べ。</p> <p>a HbA1c 高値 b 血小板数高値 c 白血球数低値 d 血清アルブミン低値</p> <p>▶keyword: 薬物療法、寛解期、ナディア</p>	<p>解答: c</p> <p>抗悪性腫瘍薬(術後薬物療法)を受けている患者は、薬剤の副作用によって骨髄抑制を生じる。患者自身の薬剤に対する感受性、薬剤投与回数などにもよるが、おおむね治療開始から7~14日にかけて白血球数をはじめとする各種血球数が減少する。この時期を骨髄抑制期といい、血球数が最も少なくなることをナディア(Nadir)という。</p> <p>a× HbA1cは、糖尿病の検査項目であり糖尿病患者の場合には管理が必要であるが、ナディア期の所見とは関係ない。</p> <p>b× 血小板数は低値になる。</p> <p>c○</p> <p>d× 血清アルブミンは、肝硬変、低栄養、ネフローゼ症候群など腎臓、肝機能などの項目である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 317 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 56</p>
<p>102 矯正歯科治療用器具の写真(別冊No.29)を別に示す。</p> <p>器具と使用目的の組合せで正しいのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a ①—クラスプへの急角度の組曲 b ②—リングルアーチの主線の調整 c ③—丸線のアーチワイヤーへのトルクの付与 d ④—角線のアーチワイヤーへのループの付与</p> <p>▶keyword: 矯正歯科治療用器具</p>	<p>解答: a, b</p> <p>矯正装置で使用する比較的太いワイヤーには、リングルアーチの主線や補助弾線、床矯正装置のクラスプなどがある。マルチブラケット装置を構成するアーチワイヤーには、断面形態が円形の丸線と四角い角線があり、角線はさらに断面が正方形のスクエアワイヤーと長方形のレクタングュラーワイヤーに分類される。</p> <p>a○ ①はスリージョープライヤーである。比較的太いワイヤーに急角度の組曲を付与するときに用いる。</p> <p>b○ ②はYoung(ヤング)プライヤーである。比較的太いワイヤーの組曲や調整に用いる。</p> <p>c× ③はTweed(ツイード)アーチベンディングプライヤーである。角線のアーチワイヤーをねじるように組曲して、トルクを生じさせるのに用いる。</p> <p>d× ④はJarabak(ジャラバック)プライヤーである。細い丸線の組曲やループの付与に用いる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 154-155、162-163</p>
<p>103 歯科矯正治療における顔面写真の撮影の手順で正しいのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 咬頭嵌合位状態で撮影する。 b 左右の外耳孔にイヤードットを挿入する。 c カメラレンズの高さを口腔の高さに合わせる。 d Camper(カンベル)平面と床面を平行にする。</p> <p>▶keyword: 顔面写真</p>	<p>解答: a, b</p> <p>顔面写真撮影時に、患者の顔と耳が見えるように、頭髪をピンで留め、あるいは束ねる。左右の外耳孔に頭部固定用のイヤードットを挿入し、フランクフルト平面と床面を平行にして正視させる。カメラレンズの高さは目の高さに合わせ、咬頭嵌合位あるいは下顎安静位状態で正視、側視、斜位45°、微笑を指示し撮影する。</p> <p>a○</p> <p>b○</p> <p>c× カメラレンズの高さは目の高さに合わせる。</p> <p>d× フランクフルト平面と床面を平行にする。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 73</p>

午前問題	解答・解説
<p>104 5歳の女兒、乳歯歯部に多歯面にわたるう蝕があり、クラウンフォームを使用した乳歯冠修復を行うことになった。使用する器具と使用目的の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯内バサミ—切端隅角部の小孔付 b ホワイトポイント—研磨 c 光重合型コンポジットレジン—修復 d Gordon (ゴードン) のプライヤー—歯頸部の調整</p> <p>▶keyword: クラウンフォーム、乳歯冠修復</p>	<p>解答: b, c</p> <p>小児の乳歯歯における多歯面にわたるう蝕や外傷によって歯冠が破折した歯には、クラウンフォームを使用した歯冠修復が行われる。手順は、局所麻酔→ラバーダム防湿→象牙質う蝕の除去→支台歯形成→クラウンフォームの選択と調整→修復・光照射→クラウンフォームの除去→ラバーダム防湿除去→咬合調整→研磨である。</p> <p>a× クラウンフォーム選択後の歯頸部の調整には、金冠バサミを用いるのが適切である。さらに、クラウンフォームの切端隅角部の小孔を作る際には、エクスプローラーを用いる。</p> <p>b○ クラウンフォームを除去した後の歯頸部や切端の突出部位の修正、仕上げ研磨にはホワイトポイントを用いる。</p> <p>c○ クラウンフォームは、内部に光重合型コンポジットレジンを充填し、支台歯に適合させて光照射する。</p> <p>d× ゴードンのプライヤーは、金属製の既製乳歯冠を使用する際に、歯頸部の形態を屈曲調整するための矯正器具である。クラウンフォームには使用しない。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 212 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 119-120</p>
<p>105 10歳の女兒、注意欠如・多動症と診断されており、歯科治療中に突然口を閉じるなどの行動がみられたため、歯科治療時に開口器を使用することになった。開口器使用時の注意点はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 開口器は前歯部で固定する。 b 開口器使用中はこまめに吸引する。 c 咬合圧が強い場合、金属製の開口器を使用する。 d 開口器挿入後、介助者が開口器をしっかり保持する。</p> <p>▶keyword: 開口器使用時の注意点</p>	<p>解答: b, d</p> <p>開口器や開口保持器は、十分な視野を確保し、切削器具の操作を容易にしたり、舌や粘膜、歯肉などの損傷を防止し、安全で確実な歯科診療を行うために使用する。</p> <p>a× 開口器は歯の外傷を防ぐため、臼歯部で咬ませる。</p> <p>b○ 開口中は唾液を嚥下しにくいので、水や唾液を溜めないように、こまめに吸引する。</p> <p>c× 咬合圧が強いと、歯の破損や粘膜損傷の危険性があるため、金属製ではなくガーゼやビニールチューブを使用する。</p> <p>d○ 体動や舌による押し出しによって開口器が歯列から外れないように、術者または介助者がしっかり保持する。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 70-71</p>
<p>106 エックス線撮影時に使用する器具の写真(別冊 No. 30)を別に示す。この器具を使用して撮影できる部位はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 上顎右側 b 上顎左側 c 下顎右側 d 下顎左側</p> <p>▶keyword: 口内法エックス線撮影、撮影補助具</p>	<p>解答: a, d</p> <p>写真は撮影補助具である。咬合部とリングの接続部分の凸部が手前にある状態で使用する。</p> <p>a○ b× c× d○</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版 32 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 37</p>

午前問題	解答・解説
<p>107 87歳の男性、歯の痛みを訴えて来院した。中等度の慢性閉塞性肺疾患(COPD)があるが現在、落ち着いている状態である。その他全身的既往は認められない。この患者の処置を行うにあたり特に注意してモニタリングすべき項目はどれか。1つ選べ。</p> <p>a 血圧 b 体温 c 血酸素 d 経皮的動脈血酸素飽和度</p> <p>▶keyword: 慢性閉塞性肺疾患(COPD)、SpO₂</p>	<p>解答: d</p> <p>慢性閉塞性肺疾患(COPD)は慢性の咳や息切れなどの呼吸困難症状が現れる疾患である。症状が落ち着いていても安全のため経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)などを測りながら、処置にあたるのが望ましい。</p> <p>a× b× c× d○</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 328</p>

午前問題	解答・解説																																				
108 要介護高齢者の口腔アセスメントであるOHATで、「病的」に分類される項目はどれか。2つ選べ。 a 舌——白色斑 b 口唇——口角の発赤 c 義歯——二部位以上の義歯 d 唾液——乾燥	<p>解答: a, c</p> <p>OHAT (Oral Health Assessment Tool) は、自分で口腔内の問題を出しできないような要介護高齢者の口腔問題をみつけて対応するために Chalmers らによって開発された口腔アセスメントの一つである。口腔内の評価8項目(口唇、舌、歯肉・粘膜、唾液、残存歯、義歯、口腔清掃、歯痛)を「健全」「やや不良」「病的」の3段階で評価する。</p> <p>OHAT-J (日本語版)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>0=健全</th> <th>1=やや不良</th> <th>2=病的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口唇</td> <td>正常、潤滑、ピンク</td> <td>乾燥、ひび割れ、口角の発赤</td> <td>腫脹や腫痛、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍</td> </tr> <tr> <td>舌</td> <td>正常、潤滑、ピンク</td> <td>不整、亀裂、発赤、舌苔付着</td> <td>赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹</td> </tr> <tr> <td>歯肉・粘膜</td> <td>正常、潤滑、ピンク</td> <td>乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、義歯下の一部潰瘍</td> <td>腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛</td> </tr> <tr> <td>唾液</td> <td>潤滑、漿液性</td> <td>乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口周感若干あり</td> <td>赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口周感あり</td> </tr> <tr> <td>残存歯(有/無)</td> <td>歯・歯根のう蝕または破折なし</td> <td>3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗</td> <td>4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用なしで3本以下の残存歯</td> </tr> <tr> <td>義歯(有/無)</td> <td>正常、義歯・人工歯の破折なし、普通に装着できる状態</td> <td>一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能</td> <td>二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯紛失、義歯不適のため未装着、義歯装着剤が必要</td> </tr> <tr> <td>口腔清掃</td> <td>口腔清掃状態良好、食渣・歯石・プラークなし</td> <td>1-2部位に食渣・歯石・プラークあり、若干口臭あり</td> <td>多くの部位に食渣・歯石・プラークあり、強い口臭あり</td> </tr> <tr> <td>歯痛</td> <td>疼痛を示す、運動的・身体的な兆候なし</td> <td>疼痛を示す運動的な兆候あり：顔を引寄せさせる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる</td> <td>疼痛を示す身体的な兆候あり：熱、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下腫脹、運動的な兆候もあり</td> </tr> </tbody> </table> <p>(松尾浩一郎)</p> <p>a ○ b × 「やや不良」に該当する。 c ○ d × 「やや不良」に該当する。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 140-142</p>	項目	0=健全	1=やや不良	2=病的	口唇	正常、潤滑、ピンク	乾燥、ひび割れ、口角の発赤	腫脹や腫痛、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍	舌	正常、潤滑、ピンク	不整、亀裂、発赤、舌苔付着	赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹	歯肉・粘膜	正常、潤滑、ピンク	乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、義歯下の一部潰瘍	腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛	唾液	潤滑、漿液性	乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口周感若干あり	赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口周感あり	残存歯(有/無)	歯・歯根のう蝕または破折なし	3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗	4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用なしで3本以下の残存歯	義歯(有/無)	正常、義歯・人工歯の破折なし、普通に装着できる状態	一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能	二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯紛失、義歯不適のため未装着、義歯装着剤が必要	口腔清掃	口腔清掃状態良好、食渣・歯石・プラークなし	1-2部位に食渣・歯石・プラークあり、若干口臭あり	多くの部位に食渣・歯石・プラークあり、強い口臭あり	歯痛	疼痛を示す、運動的・身体的な兆候なし	疼痛を示す運動的な兆候あり：顔を引寄せさせる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる	疼痛を示す身体的な兆候あり：熱、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下腫脹、運動的な兆候もあり
項目	0=健全	1=やや不良	2=病的																																		
口唇	正常、潤滑、ピンク	乾燥、ひび割れ、口角の発赤	腫脹や腫痛、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍																																		
舌	正常、潤滑、ピンク	不整、亀裂、発赤、舌苔付着	赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹																																		
歯肉・粘膜	正常、潤滑、ピンク	乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、義歯下の一部潰瘍	腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛																																		
唾液	潤滑、漿液性	乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口周感若干あり	赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口周感あり																																		
残存歯(有/無)	歯・歯根のう蝕または破折なし	3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗	4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用なしで3本以下の残存歯																																		
義歯(有/無)	正常、義歯・人工歯の破折なし、普通に装着できる状態	一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能	二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯紛失、義歯不適のため未装着、義歯装着剤が必要																																		
口腔清掃	口腔清掃状態良好、食渣・歯石・プラークなし	1-2部位に食渣・歯石・プラークあり、若干口臭あり	多くの部位に食渣・歯石・プラークあり、強い口臭あり																																		
歯痛	疼痛を示す、運動的・身体的な兆候なし	疼痛を示す運動的な兆候あり：顔を引寄せさせる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる	疼痛を示す身体的な兆候あり：熱、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下腫脹、運動的な兆候もあり																																		
▶keyword: OHAT																																					

午前問題	解答・解説																										
109 嚥下造影検査(VF)と比較し、嚥下内視鏡検査(VE)でのみ観察できるのはどれか。2つ選べ。 a 唾液の調整 b 発声時の声帯の動き c 嚥下反射が起こるタイミング d 嚥下動作後の咽頭部の食物残留	<p>解答: a, b</p> <p>嚥下造影検査(VF)では、嚥下に関連する器官の動き、食塊の動きを評価する。また、嚥下運動が起こるタイミングや、嚥下反射の発起の遅延、食塊の咽頭内侵入、調整、嚥下動作後の口腔や咽頭、食道入口部における食塊の残留量などを観察する。嚥下内視鏡検査(VE)は、上咽頭では発音や唾液の嚥下を行わせ、軟口蓋の挙上、鼻咽腔閉鎖を観察する。中咽頭では器質的な問題、唾液や痰の残留を観察する。下咽頭では咽頭内に分泌液や唾液が垂れ込んでいないか、発声をさせ声帯の動きを確認する。食物や液体を用いて嚥下を行わせる際は、嚥下時の食物や液体の流れに対して、嚥下反射が遅れていないか、嚥下動作後に咽頭や食道入口部に食物が残留していないか、咽頭内への侵入や調整がないかを評価する。</p> <p>a ○ b ○ c × d ×</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 203-205</p>																										
▶keyword: 嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)																											
110 定期発達している生後8か月の乳児。この時期に獲得する運動機能と適切な離乳食の調理形態の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。 a 首がすわる——つぶしたかゆ、豆腐 b つかまり立ち——歯ぐきで噛める固さ c ひとりで座る——舌でつぶせる固さ d 寝返りができる——なめらかにすりつぶした状態	<p>解答: c</p> <p>成長に伴い、母乳または育児用ミルクだけでは不足するエネルギーや栄養素を補うために乳汁栄養から幼児食に移行する過程を離乳食といい、子どもの食飲や成長・発達の状況に応じて、段階を経て進める。</p> <p>離乳時の調理形態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>離乳初期 生後5-6か月頃</th> <th>離乳中期 生後7-8か月頃</th> <th>離乳後期 生後9-11か月頃</th> <th>離乳完了期 生後12-18か月頃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理形態</td> <td>なめらかにすりつぶした状態</td> <td>舌でつぶせる固さ</td> <td>歯ぐきでつぶせる固さ</td> <td>歯ぐきで噛める固さ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省: 授乳・離乳の支援ガイドより)</p> <p>運動機能の発達(粗大運動)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>首がすわる(定期)</td> <td>(3-4か月)</td> </tr> <tr> <td>寝返り</td> <td>(5-6か月)</td> </tr> <tr> <td>1人で座る</td> <td>(7-8か月)</td> </tr> <tr> <td>つかまり立ち</td> <td>(9-10か月)</td> </tr> <tr> <td>1人で歩く</td> <td>(1歳0-2か月)</td> </tr> <tr> <td>転ばないで走る</td> <td>(1歳4-6か月)</td> </tr> <tr> <td>片足立ち</td> <td>(2歳9か月-3歳)</td> </tr> <tr> <td>スキップ</td> <td>(4歳4-8か月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>a × 首がすわるのは生後3-4か月である。つぶしたかゆや豆腐は生後5-6か月頃が目安である。 b × つかまり立ちができるのは生後9-10か月頃である。歯ぐきで噛める固さは生後12-18か月頃が目安である。 c ○ 生後7-8か月頃になると運動機能として一人で座ることができるようになる。1日2回食で、舌でつぶせる固さのものを与える。 d × 寝返りができるのは生後5-6か月頃である。一般的にこの頃から離乳食を始める。なめらかにすりつぶした状態は生後5-6か月頃が目安である。</p> <p>文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 312, 317 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 14-15</p>		離乳初期 生後5-6か月頃	離乳中期 生後7-8か月頃	離乳後期 生後9-11か月頃	離乳完了期 生後12-18か月頃	調理形態	なめらかにすりつぶした状態	舌でつぶせる固さ	歯ぐきでつぶせる固さ	歯ぐきで噛める固さ	首がすわる(定期)	(3-4か月)	寝返り	(5-6か月)	1人で座る	(7-8か月)	つかまり立ち	(9-10か月)	1人で歩く	(1歳0-2か月)	転ばないで走る	(1歳4-6か月)	片足立ち	(2歳9か月-3歳)	スキップ	(4歳4-8か月)
	離乳初期 生後5-6か月頃	離乳中期 生後7-8か月頃	離乳後期 生後9-11か月頃	離乳完了期 生後12-18か月頃																							
調理形態	なめらかにすりつぶした状態	舌でつぶせる固さ	歯ぐきでつぶせる固さ	歯ぐきで噛める固さ																							
首がすわる(定期)	(3-4か月)																										
寝返り	(5-6か月)																										
1人で座る	(7-8か月)																										
つかまり立ち	(9-10か月)																										
1人で歩く	(1歳0-2か月)																										
転ばないで走る	(1歳4-6か月)																										
片足立ち	(2歳9か月-3歳)																										
スキップ	(4歳4-8か月)																										
▶keyword: 子どもの運動機能の発達、離乳食																											

人体と歯・口腔の構造と機能

111 消化器系の一部を模式図に示す。



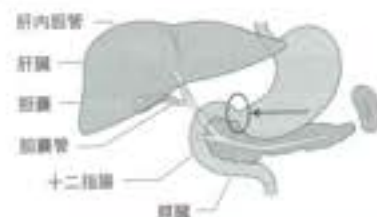
矢印の部位から分泌されるのはどれか、1つ選べ。

- a ガストリン
b セクレチン
c 胃抑制ペプチド
d コレシストキニン

▶keyword: 胃、幽門、ガストリン

【解答】: a

消化管ホルモンは消化酵素の分泌を調節し、消化管の運動をコントロールしている。設問中の矢印は胃の幽門部を示しており、その粘膜に存在するG細胞からガストリンが分泌される。主な消化管ホルモンとその作用を下表にまとめた。



ホルモン	分泌場所	作用	分泌を記こす刺激
ガストリン	胃の幽門部粘膜(G細胞)	胃酸の分泌促進	胃の伸張刺激、食物中のアミノ酸とポリペプチド
胃抑制ペプチド(GIP)	上部小腸粘膜	胃酸の分泌抑制	食物中のブドウ糖、脂肪
セクレチン	上部小腸粘膜	胃酸の分泌抑制、重炭酸イオン(HCO ₃ ⁻)に基く胆汁の分泌、胆汁の産生促進	食物中の脂肪
コレシストキニン	上部小腸粘膜	胃酸の分泌抑制、膵臓に基く胆汁の分泌、胆嚢の収縮	食物中のアミノ酸、脂肪酸

- a ○ 胃の幽門部の粘膜から分泌される。
b × 小腸粘膜から分泌される。
c × 小腸粘膜から分泌される。
d × 小腸粘膜から分泌される。

【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 97-105

112 舌咽神経で支配されるのはどれか、1つ選べ。

- a 顎下腺
b 耳下腺
c 舌下腺
d 前舌腺

▶keyword: 唾液腺、耳下腺、自律神経

【解答】: b

耳下腺は顔部皮下にある唾液腺で、前線から出た耳下腺管は頬筋を貫いて耳下腺乳頭に開口する。分泌に関わる副交感神経は舌咽神経から分かれて耳神経節を経由して分布し、漿液性の唾液を分泌する。

舌下腺は口腔底の舌下三角に存在し、細く短い小舌下腺管が舌下ヒダに、1本の太い大舌下腺管が舌下小丘に開口する。副交感神経は顔面神経の枝の鼓索神経と顎下神経節を経由して分布し混合性の唾液を分泌する。

顎下腺は顎下三角の皮下にあり、顎下腺管は、舌下小丘に開口する。副交感神経は舌下腺と同じ経路で分布し、混合性の唾液を分泌する。

- a × 顎下腺は皮下にある大唾液腺で顔面神経が支配する。
b ○ 耳下腺は皮下にある大唾液腺で舌咽神経が支配する。
c × 舌下腺は粘膜下にある大唾液腺で顔面神経が支配する。
d × 前舌腺は舌尖に存在する小唾液腺でBlandin-Nuhn (ブランディン・ヌーン) 腺ともよばれる。

【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 62-63

113 ある歯の咬合面観の写真(別冊No.1)を別に示す。

この歯(FDI方式)はどれか、1つ選べ。

- a 16
b 26
c 36
d 46

▶keyword: 大白歯、歯式、歯の記号、FDI方式(2数字並記法)

【解答】: a

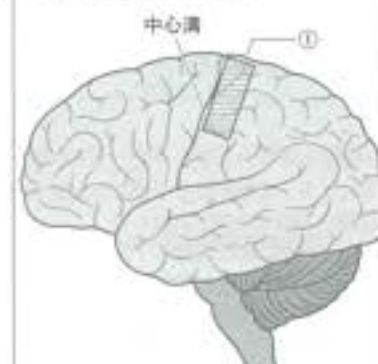
写真の歯は頬舌径が近遠心径よりもやや長い平行四辺形であり、咬合面は近心頬側隅角は遠心に比べ鋭角となり彎曲度が明瞭である。咬頭の面積は、近心舌側咬頭が最も広く、遠心舌側咬頭が最も狭いため、上顎第一大臼歯である。FDI方式(2数字並記法)では歯種と歯の位置を2桁の数字で表す方法である。1の位の数字は歯種、10の位の数字は歯の位置を表す。

大白歯は上顎では4個、下顎では4~5個の咬頭があり、歯根は上顎では3根、下顎では2根を基本とする。

- a ○ 16はFDI方式(2数字並記法)で上顎右側第一大臼歯を表す。
b × 26はFDI方式(2数字並記法)で上顎左側第一大臼歯を表す。
c × 36はFDI方式(2数字並記法)で下顎左側第一大臼歯を表す。
d × 46はFDI方式(2数字並記法)で下顎右側第一大臼歯を表す。

【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 76-77, 99-103

114 大脳皮質を模式図に示す。



①の領域で情報が処理される感覚の受容器はどれか、1つ選べ。

- a 嗅細胞
b 視細胞
c 有毛細胞
d Merkel (メルケル) 細胞

▶keyword: 大脳皮質、体性感覚、一次感覚野、機能局在

【解答】: d

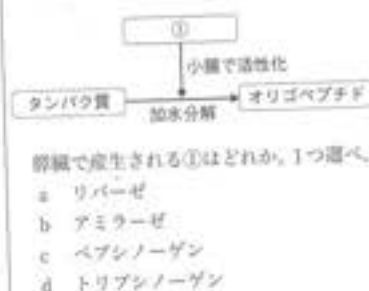
①の領域は一次体性感覚野(大脳皮質の頭頂葉)に位置し、体性感覚(触覚・圧覚・温度感覚・痛覚・固有受容感覚)を司る。一次体性感覚野は、皮膚や深部組織からの感覚情報を処理する重要な領域である。

- a × 嗅細胞は嗅覚受容器として鼻腔の嗅上皮に存在し、揮発性の化学物質の情報を嗅球に伝える。嗅覚情報は嗅覚野(側頭葉)で処理される。
b × 視細胞は網膜に存在し、光を受容して視覚情報を脳に送る。視覚は大脳皮質の後頭葉にある一次視覚野で処理される。
c × 有毛細胞は内耳の蝸牛(聴覚)と前庭(平衡感覚)に存在する受容器で、それぞれ音と体にかかる直線・回転加速度を感知する。聴覚情報は側頭葉の一次聴覚野で処理される。
d ○ Merkel (メルケル) 細胞は上皮の基底層に存在する。触覚、とくに持続的な圧刺激を受容し、この細胞とシナプス接続する神経終末の興奮を経て、大脳皮質の頭頂葉にある一次体性感覚野で処理される。

【文庫】: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 166-177, 189-190
ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 26, 55

午後問題

- 115 消化管におけるタンパク質の分解過程を模式図に示す。



- a リパーゼ
b アミラーゼ
c ペプシノーゲン
d トリプシノーゲン

▶keyword: 消化器系、消化酵素

解答: d

摂取した食物に含まれる炭水化物、タンパク質、脂質は消化酵素によって分解される。タンパク質を分解する消化酵素にはペプシン、トリプシン、キモトリプシン、エラスターゼ、カルボキシペプチダーゼなどがある。胃の主細胞からは前駆体としてペプシノーゲンが分泌され、酸によって活性型のペプシンとなる。膵臓の外分泌腺で産生される膵液中に含まれるタンパク質分解酵素は、まず膵臓でトリプシノーゲン、キモトリプシノーゲン、プロエラスターゼ、プロカルボキシペプチダーゼという不活性型として産生され、小腸管腔内で活性化されてそれぞれトリプシン、キモトリプシン、エラスターゼ、カルボキシペプチダーゼとなる。

- a × 脂肪を分解する消化酵素で、脂肪を脂肪酸とグリセロールに分解する。
b × 炭水化物の分解酵素で、デンプンをオリゴ糖と麦芽糖に分解する。
c × 胃で産生されるタンパク質分解酵素の前駆体で、活性化するとペプシンとなり、タンパク質をオリゴペプチドに分解する。
d ○ 膵臓で産生されるタンパク質分解酵素の前駆体で、活性化するとトリプシンとなり、タンパク質をアミノ酸、ジペプチド、トリペプチド、オリゴペプチドに分解する。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 98-101
ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 27-29

- 116 摂食嚥下に関与する舌の開口時および嚥下時(咽頭期)における収縮・弛緩の状態を表に示す。

	開口	嚥下
咬筋	弛緩	①
第二舌骨筋	収縮	収縮
甲状舌骨筋	②	収縮

①と②の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ① ②
a 弛緩 弛緩
b 弛緩 収縮
c 収縮 弛緩
d 収縮 収縮

▶keyword: 嚥下反射、舌骨上筋、舌骨下筋

解答: d

開口運動は、顎二腹筋などの舌骨上筋が下顎を引き下げることで起こるが、そのとき甲状舌骨筋などの舌骨下筋が収縮することにより、舌骨が引き下げられ固定されている必要がある。また同時に咬筋などの開口筋の活動は抑制されている。

一方、咽頭期における嚥下反射では、咬筋などの開口筋は収縮し下顎を固定している。その状態で、顎二腹筋などの舌骨上筋と舌骨下筋である甲状舌骨筋が収縮すると、舌骨および喉頭が前上方に挙上し、食物の気道への流入を防ぐとともに食塊の食道への移送を助ける。

つまり、顎二腹筋と甲状舌骨筋はともに開口時と嚥下時の両方で収縮しているが、そのとき咬筋などの開口筋が弛緩していれば下顎が引き下げられ開口が起こり、開口筋が収縮していれば舌骨と喉頭が引き上げられ嚥下が起こる。

- a ×
b ×
c ×
d ○

文庫: 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 29-33、218、233-239

午後問題

解答・解説

- 117 多価不飽和脂肪酸の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 常温では液体で存在する。
b 必須脂肪酸は含まれない。
c 分子内に二重結合をもつ。
d パルミチン酸を代表とする。

▶keyword: 脂質、多価不飽和脂肪酸

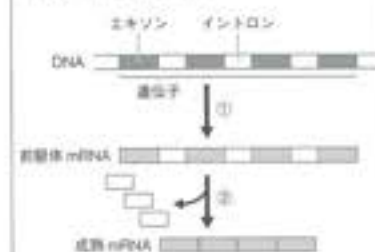
解答: a, c

脂肪酸には炭化水素部分に二重結合がない飽和脂肪酸と二重結合がある不飽和脂肪酸がある。また、二重結合の数が1つのもを一価不飽和脂肪酸、2つ以上のものを多価不飽和脂肪酸という。二重結合が多い不飽和脂肪酸ほど融点は低くなる性質があり、飽和脂肪酸は常温で固体である。

- a ○ 不飽和脂肪酸は融点が低いため、常温では液体で存在する。
b × 必須脂肪酸は体内で合成できない多価不飽和脂肪酸である。リノール酸、 α -リノレン酸、アラキドン酸があり、食事で摂取する必要がある。
c ○
d × パルミチン酸は炭素数16の飽和脂肪酸である。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 16-19
歯科衛生学シリーズ 栄養学 18-21

- 118 遺伝情報がDNAからmRNAに伝達される様子を模式図に示す。



①と②の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ① ②
a 複製 翻訳
b 複製 スプライシング
c 転写 翻訳
d 転写 スプライシング

▶keyword: 転写、スプライシング

解答: d

図は核内で起こる mRNA の合成過程を表している。まずは、DNA を鋳型に mRNA の前駆体 (hnRNA) が合成され、この過程を「転写 (図の①)」という。この hnRNA には遺伝情報を含む領域であるエクソンと遺伝情報を含まない領域であるイントロンが含まれる。

次に、hnRNA 内のイントロンを除去する過程である「スプライシング (図の②)」が行われ、成熟 mRNA となる。その後、成熟 mRNA は核内から細胞質基質に移動し、リボソームと結合する。リボソーム上で mRNA の遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を「翻訳」という。

また、細胞分裂時に核内で DNA から同一の DNA が合成される過程を「複製」という。

- a ×
b ×
c ×
d ○

文庫: 歯科衛生学シリーズ 生化学・口腔生化学 46-47

疾病の成り立ち及び回復過程の促進

119 血栓の転帰でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 化生
b 増生
c 器質化
d 被包化

▶keyword: 器質化、被包化、化生

解説: c

血栓とは、生体内の心臓や血管内で形成された凝血塊で、血管内皮細胞の傷害、血流のうっ滞や血液凝固能の亢進により生じる。血栓は次のような転帰をたどる。①血栓が小さい場合、線維系の活性化により溶解して消失。②血栓の一部もしくは全部が剥離（遊離血栓→塞栓）。③血栓が成長し、血管内の伸長や血管腔の閉塞。④血管壁に付着した部分から肉芽組織が侵入し、血栓の内芽組織への置換（血栓の器質化）。⑤血管腔閉塞の場合、器質化血栓内に毛細血管網の形成、本来の血管腔との血流再開（血栓の再疎通）。器質化血栓はやがて線維化して収縮し、血管壁に取り込まれて内臓の局在性の線維性肥厚となって残る。陳旧化した血栓にはときに石灰沈着や骨化を生じる。

- a × 化生とは、正常組織が、通常はその部位には存在しない種類の正常組織に置き換わる過程を指し、胃粘膜の腸上皮化生や、子宮頸部（円柱上皮）や喉頭癌などによる唾液腺の導管の扁平上皮化生などがみられる。
b × 増生とは、組織や臓器を構成する細胞が数を増やすことによって、組織や臓器の容積が増加する場合をいう。
c ○ 血栓が形成されると、溶解、剥離や肉芽組織に置き換わっていく器質化が生じる。
d × 被包化とは、組織内で処理できないガラス小片などの異物を肉芽組織が取り囲み、次第に線維化が生じ、異物が線維組織の膜に包まれたような状態で組織内に隔離されることを指す。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 17-18、36-41、48
ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 123-126、128

120 真の嚢胞と偽嚢胞の相違点はどれか。1つ選べ。

- a 発生部位
b 内容物の組成
c 炎症細胞の存在
d 嚢袋上皮の有無

▶keyword: 真の嚢胞、偽嚢胞、嚢胞壁、嚢袋上皮

解説: d

組織内に形成された病的空洞を嚢胞といい、内容物を含む空間である嚢胞腔と、それを取り囲む嚢胞壁からなる。通常、嚢胞壁の内側は上皮で覆われており、これを嚢袋上皮という。嚢袋上皮は嚢胞の成り立ちにより構成が異なる。嚢袋上皮をもたないものを偽嚢胞とよぶ。

- a × 口腔領域において、軟組織では組織発生時の遺残上皮、顎骨内では歯原性上皮由来する嚢胞が生じる。
b × 嚢胞腔内は、組織液由来の液性成分、細胞の代謝産物や細胞そのものを含む固形物などで満たされている。
c × 嚢胞の成り立ちから、炎症に起因する炎症性嚢胞（歯根嚢胞など）と、組織発生過程で生じる発育性嚢胞（含歯性嚢胞など）に大別される。
d ○ 真の嚢胞は嚢胞腔を取り囲む嚢胞壁の内側に上皮組織が存在する。この嚢袋上皮を欠くものが偽嚢胞であり、導管損傷により組織内に唾液が貯留した状態である粘液貯留嚢胞などが偽嚢胞に該当する。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 133

121

口腔外科手術前の患者の鼻腔から検出された細菌を純培養した後、グラム染色と薬剤感受性試験を実施した。それぞれの結果の写真（別冊 No. 2A、B）を別に示す。

この症例に対し医療従事者がとるべき対策はどれか。2つ選べ。

- a 標準予防策
b 空気感染予防策
c 接触感染予防策
d 経口感染予防策

▶keyword: ディスク拡散法、グラム染色、MRSA、院内感染、標準予防策、接触感染

解説: a、c

鼻腔粘膜に常在し、グラム染色陽性でブドウの房状配列を示し（写真 A）、寒天培地では黄色の集落を形成して、βラクタム系抗菌薬のペニシリン G およびメチシリンに耐性を示した（阻止円非形成、写真 B の①②）検査結果を総合すると、最も可能性が高いのはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*: MRSA）である。MRSA は院内感染の原因の9割を占める。保菌者およびその周囲環境との接触が主たる感染経路であり、標準予防策に加え、感染経路別予防策として接触感染を防ぐ対策に注力すべきである。

- a ○ 標準予防策とは、すべての患者において、血液、（汗を除く）分泌物、排泄物、膿、傷のある皮膚・粘膜とそれらが付着した器材には感染性があるとみなし対応することで、患者および医療従事者双方の感染リスクを減らすという概念である。特に手衛生、個人防護具の適正使用、咳エチケットの励行が重要である。
b × 空気感染（飛沫核感染）が感染経路の病原体は結核菌、麻疹ウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルスの3つである。この場合、医療従事者は N95 マスクを着用して陰圧個室（陰圧管理室）にて患者対応する。患者にはサージカルマスクを着用させ、飛沫核の飛散を最小限にする。
c ○ MRSA を含む黄色ブドウ球菌の主な感染経路は保菌者との接触である。患者との直接接触のほか、患者に使用した物品や環境表面などとの間接接触によっても成立する。器具などの使いまわしを避け、手衛生は流水と石鹸による手洗いと速乾性手指消毒薬を適切に併用し、個人防護具も適切に使い患者に対応する。
d × MRSA の感染経路は経口ではなく接触であるため該当しない。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版 38、43、45、47、109

122

血液寒天培地で培養した化膿レンサ球菌のコロニーの写真（別冊 No. 3）を別に示す。

本菌が産生しコロニー周囲の培地の色調を変えた物質はどれか。1つ選べ。

- a 発赤毒素
b Mタンパク
c エンテロトキシン
d ストレプトリジン

▶keyword: 化膿レンサ球菌、β溶血、ストレプトリジン

解説: d

溶血反応を調べるための血液寒天培地中には、赤血球がその細胞構造を保った状態で含まれている。化膿レンサ球菌コロニーの周囲の培地が赤色から透明に色調変化しており、本菌が産生・分泌する溶血毒素によって赤血球が破壊され完全溶血（β溶血）が起きていることが見て取れる。本菌の産生する溶血毒素はストレプトリジンである。

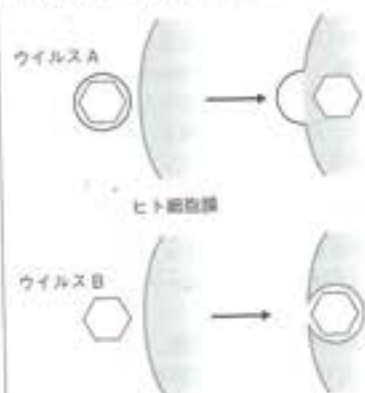
- a × 発赤毒素（Streptococcal pyrogenic exotoxin: Spe）は化膿レンサ球菌が産生し全身皮膚の発赤や発熱（猩紅熱）を起こす毒素であり、溶血性はない。
b × Mタンパクは化膿レンサ球菌の菌体表層に存在する線毛のタンパク質で、ヒト細胞への付着・侵入や食細胞による貪食回避に関与し、溶血性とは関連しない。
c × エンテロトキシンは黄色ブドウ球菌が産生する耐熱性の毒素で食中毒を起こす。
d ○ 化膿レンサ球菌が産生する溶血毒素ストレプトリジンには SLS と SLO の2種類があり、前者は酸素抵抗性（Oxygen Stable）、後者は酸素感受性（Oxygen Labile）であるが、SLO は抗原性が強いので本菌による感染を確認するための抗ストレプトリジン O 抗体（ASLO または ASO）測定検査に利用される。

文庫: 歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版 109-112

午後問題

解答・解説

- 123 種類が異なるウイルスAおよびBの宿主細胞内への感染様式を模式図に示す。



ウイルスBと同じ様式で感染するのはどれか。1つ選べ。

- a B型肝炎ウイルス
b ヒト免疫不全ウイルス
c ヒトパピローマウイルス
d 水痘・帯状疱疹ウイルス

▶keyword: エンベロープ、カプシド、宿主感染、脂質二重膜

解答: c

Aはエンベロープをもつウイルス、Bはエンベロープをもたないウイルスである。Aはエンベロープとヒト細胞膜との膜融合によりカプシドのみが細胞内へ入り込むのに対し、Bは感染する細胞のエンドサイトーシス（食作用）により細胞内へ侵入する。エンベロープはもともと宿主細胞膜に由来する脂質膜であるためアルコール類に溶解する。このため、エンベロープをもつウイルスは消毒用アルコールが有効で不活化されて感染性を失う。

- a × B型肝炎ウイルス（HBV）はエンベロープをもつDNAウイルスで、急性肝炎および慢性肝炎から肝硬変、肝がんを起こす。
b × ヒト免疫不全ウイルス（HIV）はエンベロープをもつRNAウイルスで、ヘルパーT細胞に感染し後天性免疫不全症候群（AIDS）を起こす。
c ○ ヒトパピローマウイルス（HPV）はDNAとカプシドのみから成るウイルスで、皮膚や粘膜に乳頭腫（いぼ）を形成するほか、子宮頸がんや中咽頭がんも起こす。このほかにエンベロープをもたないウイルスの例として、上気道炎を起こすアデノウイルス、手足口病やヘルパンギーナを起こすコクサッキーウイルスなどがある。
d × 水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）はエンベロープをもつDNAウイルスで、初感染で水痘（みずぼうそう）、回復発症では帯状疱疹を起こす。感染力が非常に強く、飛沫核感染（空気感染）する。

文献: 歯科衛生学シリーズ 微生物学 第2版 24-25, 132, 149

- 124 薬物による副作用の一部を表に示す。

	①	②	③	④
易感性・感染症誘発	○	○	○	
歯肉増殖症				○
口腔粘膜炎		○		

①はどれか。1つ選べ。ただし、①～④はa～dのいずれかに該当する。

- a シスプラチン
b ニフェジピン
c シクロスポリン
d プレドニゾロン

▶keyword: 副作用、有害作用

解答: c

易感性や感染症誘発は、免疫抑制薬やステロイド性抗炎症薬の免疫抑制作用、抗悪性腫瘍薬が起す骨髄抑制が原因となることがある。歯肉増殖症は、フェニトイン（抗てんかん薬）、シクロスポリン（免疫抑制薬）、カルシウム拮抗薬などが原因薬物として知られている。また、がん薬物療法の際に生じる口腔粘膜障害のことを口腔粘膜炎とよび、抗悪性腫瘍薬によって引き起こされる。

- a × シスプラチンは②の抗悪性腫瘍薬である。骨髄抑制による易感性・感染症の誘発、さらに口腔粘膜炎を起こすことがある。
b × ニフェジピンは④のカルシウム拮抗薬であり、歯肉増殖症を起こす代表的な薬物である。
c ○ シクロスポリンは①の免疫抑制薬であり、免疫抑制作用によって易感性・感染症を誘発することがある。また、歯肉増殖症を起こす代表的な薬物である。
d × プレドニゾロンは③のステロイド性抗炎症薬である。免疫抑制作用によって易感性・感染症を誘発することがある。

文献: 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 42-45

午後問題

解答・解説

- 125 細菌のタンパク質合成を阻害するのはどれか。2つ選べ。

- a β-ラクタム系抗菌薬
b マクロライド系抗菌薬
c ニューキノロン系抗菌薬
d テトラサイクリン系抗菌薬

▶keyword: 抗菌薬、選択毒性、作用点・作用機序

解答: b, d

抗菌薬は病原細菌の殺滅や増殖抑制のために用いられる薬物である。宿主細胞にはなく、細菌のみ存在するものを標的にすることで選択毒性を発揮する。細菌のDNA複製に働く酵素を標的にしてDNA合成を阻害する薬物にはニューキノロン系抗菌薬がある。細胞壁合成に働く酵素を抑制して細胞壁合成を阻害する薬物には、β-ラクタム系抗菌薬（ペニシリン系、セフェム系）がある。細菌リボソームにおけるタンパク質合成を抑制する薬物には、マクロライド系、テトラサイクリン系、アミノグリコシド系抗菌薬、クロラムフェニコールがある。

- a × β-ラクタム系は細胞壁合成を阻害する。
b ○ マクロライド系は細菌リボソームにおけるタンパク質合成を抑制する。
c × ニューキノロン系はDNA合成を阻害する。
d ○ テトラサイクリン系は細菌リボソームにおけるタンパク質合成を抑制する。

文献: 歯科衛生学シリーズ 薬理学 第2版 175-182

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 126 歯磨剤の薬用成分と効果との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a トラネキサム酸——歯肉出血抑制
b ピロリン酸ナトリウム——ブラーク分解
c 塩化セチルピリジニウム——歯質再石灰化
d モノフルオロリン酸ナトリウム——口臭減弱

▶keyword: 歯磨剤、薬用成分

解答: a

歯磨剤には薬用成分が配合される医薬部外品と、基本成分だけの化粧品がある。配合される薬用成分ごとに種々の効果が期待できる。

- a ○ トラネキサム酸は抗プラスミン作用をもち、毛細血管からの出血を抑えるため、歯周病などによる歯肉出血の抑制を目的に配合されている。
b × ピロリン酸ナトリウムは歯石沈着防止を目的とする成分で、ブラーク分解作用はない。
c × 塩化セチルピリジニウムは殺菌作用をもつ陽イオン性界面活性剤で、う蝕と歯周病予防を目的とするが歯質再石灰化作用はない。
d × モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物の一つで、主に再石灰化促進および歯質の耐酸性向上によるう蝕予防を目的とする成分で、口臭減弱作用はない。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 138-139

- 127 体重18kgの女児。週1回法によるフッ化物洗口を行うことになった。

フッ化物洗口液を調剤した際に急性中毒を引き起こす溶液の最小量はどれか。1つ選べ。ただし、急性中毒発現量は2mgF/体重kgとする。

- a 2mL
b 4mL
c 30mL
d 40mL

▶keyword: フッ化物による急性中毒、フッ化物洗口

解答: d

体重18kgの女児の急性中毒量は $2 \times 18 = 36 \text{ mgF}$ となる。週1回法のフッ化物洗口液のフッ化物イオン濃度は900ppmである。900ppmとは、1Lの水の中に900mgのフッ化物が含まれていることを意味する。1L=1,000mLであるため、1mLには $900/1000 = 0.9 \text{ mg}$ のフッ化物が含まれることになる。

- a ×
b ×
c ×
d ○ 急性中毒量のフッ化物36mgとなる溶液の量を求めると、 $36/0.9 = 40 \text{ mL}$ となる。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 164-165

午後問題

解答・解説

128

35歳の女性。口臭を指摘され、不安を感じて来院した。家族は朝の起床直後に口臭はするが、その後は感じないという。患者の全身健康状態は良好で、口腔診査の結果、治療を要する歯科疾患は認められず、唾液分泌量は正常範囲、舌苔の付着を軽度認める。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 病的口臭
b 外因性口臭
c 心因性口臭
d 生理的口臭

▶keyword: 口臭、病的口臭、生理的口臭

▶解答: d

患者は治療を要する疾患はなく、唾液分泌量も正常で、舌苔の付着も軽度であることから、病的原因の口臭は考えにくい。朝の起床時に口臭を感じるが、その後消失するのは、睡眠中の唾液分泌減少による生理的口臭の特徴と合致している。

- a × 治療を要する疾患が認められないため、病的口臭は考えにくい。
b × 食事や喫煙により一時的に発生する口臭である。問題文から食習慣に関する情報は得られないため、外因性口臭は選択できない。
c × 口臭に対する強い不安や心配から、実際には口臭がない、あるいは軽微な口臭であるにも関わらず、口臭を感じたり、気にしたりする状態である。口臭を指摘されたことが不安の要因となっているが、客観的な所見からは、心因性口臭は選択できない。
d ○ 健康な人でも、睡眠中や空腹時など、唾液分泌が減少したり、口腔内の細菌が増殖したりする。そこで起床時口臭と判断でき、これは生理的口臭である。問題文の症状と最も合致する。

▶文獻: 歯科衛生学シリーズ 保健生薬学 202
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 50

129

学校保健の領域構造を図に示す。



①を主に担当するのはどれか。2つ選べ。

- a 学校医
b 栄養教諭
c 学校歯科医
d 学校薬剤師

▶keyword: 学校歯科医、学校医

▶解答: a, c

学校保健は保健教育、保健管理、組織活動の3領域からなる。保健管理は健康診断実施と事後措置、健康相談、学校感染症の予防などの対人管理と対物管理からなる。このうち対人管理は、①の心身の管理と生活の管理からなる。

- a ○ 学校医は健康相談、保健指導、健康診断、救急処置などの心身の管理に従事する。
b × 栄養教諭は栄養に関する専門性と教育に関する資質とを併せもつ教育職員である。
c ○ 学校歯科医は健康相談、保健指導、歯科の健康診断・予防処置などの心身の管理に従事する。
d × 学校薬剤師は対物管理の学校環境衛生に関する検査に従事する。

▶文獻: 歯科衛生学シリーズ 保健生薬学 267-278
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 153-154

午後問題

解答・解説

130

ある正規分布するデータにおいて、数値が一致する組合せはどれか。1つ選べ。

- a 最大値——最頻値
b 平均値——中央値
c 標準偏差——標準誤差
d 第1四分位数——第3四分位数

▶keyword: 正規分布

▶解答: b

正規分布は、平均値を中心に左右対称な釣鐘型の分布である。この対称性により、平均値・中央値・最頻値はすべて一致する。また、データの多くが平均値の周辺に分布し、外れ値が少なくなる性質がある。

- a × 最頻値は、もっとも出現頻度の高い値。最大値は「一番大きい値」のことで、正規分布では一致することはない。すべてのデータが同じ値のとき（正規分布ではない）のみ、最大値と最頻値は一致する。
b ○ 正規分布の左右対称性により、平均値と中央値、さらに、最頻値も一致する。
c × 標準偏差はデータのばらつきを表す指標。標準誤差は平均値のばらつき（標本の誤差）を表す指標であり、計算方法も意味も異なる。
d × 第1四分位数と第3四分位数は、それぞれ下位25%、上位75%の位置を示す値であり、正規分布において一致することはない。

▶文獻: 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 90-91

131

A市の2025年現在の歯科保健状況を表に示す。

① 過去1年間に歯科検診を受診した者	90%
② 40歳以上で歯周炎を有する者	50%
③ 50歳以上で咀嚼良好者	85%
④ 80歳以上で20歳以上自分の歯がある者	60%

すでに健康日本21（第三次）の歯・口腔の健康の目標値に到達しているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶keyword: 健康日本21（第三次）、歯周炎、咀嚼良好者、歯科検診

▶解答: c

健康日本21（第三次）は「誰一人取り残さない健康づくりの展開」と「より実効性をもつ取組の推進」を通じて、国民の健康の増進を2024年から2035年まで推進する国民健康づくり運動である。健康日本21（第三次）では国民の健康の増進の具体的な目標を設定している。歯・口腔の健康についての目標は、歯周病予防、よく噛んで食べることができるとの増加及び歯科検診の受診者の増加という3つが設定されている。

- a × 歯科検診の受診者の増加という目標において、過去1年間に歯科検診を受診した者を95%にする目標値が設定されている。到達するには95%以上となる必要がある。
b × 歯周病を有する者の減少という目標において、40歳以上で歯周炎を有する者を40%にする目標値が設定されている。到達するには40%以下となる必要がある。
c ○ よく噛んで食べることができる者の増加という目標において、50歳以上における咀嚼良好者の割合を80%にする目標値が設定されている。A市の85%はすでに到達している。
d × 健康日本21（第三次）では、「80歳以上で20歳以上自分の歯がある者」の目標値は設定されていない。

▶文獻: 歯科衛生学シリーズ 保健生薬学 244-246

132

学校歯科保健における保健教育を規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 学校教育法
b 教育基本法
c 健康増進法
d 学校保健安全法

▶keyword: 学校歯科保健、保健教育、学校教育法

▶解答: a

学校保健の領域のうち、保健教育は学校教育法で、保健管理は学校保健安全法が規定している。

- a ○
b ×
c ×
d ×

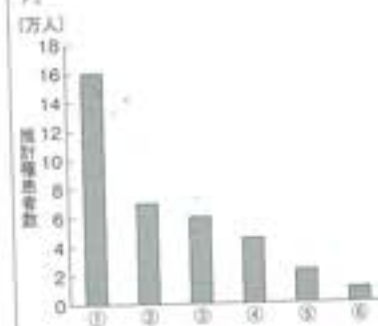
▶文獻: 歯科衛生学シリーズ 保健生薬学 265

午後問題

解答・解説

133

WHOの世界の6地域（南北アメリカ地域、ヨーロッパ地域、東地中海地域、南東アジア地域、西太平洋地域、アフリカ地域）における口腔がんの推計罹患患者数を図に示す。



①はどれか、1つ選べ。

- a アフリカ地域
b 西太平洋地域
c 南東アジア地域
d ヨーロッパ地域

▶keyword: 世界の歯科保健、口腔がん、WHO

解答: c

口腔がんの主な原因は、喫煙、飲酒、噛みタバコの使用とされており、罹患状況には地域差、性差がある。WHOでは、2022年にう蝕、歯周病、無菌顎、口腔がん等の世界の口腔保健状況について報告している。

- a × アフリカ地域の口腔がんの罹患患者数は最も高く①である。
b × 日本を含む西太平洋地域は④である。
c ○ 南東アジア地域は噛みタバコの使用者が最も多く、口腔がんの罹患患者は最も高い。
d × ヨーロッパ地域は②である。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 335-337
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 159

134

2023年の我が国の人口動態統計で、前年と比較して増加しているのはどれか、2つ選べ。

- a 出生数
b 死亡数
c 自然減少数
d 周産期死亡数

▶keyword: 人口動態統計

解答: b, c

人口動態統計は一定期間（一般的には1年間）における人口の動きをみるものであり、出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの事象が把握できる。

- a × 出生数は2022年が770,759人、2023年が727,277人で減少している。
b ○ 死亡数は2022年が1,569,050人、2023年が1,575,936人で増加している。
c ○ 人口の自然増減数は出生数から死亡数を差し引いた数で、近年はマイナス（減少）となっており、減少傾向が続いている。自然減少数は2022年が798,291人、2023年が848,659人であった。
d × 周産期死亡は妊娠22週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡を合わせたもので、2022年が2,527人、2023年が2,403人であった。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 25-31
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 18-25
国民衛生の動向 2024/2025 51

午後問題

解答・解説

135

不快指数、感覚温度および暑さ指数の要素すべてに必要なのはどれか、2つ選べ。

- a 気温
b 気湿
c 気流
d 放射熱

▶keyword: 不快指数、感覚温度、暑さ指数

解答: a, b

不快指数は気温と気湿（乾球温度と湿球温度）を組み合わせた指標で、夏の蒸し暑さを表す指標や、冷房効果の評価に用いられる。感覚温度は気温、気湿、気流の組み合わせで算出される指標で、日本人の快適範囲は、夏季で20~30℃、冬季で18~20℃とされている。暑さ指数は、人体の熱収支に与える影響の大きい気湿、放射熱、気温の3つを取り入れた指標で、熱中症予防を目的とする指標である。

- a ○
b ○
c ×
d ×

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 40-41
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 31-33
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 65-66

136

疫学研究の流れを図に示す。



研究終了後に計算するのはどれか、1つ選べ。

- a 特異度
b 有病率
c 相対危険
d カットオフ値

▶keyword: コホート研究、相対危険

解答: c

図はコホート研究の流れを示す。コホート研究は、特定の曝露（例：喫煙の有無）を受けた群と、そうでない群とを追跡して、一定期間後に疾病の発生率を比較する観察研究である。

- a × 特異度はスクリーニング検査の正確性を示す指標の1つで、病気がない人を正しく陰性と判断できる割合を示す。
b × 有病率は、ある一時点における疾病の患者数の割合を示す。横断研究で用いられる。
c ○ コホート研究終了後には、曝露群と非曝露群での発症リスクを比較し、相対危険を算出する。相対危険は「曝露が疾病発生に与える影響の強さ」を表す指標である。
d × スクリーニング検査において陽性・陰性を分ける基準値をいう。特異度と感度との関係で最適化される。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 13-14
歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 28-29
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 52-53

137

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）における二類感染症はどれか、1つ選べ。

- a 結核
b 梅毒
c コレラ
d マクリア

▶keyword: 感染症法、結核

解答: a

感染力と罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性により、既知の感染症は一類感染症から五類感染症まで分類されている。

- a ○ 結核は感染症法における二類感染症である。
b × 梅毒は感染症法における五類感染症である。
c × コレラは感染症法における三類感染症である。
d × マクリアは感染症法における四類感染症である。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 69-78
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 71-78
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 72-76

午後問題

解答・解説

- 138 小学校における主な疾病の罹患率を表に示す。

	①	②	③	④
令和元年度	34.6	6.3	11.8	44.8
令和2年度	37.5	6.1	11.0	40.2
令和3年度	36.9	6.8	11.9	39.0
令和4年度	37.9	6.6	11.4	37.0

単位%

「裸眼視力10未満の者」はどれか、1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶keyword: 学校保健, 疾病の罹患率

解答: a

毎年度実施される定期健康診断結果の抽出調査として、学校保健統計調査が実施されている。近年の小学校における推移をみると、「むし歯（う歯）」の状況が大幅に改善しているが、「裸眼視力10未満の者」の割合は上昇している。

- a ○ 令和4年度は幼稚園、小学校、中学校、高校のすべての段階で最も高くなっている。
b × 「耳疾患」である。
c × 「鼻・副鼻腔疾患」である。
d × 「むし歯（う歯）」である。

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 271-272
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 154-155
国民衛生の動向 2024/2025 348

- 139 精神保健福祉に関わる行政機関を図に示す。



①について正しいのはどれか、2つ選べ。

- a 業務には訪問指導がある。
b 社会福祉士の配置が必須である。
c 精神保健福祉法に規定されている。
d 設置主体は都道府県と指定都市である。

▶keyword: 精神保健福祉センター、精神保健福祉法

解答: c, d

精神保健福祉に関わる行政機関には、厚生労働省、保健所、精神保健福祉センターなどがある。①は精神保健福祉センターである。精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に規定されている。設置主体は都道府県と指定都市である。保健所と精神保健福祉関係諸機関に対する技術指導・技術支援だけでなく、精神保健関係諸機関の職員の教育研修、精神保健に関する普及啓発、調査研究などを業務としている。配置職員は、精神科医、精神保健福祉士、臨床心理技術者、保健師、看護師、作業療法士などである。

- a × 訪問指導は保健所の業務である。
b × 精神保健福祉士が配置されている。
c ○
d ○

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 318-320
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 204

午後問題

解答・解説

- 140 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律における医薬品等の区分を図に示す。



インターネットによる販売が認められているのはどれか、1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶keyword: 医薬品の区分と販売, 医薬品, 医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）

解答: b

医薬品の区分と販売は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）に定められており、医師・歯科医師もしくは獣医師の処方箋もしくは指示が必要な医療用医薬品、処方箋を必要としないものの薬剤師の対面による指導が必要な要指導医薬品、需要者の選択によって使用される一般用医薬品に区分される。一般用医薬品は医薬部外品、人体に対する作用が緩和な化粧品と同様に、インターネットによる販売が認められている。

- a × 医療用医薬品（処方箋）は対面販売のみである。
b ○ 一般用医薬品（第一類・第二類・第三類）はインターネットによる販売が可能である。
c ×
d ×

文献: 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 93-94
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 109

- 141 障害者総合支援法に基づく、障害者・児への総合的な支援の概略図を示す。



①はどれか、1つ選べ。

- a 医療扶助
b 地域包括ケア
c 地域生活支援事業
d 認知症施策推進総合戦略

▶keyword: 障害者総合支援法, 地域生活支援事業

解答: c

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）により、障害のある方（児）への総合的な支援が定められている。

障害者総合支援法に基づくサービスは、利用者に対して個別に支給決定が行われる自立支援給付と、地域の特性や利用者の状況に応じ市町村・都道府県により柔軟に実施される地域生活支援事業（図の①）に大別される。

- a × 医療扶助は、生活保護法に基づく扶助の一つである。
b × 地域包括ケアは、住民が住み慣れた地域で医療や介護などを包括的に提供する仕組みのことである。
c ○ 地域生活支援事業は、障害者の日常生活や社会生活を支援するサービスである。
d × 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）は、認知症の方々の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す取り組みである。

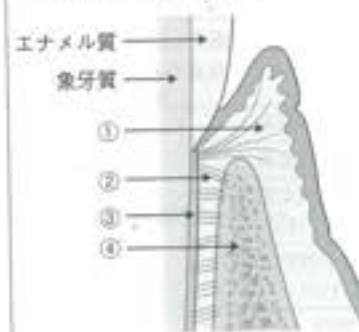
文献: 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 138-140
ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 121-122

午後問題		解答・解説
歯科衛生士概論		
142	<p>歯科衛生士の相対的欠格事由はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 未成年者 b 耳が聞こえない者 c 罰金以上の刑に処せられた者 d 麻薬、あへん又は大麻の中毒者</p> <p>▷keyword: 相対的欠格事由, 歯科衛生士法</p>	<p>解答: e, d</p> <p>歯科衛生士国家試験に合格していても、以下の場合(歯科衛生士法第4条に該当する場合)には厚生労働大臣の裁量により免許を与えない場合があり、これを相対的欠格事由という。相対的欠格事由は、新たに免許を与える場合だけでなく、免許を与えられた後にも適用され、免許の取り消しや業務停止の対象となる。</p> <p>①罰金以上の刑に処せられた者 ②①に該当する者を除くほか、歯科衛生士の業務に関し犯罪又は不正の行為があった者 ③心身の障害により歯科衛生士の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの ④麻薬、あへん又は大麻の中毒者</p> <p>a × 歯科衛生士法および歯科衛生士学校養成所指定規則により修業年限が3年以上と定められているため、未成年者が歯科衛生士になることは事実上不可能であるが、相対的欠格事由ではない。 b × 以前は、絶対的欠格事由として規定されていたが、現在は個々の障害の状況に応じて判断するとされている。 c ○ d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 41-42 ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 104</p>
143	<p>インシデントレポートで正しいのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 法令で統一様式がある。 b 保健所への届出義務がある。 c 当事者以外の者が報告してよい。 d 実際に事故が発生した場合に限り報告する。</p> <p>▷keyword: インシデントレポート</p>	<p>解答: c</p> <p>医療機関ではインシデント(医療事故を起こしそうになった場合や、医療事故の発生につながる可能性の高い事象)が発生したら、インシデントレポートに必要な項目を記載して報告する制度を導入している。インシデントレポートは「反省文」という意味合いではなく、インシデントの発生を報告・共有することによって再発防止に役立つためである。</p> <p>a × 法令で書式は統一されていない。 b × 法令による規定はなく、保健所への届出義務もない。 c ○ 当事者だけでなく、エラーを認識した当事者以外の者が気づいた時点で作成してもよい。 d × 医療事故が起きたときだけでなく、「起こしそうになった」「医療事故の発生につながる可能性の高い事象を認識した」などの場合にもインシデントレポートを作成する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 55-60 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 12-14</p>

午後問題		解答・解説
144	<p>歯科衛生士が運営や業務推進に重要な役割をしている施設の説明を示す。</p> <p>歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発、定期的に歯科検診を受けること等の勧奨等、障害者等が定期的に歯科検診を受けること等の施策、歯科疾患の予防のための啓発等、口腔の健康に関する調査及び研究の推進等の実施のため、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関</p> <p>この施設はどれか、1つ選べ。 a 保健所 b 市町村保健センター c 口腔保健支援センター d 地域包括支援センター</p> <p>▷keyword: 口腔保健支援センター</p>	<p>解答: c</p> <p>設問の文章は口腔保健支援センターの説明である。歯科口腔保健の推進に関する法律の第15条に定められた機関で、都道府県・保健所設置市・特別区が設置することができる。</p> <p>a × 保健所は感染症対策や食品衛生など公衆衛生全般を担う地域保健の第一線機関である。 b × 市町村保健センターは住民に対し健康相談、保健指導および健康診査といった地域住民に身近な保健サービスを対面で総合的に提供する地域拠点である。 c ○ d × 地域包括支援センターは地域包括ケアシステムを推進するための拠点となる機関であり、その基本機能は「総合相談支援」「虐待の早期発見などの権利擁護」「包括的・継続的ケアマネジメント」「介護予防ケアマネジメント」「地域ケア会議」の5つである。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 86 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 91-92</p>
臨床歯科医学		
145	<p>バイタルサインのモニタリング項目と成人の測定値の組合せで異常値はどれか、1つ選べ。</p> <p>a SpO₂—88% b 血圧—110/70 mmHg c 脈拍—70回/分 d 呼吸数—16回/分</p> <p>▷keyword: バイタルサイン, SpO₂</p>	<p>解答: a</p> <p>バイタルサインとは、人間が生きている状態を示す生命徴候のことで、通常、血圧、脈拍、呼吸、体温、意識レベルの5つを指す。</p> <p>a ○ SpO₂(経皮的動脈血酸素飽和度)は、若年成人では97~98%、高齢者では94~95%程度が正常である。90%以下への低下は低酸素血症を意味し、チアノーゼの危険性がある。 b × 120/80 mmHg未満が正常血圧である。 c × 脈拍は60~100回/分が正常である。 d × 呼吸数は12~20回/分が正常である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 237-240</p>
146	<p>採血後の血液を遠心分離した後の写真(別冊No.4)を別に示す。</p> <p>①~③の組合せで正しいのはどれか、1つ選べ。</p> <p>① ② ③ a 血漿 血球 血清 b 血漿 血餅 血清 c 血清 血球 血漿 d 血清 血餅 血漿</p> <p>▷keyword: 血液、血漿、血清、血餅</p>	<p>解答: a</p> <p>採血した血液に抗凝固剤を加え、遠心分離すると血漿(液状成分)と血球に分離される。血液の45%は血球で、残りの55%が血漿である。血球は、赤血球、白血球および血小板に分けられる。血漿の90%は水で、ここにタンパク質、糖質、脂質、電解質、無機質、酵素、ビタミン、ホルモンなどが溶け込んでいる。血液から血球成分とフィブリノゲンを除去したものを血清という。</p> <p>一方、血液に抗凝固剤を加えずに静置すると、血液凝固反応の進行により血餅が形成される。このときの液状成分が血清である。血餅には血球に加えフィブリノゲンが含まれる。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 43-44</p>

午後問題	解答・解説
147 歯科用レーザーを用いて歯科衛生士が実施できるのはどれか。1つ選べ。 a 歯肉切除 b 歯の切開 c う蝕の検査 d 歯石の除去 keyword: 歯科用レーザー、う蝕の検査	解答: c 歯科用レーザーはJISにおけるレーザー機器のクラス分けで、最も危険性の高い「クラス4」に分類されており、その照射は歯科医師に限られている。ただし、う蝕の検査に用いるレーザー機器(ダイアグノデント®)はJISにおけるレーザー機器のクラス分けで比較的安全性の高い「クラス2」に分類され、歯科衛生士も使用可能である。 a× 歯肉切除に使用する歯科用レーザーはJISで「クラス4」に分類されており、歯科衛生士は照射できない。 b× 歯の切開に使用する歯科用レーザーはJISで「クラス4」に分類されており、歯科衛生士は照射できない。 c○ う蝕の検査に使用する歯科用レーザーはJISで「クラス2」に分類されており、歯科衛生士も照射可能である。 d× 歯石の除去に使用する歯科用レーザーはJISで「クラス4」に分類されており、歯科衛生士は照射できない。 文庫: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 42-44
148 下顎左側第一小臼歯遠心面のう蝕に対して、コンボジットレジンを修復を行うことになった。軟化象牙質の除去に先立ち遠心隣接面に器具を挿入した。挿入した器具の写真(別冊No.5)を別に示す。 この操作の目的はどれか。2つ選べ。 a 接触点の回復 b 歯間孔の保護 c 隣接面の損傷防止 d マトリックスバンドの固定 keyword: プレウェッジテクニック	解答: b, c 写真はウェッジであり、設問文は窩洞形成前にウェッジを挿入する操作(プレウェッジテクニック)を示している。プレウェッジテクニックは、隣接面を含むう蝕処置において、軟化象牙質の除去や窩洞形成の前に行われる操作である。隣接歯や歯間乳頭を切削器具から保護することを主な目的とする。 一方、通常のウェッジ操作は、窩洞形成後に行う隔壁法で使用される。マトリックスバンドの設置後にウェッジを挿入する。 a× 窩洞形成後に行う隔壁法におけるウェッジ操作の目的である。ウェッジで歯間分離を行うことでできたスペースが、マトリックスバンドの厚みを吸収し、適切な接触点の再現を可能にする。 b○ 軟化象牙質の除去や窩洞形成時にバーなどの切削器具から歯間乳頭を保護する。 c○ 軟化象牙質の除去や窩洞形成時に、歯間を分離することにより隣接歯との距離が広くなり、バーなどの切削器具が隣接歯を損傷するリスクが低くなる。 d× 窩洞形成後に行う隔壁法におけるウェッジ操作の目的である。マトリックスバンドを隣接面に挿入後に行う操作であり、ウェッジを挿入することでバンドの浮き上がりやズレを防ぎ、修復材の漏洩や形態不良を防止する役割を果たす。また、バンドと歯面の密着性を高めることで、隣接面の適切な形態再現ができる。 文庫: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 33-39, 54

午後問題	解答・解説										
149 Blackの窩洞の分類について正しいのはどれか。1つ選べ。 a 2級窩洞はすべての歯種の隣接面窩洞である。 b 3級窩洞は小窩・裂溝に起因する。 c 4級窩洞は切縁隅角を含む窩洞である。 d 5級窩洞は歯肉側2/3における窩洞である。 keyword: Blackの窩洞の分類	解答: e Blackの窩洞の分類は、う蝕の部位による発生頻度などによって分けられている。約130年前に定義されたものであるが、現代においても普遍的に使用されている分類である。しかし、根面う蝕などは分類されていないため、注意が必要である。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1級</td> <td>小窩裂溝に位置する窩洞</td> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>臼歯の隣接面を含む窩洞</td> </tr> <tr> <td>3級</td> <td>前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含まないもの</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含むもの</td> </tr> <tr> <td>5級</td> <td>歯肉側1/3の窩洞</td> </tr> </tbody> </table> a× 臼歯(小臼歯、大臼歯)のみである。 b× 小窩・裂溝に起因するのは1級である。 c○ 前歯部(切歯、犬歯)の隣接面窩洞のうち、切縁隅角を含むのは4級、含まないのは3級である。 d× 歯肉側1/3における窩洞である。 文庫: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 27	1級	小窩裂溝に位置する窩洞	2級	臼歯の隣接面を含む窩洞	3級	前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含まないもの	4級	前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含むもの	5級	歯肉側1/3の窩洞
1級	小窩裂溝に位置する窩洞										
2級	臼歯の隣接面を含む窩洞										
3級	前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含まないもの										
4級	前歯部の隣接面を含む窩洞で、切縁隅角を含むもの										
5級	歯肉側1/3の窩洞										
150 30歳の男性。上顎左側中切歯の根管治療で、拡大形成を終了し、根管充填を行うこととなった。ある操作中のエックス線画像(別冊No.6)を別に示す。 次に行う操作はどれか。1つ選べ。 a 側方加圧 b 根管長の確認 c シーラーの塗布 d ポイントの切断 keyword: 根管充填、マスターポイント	解答: c 根管充填の術式を問う問題である。設問のエックス線画像の操作はマスターポイントの試適を示している。そのため、今後の術式は根管用シーラーの塗布→マスターポイントの挿入と側方加圧→ガッタパーチャポイントの切断と加圧→仮封である。 a× 側方加圧は根管用シーラーを塗布しマスターポイントを挿入した後に行う。 b× 根管長の確認は根管洗浄・乾燥前に行う。 c○ シーラーの塗布はマスターポイントの選択・試適後に行う。 d× ポイントの切断は根管充填状態の確認後に行う。 文庫: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 187 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助 第2版 132-136										
151 下顎右側第一小臼歯の麻酔抜髄中の口腔内写真(別冊No.7)を別に示す。 次の操作に使用する器具はどれか。1つ選べ。 a Kファイル b ピーソーリーマー c ブローチホルダー d ダイヤモンドポイント keyword: 根管洗浄、根管乾燥	解答: c 麻酔抜髄の術式を問う問題である。設問の口腔内写真は根管洗浄を示している。麻酔抜髄の術式(初回→根管形成)は、局所麻酔→ラバーダム防湿→う蝕の開拡と軟化象牙質の除去→髄室開拡→根幹部歯髄の除去→根管口明示→根管長測定→根管の拡大形成→根管洗浄→根管乾燥→根管消毒→仮封である。 したがって、写真(根管洗浄)の次の操作は根管乾燥である。根管乾燥には、ブローチホルダーやペーパーポイントを使用する。 a× Kファイルは根管拡大形成に使用する。 b× ピーソーリーマーは根管口拡大で使用する。 c○ d× ダイヤモンドポイントはう蝕の開拡、髄室開拡で使用する。 文庫: 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 151-155 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助 第2版 124-130										

午後問題	解答・解説
<p>152 歯周組織の模式図を示す。</p>  <p>②の特徴はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 加齢に伴い厚さが増加する。 b セメント芽細胞が存在する。 c 咬合力を緩衝する機能を有している。 d 上皮性付着と結合組織性付着の2つの付着様式がある。</p> <p>▶keyword: 歯周縮退、歯根膜</p>	<p>解答: b, c</p> <p>①は歯肉、②は歯根膜、③はセメント質、④は歯槽骨である。</p> <p>②の歯根膜は、歯根周囲を取り込む血管系や神経を含んだ線維からなる結合組織で、主にコラーゲン線維で構成される。セメント質と歯槽骨に Sharpey (シャーペー) 線維として埋入されており、歯を歯槽窩内に強固に連結させている。</p> <p>【歯根膜の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理的機能: 咬合力を緩衝する。 ・改造機能: 未分化の間葉系幹細胞、セメント芽細胞、骨芽細胞により、歯周組織の恒常性を維持し、絶えず新しい細胞や線維に置き換わる改造現象が起きている。 ・栄養機能: 血管を介してセメント質や歯肉に栄養を供給する。 ・感覚機能: 歯根膜には、触覚、圧迫、痛覚など感覚神経線維が存在する。 <p>a × 歯根膜の厚さは一般に加齢により減少する。 b ○ c ○ d × 上皮性付着と結合組織性付着の2つの付着様式があるのは、歯肉と歯面の付着である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 8-13、16 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 20</p>
<p>153 55歳の男性、下顎左側臼歯部歯肉内の腫瘍を主訴として来院した。下顎左側第一大臼歯部に薬剤適用中の口腔内写真(別冊No. 8A)と使用した薬剤の写真(別冊No. 8B)を別に示す。</p> <p>使用した薬剤の目的はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 歯周組織の再生 b 歯周病原細菌の抑制 c 歯周ポケット内の洗浄 d バイオフィルムの破壊</p> <p>▶keyword: 局所薬物配達療法</p>	<p>解答: b</p> <p>写真Aは急性症状に対する局所薬物配達療法(LDDS)を実施しているところである。本症例のように慢性歯周炎の急性症状時に使用する場合は、急性症状の緩和を目的として、歯周ポケット内のバイオフィルムを破壊した後に、抗菌薬が充填された専用シリンジ(写真B)を用いてポケット内に投与する。</p> <p>a × 歯周組織の再生は起きない。再生のためには歯周組織再生療法を行う。 b ○ 歯周病原細菌の抑制を目的とし、歯肉の急性症状を緩解させる。 c × 歯周ポケット内の洗浄ではなく、抗菌作用を目的としている。 d × バイオフィルムの破壊はSRPなどの機械的なブラークコントロールにより行う。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 85</p>
<p>154 歯周外科治療に使用する器具の写真(別冊No. 9)を別に示す。</p> <p>この器具を用いるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 新付着術 b 歯肉切除術 c 歯周ポケット探検術 d Widman (ウィドマン) 改良フラップ手術</p> <p>▶keyword: フラップ手術、骨膜剥離子</p>	<p>解答: d</p> <p>写真の器具は骨膜剥離子である。歯肉や歯槽粘膜炎を骨膜とともに骨面から剥離するのに用いる。</p> <p>a × ポケット上皮と炎症性結合組織をメスで切除する術式である。 b × ポケットを形成している歯肉をメスで切除する術式である。 c × ポケット上皮と炎症性結合組織をキュレットスケーラーで除去する術式である。 d ○ フラップ手術の改良型術式であり、歯肉に内斜切開を入れ、歯肉を歯根面および骨面から骨膜剥離子を用いて剥離し、明視下で歯根面の滑沢化、病的歯肉の除去を行う。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 95、103-107 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 139 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 125-127</p>

午後問題	解答・解説
<p>155 完成したクラウンの写真(別冊No. 10)を別に示す。</p> <p>装着前の内面処理に用いるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a エッチング剤 b ボンディング剤 c 金属接着性プライマー d シランカップリング剤</p> <p>▶keyword: クラウン装着、シランカップリング剤</p>	<p>解答: d</p> <p>写真はオールセラミッククラウンである。セラミックスやコンポジットレジンで製作されたクラウン内面の接着前処理は、①サンドブラスト処理と②シランカップリング剤を用いたシランカップリング処理を行う。</p> <p>a × エッチング剤は用いない。 b × ボンディング剤は用いない。 c × 金属接着性プライマーは用いない。 d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 91-95</p>
<p>156 義歯の写真(別冊No. 11)を別に示す。</p> <p>義歯の沈下を防ぐのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: レスト</p>	<p>解答: a</p> <p>義歯の構成要素は支持、把持、維持などの役割を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支持: 義歯の沈下に抵抗する作用 ・把持: 義歯の水平的な動き(側方力)に抵抗する作用(横揺れを防ぐ) ・維持: 義歯の離脱に抵抗する作用(外れるのを防ぐ) <p>a ○ ①はレストである。レストは支台歯のレストシートに適合する小突起で、義歯の沈下を防ぐ(支持)。</p> <p>b × ②はクラスプ先端の鉤尖部である。支台歯のアンダーカット部に接触することで、維持力を発揮する。</p> <p>c × ③は人工歯である。</p> <p>d × ④は下顎の大連結子の一組のリングルバーである。離れている義歯床と義歯床、支台装置をつなぐ金属部分である。義歯にかかる咬合力を分散する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 153-158</p>
<p>157 30歳の女性、上顎左側中切歯の前装冠の審美障害を主訴として来院した。レジン前装冠の除去後、レジニア塗布が行われた。その後、既製樹脂冠を用いたプロビジョナルレストレーションを製作し、装着することとなった。素材の写真(別冊No. 12)を別に示す。</p> <p>使用する順番はどれか、1つ選べ。</p> <p>a ①→②→③→④ b ②→③→④→① c ③→②→①→④ d ④→③→②→①</p> <p>▶keyword: プロビジョナルレストレーション</p>	<p>解答: c</p> <p>樹脂既製冠を使用したプロビジョナルレストレーション製作の手順は、既製樹脂冠の試適→支台歯への分離剤の塗布→レジン冠内面への常温重合レジンの填入→支台歯への圧接→硬化後に取り外して形態修正→咬合調整→研削→仮着である。</p> <p>①はストレートハンドピースと研削用ポイントである。プロビジョナルレストレーションの研削に用いる。</p> <p>②は常温重合レジンである。本症例では、既製樹脂冠内面にレジンを填入する際に用いる。</p> <p>③は分離剤とピンセット、綿花である。綿花を製作し、分離剤を支台歯に塗布する際に用いる。</p> <p>④は仮着用セメントである。プロビジョナルレストレーションの仮着に用いる。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 89-90</p>

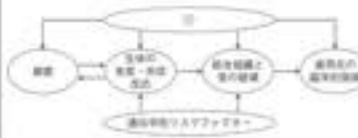
午後問題	解答・解説
<p>158 顎変形症を合併しうる疾患はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 顎顎口蓋裂 b Down (ダウン) 症候群 c Peutz-Jeghers (ポイツ・ジェガース) 症候群 d von Recklinghausen (フォン・レックリングハウゼン) 病</p> <p>▶ keyword: 顎顎口蓋裂、顎変形症</p>	<p>解答: a, b</p> <p>a○ 顎顎口蓋裂は、顔面に生じる先天異常の代表的な疾患であり、胎生期における顔面を形成する諸突起の癒合不全に起因する。発症には多数の遺伝的要因と多数の環境的要因が関与する。</p> <p>b○ Down (ダウン) 症候群は、21番目の染色体の過剰 (トリソミー) に起因する先天異常で、低身長、外眼角の吊り上がった特徴的な目、知能障害などを主症状とする症候群である。</p> <p>c× Peutz-Jeghers (ポイツ・ジェガース) 症候群は、口唇・頬粘膜の不規則な形状の斑点、結膜・鼻粘膜、手足などの暗黒色の散在性の色素斑、胃腸の多発性ポリープを主徴とする常染色体顕性 (優性) 遺伝性疾患である。</p> <p>d× von Recklinghausen (フォン・レックリングハウゼン) 病は、思春期頃から全身に多発する神経線維腫、皮膚のカフェオレ斑、脊椎側弯症などの骨病変、眼症状などを呈する常染色体顕性 (優性) 遺伝性疾患である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 19</p>
<p>159 TNM分類でTが示すのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 原発腫瘍の大きさ b 原発腫瘍の浸透度 c 遠隔臓器転移の有無 d 所属リンパ節転移の有無</p> <p>▶ keyword: TNM分類</p>	<p>解答: a, b</p> <p>TNM分類は、国際対がん連合 (UICC) によるがんの進展度を表す分類である。Tは原発腫瘍 (primary tumor) の広がり、Nは所属リンパ節 (regional lymph node) 転移の有無と広がり、Mは遠隔転移 (metastasis) の有無を示す。これら3つの構成要素の評価に基づいて病変の解剖学的進展度を示し、ステージ分類を行う。このステージ分類に基づいて、手術、化学療法、放射線療法などを組み合わせた治療法が検討される。</p> <p>a○ TNM分類のTである。</p> <p>b○ TNM分類のTである。</p> <p>c× TNM分類のMである。</p> <p>d× TNM分類のNである。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 103-105</p>
<p>160 20歳の女性、下顎左側臼歯部の繰り返す痛みを主訴に来院した。智歯周囲炎と診断され、消炎後、後日抜歯が行われた。抜歯後の指導として適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 傷を清潔に保つため、本日から十分ながいをしてください。</p> <p>b 血行を促進させて傷を早く治すため、長時間入浴してください。</p> <p>c 数日間腫れが腫れますが、濡れタオルで冷やす程度にしてください。</p> <p>d 麻酔の効き目を確かめるため、処置後すぐに食事をとってください。</p> <p>▶ keyword: 抜歯後の患者指導</p>	<p>解答: c</p> <p>抜歯術は口腔外科で行う頻度が最も高い手術である。使用する器材や基本的な術式に加え、抜歯後の患者指導についても理解しておくことが大切である。</p> <p>a× 抜歯後も腫れは強いうがいをするとう出血が長引いたり、ドライソケットの原因となりうる。抜歯後当日は軽くゆすぐ程度とし、十分ながいはいは抜歯後数日経過してから行うよう指導する。</p> <p>b× 過度な運動、飲酒や入浴は、後出血や疼痛を生じさせるため避けてもらう。</p> <p>c○ 冷やすことによって疼痛・腫脹が抑えられるが、長時間冷やすと腫脹が固くなり開口障害が起こる。氷やアイスパックなどで強く冷やすことは避け、痛みが強い場合は冷たいタオルなどで1~2時間程度冷やす。</p> <p>d× 麻酔の効果が残っている場合の食事は火傷 (やけど) や誤咬のリスクがある。処置後30分~2時間以上経過し麻酔効果が切れてから食事をとるよう指導する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 188-200</p>

午後問題	解答・解説
<p>161 過換気症候群の治療はどれか。1つ選べ。</p> <p>a 保温 b 下肢挙上 c 酸素吸入 d ジアゼパム投与</p> <p>▶ keyword: 過換気症候群</p>	<p>解答: d</p> <p>過換気症候群は歯科治療時によくみられる合併症の1つである。治療に対する恐怖や不安で呼吸回数が多くなり、動脈血の二酸化炭素分圧が低くなることで起こる。呼吸困難、動悸、手足のしびれなどの症状が現れる。対応としてはゆっくりと息を吐くよう指示し、それでも改善しない場合はジアゼパムの投与を行うこともある。</p> <p>a× 保温は無意味である。</p> <p>b× 血圧の変動はあまりないため下肢挙上は無意味である。下肢挙上は血管迷走神経反射などによる血圧低下時に行う。</p> <p>c× 呼吸回数が多いために二酸化炭素分圧が減少しているため、酸素投与は逆効果である。</p> <p>d○ 患者は不安を感じていることが多いために、ベンゾジアゼピン系の抗不安薬であるジアゼパム投与は有効である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 289</p>
<p>162 母指吸引癖が原因となるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 開咬 b 過蓋咬合 c 上顎前突 d 咬状咬合</p> <p>▶ keyword: 母指吸引癖、不正咬合の原因</p>	<p>解答: a, c</p> <p>吸指癖はその行い方によりさまざまな不正咬合の原因となる可能性がある。なかでも母指吸引癖は発現頻度が高く、開咬や上顎前突などの原因となる。</p> <p>a○ 上下顎前歯の間に母指が介在することにより、前歯の正常な萌出を阻害したり臼歯部が嚙出したりすることにより、開咬が引き起こされる場合がある。</p> <p>b× 一般的に母指吸引癖は過蓋咬合の原因にはならない。</p> <p>c○ 上下顎前歯の間に母指が介在すると上顎前歯の唇側傾斜などにより上顎前突が引き起こされる場合がある。</p> <p>d× 母指吸引癖が上顎歯列を狭窄させ、臼歯部の交叉咬合が引き起こされる場合がある。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 49</p>
<p>163 口腔模型に装着した矯正装置の写真 (別冊 No. 13) を別に示す。固定の種類はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 相反固定 b 加強固定 c 単純固定 d 不動固定</p> <p>▶ keyword: クワドヘリックス装置、単純固定、相反固定</p>	<p>解答: a, c</p> <p>写真の矯正装置はクワドヘリックス装置である。歯列の側方拡大を目的とした装置であり、左右の側方歯を主に傾斜傾斜させる場合に用いる。</p> <p>a○ 相反固定は互いに固定源の歯と移動する歯の双方が、同じように移動することをいい、クワドヘリックスは左右の側方歯が互いに傾斜に傾斜移動する。</p> <p>b× 加強固定は固定源の歯の移動を防ぐために固定を強化することである。</p> <p>c○ 単純固定は固定源の歯が傾斜移動する場合であり、クワドヘリックスは傾斜に傾斜移動を起こす。</p> <p>d× 不動固定は固定源の歯が歯体移動する場合である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 82</p>
<p>164 矯正用器具の写真 (別冊 No. 14) を別に示す。用途はどれか。1つ選べ。</p> <p>a アーチワイヤーの切断 b ラウンドワイヤーの屈曲 c リガチャーワイヤーの結紮 d レクタングュラーワイヤーの屈曲</p> <p>▶ keyword: プライヤー、ツイードアーチベンディングプライヤー、レクタングュラーワイヤー</p>	<p>解答: d</p> <p>写真は Tweed (ツイード) アーチベンディングプライヤーである。</p> <p>a× アーチワイヤーの切断にはディスタルエンドカッターを用いる。</p> <p>b× ラウンドワイヤーの屈曲には Young (ヤング) プライヤー、スリージョーブライヤー、バードピークプライヤー、ライトワイヤープライヤーなどを用いる。</p> <p>c× リガチャーワイヤーの結紮にはリガチャータイピングプライヤーを用いる。</p> <p>d○ アーチワイヤーのなかでも、断面が長方形のレクタングュラーワイヤーの屈曲に用いる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 160 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 145, 155-156</p>

午後問題	解答・解説
<p>165 離乳開始後の小児の摂食嚥下機能の発達順序で正しいのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 押しつぶし機能獲得→挿食機能獲得→すりつぶし機能獲得→咀嚼機能獲得</p> <p>b 押しつぶし機能獲得→すりつぶし機能獲得→挿食機能獲得→咀嚼機能獲得</p> <p>c 挿食機能獲得→すりつぶし機能獲得→押しつぶし機能獲得→咀嚼機能獲得</p> <p>d 挿食機能獲得→押しつぶし機能獲得→すりつぶし機能獲得→咀嚼機能獲得</p> <p>▶keyword: 離乳</p>	<p>解答: d</p> <p>小児は成長に伴い離乳し、離乳食の摂取を通じて摂食嚥下機能を獲得していく。離乳初期(生後5~6か月頃)で口唇を閉じて食物を挿食できるようになり、離乳中期(生後7~8か月頃)では食物を上顎と舌でつぶす押しつぶし機能を獲得する。その後、離乳後期(生後9~11か月頃)では歯で噛みつぶせる固さのものをすりつぶし機能によって摂取できるようになり、手づかみ食べを経て、およそ生後18か月頃までに咀嚼機能を獲得し、離乳完了となる。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 14-15 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 312-317</p>
<p>166 小児の歯科診療中の写真(別冊 No. 15)を別示す。この後に同様の処置を受ける予定の小児の第6号歯室している。患児の弟に実践している行動変容法はどれか、1つ選べ。</p> <p>a モデリング法</p> <p>b タイムアウト法</p> <p>c トークンエコノミー法</p> <p>d ハンドオーバーマウス法</p> <p>▶keyword: 行動変容法、モデリング法</p>	<p>解答: a</p> <p>幼児期は情緒のほか、理解、判断、コミュニケーションなどの能力が未熟であり、歯科治療に際して不適応行動を示すことがある。行動変容法(行動療法)は、学習理論に基づいて個人の行動を改善する技法であり、その利用により歯科診療への適応性を高め、治療を円滑に進めることができるようになる。</p> <p>a ○ モデリング法とは、同年代の小児や兄弟などが適切な行動をしている場面を見せることで、恐怖や不安を感じている小児にも同じように行動することを促す方法である。実際の診療の場面を見せる方法(ライブモデリング)と、ビデオ映像や人形などを使用する方法(間接的モデリング)がある。設問の写真では、兄の診療風景を弟が間近で見学するライブモデリングが実施されている。</p> <p>b × タイムアウト法とは、小児に不適応の行動がみられた場合に、ある一定時間だけ正の強化を受けられないような場所や状況に隔離する方法である。罰を与えた後、望ましい行動が変わった場合は、褒めるなどの正の強化子を与えることが望ましい。</p> <p>c × トークンエコノミー法とは、望ましい行動がみられたときにトークン(代用貨幣)が与えられ、トークンがたまり一定の数に達したら小児が欲しいものと交換するという方法である。</p> <p>d × ハンドオーバーマウス法とは、興奮して歯の話聞き入れず暴れる小児に対して、歯科用ユニット上で小児の口を手で覆うことで声が出ないようにして、穏やかにコミュニケーションを図ろうとする方法である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 86-89</p>


午後問題	解答・解説
<p>167 9歳の男児。前歯が欠けたことを主訴として来院した。1時間前に転倒し前歯部を強打したという。自発痛はないが、軽度の冷水痛を認めた。診察の結果、上顎前歯中切歯に歯髄処置を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊 No. 16)を別示す。</p> <p>矢印で示す部位の化学的洗浄に用いる薬品はどれか、1つ選べ。</p> <p>a エタノール製剤</p> <p>b ポビドンヨード</p> <p>c 次亜塩素酸ナトリウム</p> <p>d 水酸化カルシウム製剤</p> <p>▶keyword: 直接覆髄法、歯冠破折</p>	<p>解答: c</p> <p>設問文より外傷による歯冠破折が疑われ、口腔内写真より両側中切歯の歯冠破折面にわずかな露髄を認める。新鮮かつ小さな露髄であるため、直接覆髄法の適応である。直接覆髄法とは、歯髄露出部を水酸化カルシウム製剤で被覆することによりデンティンブリッジの形成を図る処置である。ラバーダム装着のうえ、覆髄薬の貼薬前に、破折面の化学的洗浄を行う必要がある。</p> <p>a × エタノール製剤は主に手指消毒用として使用されるアルコール系消毒薬である。</p> <p>b × ポビドンヨードは手術部位や手指の消毒、あるいは含嗽用に用いられるヨウ素系消毒薬である。</p> <p>c ○ 次亜塩素酸ナトリウムは器具の消毒に用いるほか、高濃度の洗浄や根管の化学的清掃に使用される。</p> <p>d × 水酸化カルシウム製剤は覆髄や断面への貼薬、根管消毒薬として用いられる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 128-130, 145 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法 142-143</p>
<p>168 Alzheimer(アルツハイマー)型認知症の特徴はどれか、1つ選べ。</p> <p>a 言葉が出ない。</p> <p>b 呂律が回らない。</p> <p>c 段取りが悪くなる。</p> <p>d 夜中に大声を出す。</p> <p>▶keyword: 認知症、Alzheimer(アルツハイマー)型認知症</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 「言葉が出ない」は、前頭側頭型認知症の特徴である。前頭葉や側頭葉前方が萎縮することによる認知症で、社会性の欠如や人格・行動変容などを伴う。</p> <p>b × 「呂律が回らない」は、脳血管性認知症の特徴である。脳梗塞や脳出血などの脳血管障害に関連して発症する。</p> <p>c ○ 「段取りが悪くなる」は、Alzheimer(アルツハイマー)型認知症の特徴である。認知症のなかで最も多く、進行は緩徐で、初期から近時記憶障害が目立つ。</p> <p>d × 「夜中に大声を出す」は、Lewy(レビー)小体型認知症の特徴である。認知機能の低下に加え、Parkinson(パーキンソン)症状や幻視、錯視が現れる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 75-80</p>
<p>169 83歳の女性。食事のむせを主訴として、家族から歯科訪問診療の依頼があった。Parkinson(パーキンソン)病の既往がある。食事動作や食事姿勢に問題はないが、嚥下障害と低栄養がある。歯科医師から口腔健康管理を行うように指示を受けた。特に連携すべき専門職はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 管理栄養士</p> <p>b 言語聴覚士</p> <p>c 作業療法士</p> <p>d 理学療法士</p> <p>▶keyword: 多職種連携、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士</p>	<p>解答: a, b</p> <p>在宅医療でも病院や施設と同様に、医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、リハビリテーション職種、管理栄養士、ケアマネジャーなどのさまざまな職種間での連携が必要となってくる。歯科訪問診療時に食事に関する相談や嚥下機能評価の依頼を受けることも多く、最近ではオンラインを活用し会議を行う場合もある。</p> <p>a ○ 低栄養があり栄養管理が必要なため連携が必要である。</p> <p>b ○ 言語聴覚士(ST)は言語・聴覚のリハビリテーションに加えて摂食嚥下訓練も実施する。嚥下障害があり摂食嚥下訓練の実施が必要なため連携が必要である。</p> <p>c × 作業療法士(OT)はさまざまな作業を通じて日常生活に必要な動作を再獲得させる。食事動作に問題がないため、現時点では連携の優先度は低い。</p> <p>d × 理学療法士(PT)は運動療法や物理療法、基本動作訓練を行い、下肢をはじめとした全身のリハビリテーションを行う。食事動作と食事姿勢に問題がないため、現時点では連携の優先度は低い。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 166-172 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 24-33</p>

午後問題		解答・解説
170	<p>障害者歯科におけるQOLの向上で、最優先となるのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 審美性の回復 b 治療期間の短縮 c 最新治療技術の使用 d 患者の意思決定の尊重</p> <p>▶keyword: QOL (生活の質)</p>	<p>解説: d</p> <p>障害者歯科におけるQOL (Quality of Life: 生活の質) の向上とは、障害のある人が安心して歯科医療を受けられるようにし、口腔の健康を保つことで、その人らしい豊かな生活を支援することである。</p> <p>a × 口腔機能の維持・回復とともに、審美性の回復もQOLの向上には重要であるが、この4つの選択肢のなかでの最優先とはいえない。</p> <p>b × 治療期間を可能な限り短くできれば、通院などの負担も少なくなるが、この4つの選択肢のなかでの最優先とはいえない。</p> <p>c × 最新治療技術を使用することは必須ではない。患者の希望や処置の内容に合わせて適切な方法を採用すべきである。</p> <p>d ○ 障害者歯科治療の場面において、患者の意思決定を尊重することは重要である。医療者や支援者・保護者などの本位とならないように注意が必要である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 5-6</p>
171	<p>18歳の男性。知的能力障害がある。診療に非協力的なため、静脈内鎮静法下で歯石除去を実施することになった。歯科医師から術前のバイタルサインを確認するよう指示があった。機頭の写真(別冊No.17)を別に示す。</p> <p>使用するのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: バイタルサイン、静脈内鎮静法</p>	<p>解説: b, d</p> <p>静脈内鎮静法は鎮静薬を静脈注射して鎮静を得る薬物的行動調整法である。静脈内鎮静法を安全に実施するためには、患者の状態を表すバイタルサインを測定することで、術前の患者の全身状態を把握することが必要である。また術中の不測の事態にもいち早く対応できるように、術中もバイタルサインのモニタリングを行う。</p> <p>a × ①はバイトブロックで、開口状態の維持に用いる。全身麻酔からの覚醒時や意識障害のある患者で、気管チューブを挿入している場合に、チューブを噛んで閉塞させたり破損させたりするのを防ぐ目的でも用いられる。</p> <p>b ○ ②は体温計で、救急での体温測定に用いる。</p> <p>c × ③は気管内チューブで、気道確保や誤嚥防止のために口または鼻から気管内に挿入する管である。昏睡状態、心肺停止状態、全身麻酔の際に人工呼吸管理が必要な場合に使用される。</p> <p>d ○ ④は血圧を測定するためのアネロイド式血圧計と聴診器である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 75</p>
172	<p>口腔機能管理の実施前に行う検査の写真(別冊No.18)を別に示す。</p> <p>適切なのはどれか、1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 鼻息鏡、鼻呼吸</p>	<p>解説: b</p> <p>写真は鼻息鏡による検査の様子である。鼻の呼吸の状態を簡易的に調べるために用いられる。一般的に広く用いられるのは「キリアン氏式」とよばれるものである。ステンレスや真鍮でできた磨かれた金属製の板で、鼻の下にあてて息を吹きかけた際に、曇りの範囲を測定するための目盛りが刻印されている。鼻腔通気度の評価(左右の鼻の通り)や、鼻閉閉鎖機構(発音時の鼻からの息漏れの有無)を視覚的に評価できる。</p> <p>【鼻息鏡による検査の手順】</p> <p>①検査を受ける人は、楽な姿勢で居る。</p> <p>②検査者は、鼻息鏡を水平に保ちながら、鼻孔の直下にそっとあてがう。</p> <p>③安静に鼻で呼吸をしてもらい、呼気による鏡の曇り具合を観察する。</p> <p>④必要に応じて、鼻からの息漏れが起こりやすい言葉を発音してもらい、その際の曇り方を観察する。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 92-93</p>

午後問題		解答・解説														
歯科予防処置論																
173	<p>歯周炎の発症モデルを図に示す。</p>  <p>①の要因に対する予防手段はどれか、2つ選べ。</p> <p>a 禁煙指導 b 食生活指導 c スケーリング d 歯の形態修正</p> <p>▶keyword: 歯周炎の発症モデル、リスクファクター</p>	<p>解説: a, b</p> <p>①は環境的・後天的リスクファクターである。喫煙、ストレス、ビタミンCやビタミンDの摂取不足などの栄養障害、薬物、社会経済的環境などは、後天的リスクファクターとして歯周病を増悪させる。</p> <p>a ○ 喫煙により微細血管が収縮し血行障害を起こすと、歯周組織はプラークなどの病原因子の影響を受けやすくなる。</p> <p>b ○ ビタミン摂取不足などの栄養障害が、歯周組織の代謝や治癒に影響することが知られている。</p> <p>c × スケーリングはプラークリテンションファクターである宿主因子に対する予防手段である。</p> <p>d × エナメル突起などの歯の形態修正はプラークリテンションファクターである宿主因子に対する予防手段である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保健衛生学 190-197 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 28-36</p>														
174	<p>34歳の男性。歯肉からの出血を主訴として来院した。初診時のパノラマエックス線画像(別冊No.19)および口腔内診査の結果の一部(別冊No.20)を別に示す。</p> <p>GB Countはどれか、1つ選べ。</p> <p>a 1 b 3 c 5 d 7</p> <p>▶keyword: GB Count</p>	<p>解説: c</p> <p>GB Countは、歯肉炎の程度を示すGingivalスコアと、歯槽骨吸収の程度を示すBoneスコアを合算して評価する。対象歯は現在歯すべてで、プロービングとエックス線検査によりそれぞれのスコアを算出し、両者の和をGB Countとする。最大値は8、最小値は0である。</p> <table border="1" data-bbox="1852 898 2634 1188"> <thead> <tr> <th>Gingivalスコア</th> <th>Boneスコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0: 歯肉に炎症を認めない</td> <td>0: 骨長失所見なし</td> </tr> <tr> <td>1: 遊離歯肉に軽い炎症</td> <td>1: 歯槽骨質に骨吸収の初期像あり</td> </tr> <tr> <td>2: 付着歯肉に及ぶ中等度の炎症</td> <td>2: 歯根長の約1/4の骨吸収または約1/2以下のポケット形成</td> </tr> <tr> <td>3: 腫脹を伴い容易に出血する</td> <td>3: 歯根長の約1/2の骨吸収または約3/4以下のポケット形成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4: 歯根長の約3/4の骨吸収または根尖に達するポケット形成、中等度の歯の動揺</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5: 根尖までの骨吸収および顕著な歯の動揺</td> </tr> </tbody> </table> <p>a × b × c ○ Gingivalスコアは3(腫脹を伴い容易に出血)、Boneスコアは2(歯根長の約1/4の骨吸収または約1/2以下のポケット形成)なので、GB Countは3+2=5である。 d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 133-134 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 49-50</p>	Gingivalスコア	Boneスコア	0: 歯肉に炎症を認めない	0: 骨長失所見なし	1: 遊離歯肉に軽い炎症	1: 歯槽骨質に骨吸収の初期像あり	2: 付着歯肉に及ぶ中等度の炎症	2: 歯根長の約1/4の骨吸収または約1/2以下のポケット形成	3: 腫脹を伴い容易に出血する	3: 歯根長の約1/2の骨吸収または約3/4以下のポケット形成		4: 歯根長の約3/4の骨吸収または根尖に達するポケット形成、中等度の歯の動揺		5: 根尖までの骨吸収および顕著な歯の動揺
Gingivalスコア	Boneスコア															
0: 歯肉に炎症を認めない	0: 骨長失所見なし															
1: 遊離歯肉に軽い炎症	1: 歯槽骨質に骨吸収の初期像あり															
2: 付着歯肉に及ぶ中等度の炎症	2: 歯根長の約1/4の骨吸収または約1/2以下のポケット形成															
3: 腫脹を伴い容易に出血する	3: 歯根長の約1/2の骨吸収または約3/4以下のポケット形成															
	4: 歯根長の約3/4の骨吸収または根尖に達するポケット形成、中等度の歯の動揺															
	5: 根尖までの骨吸収および顕著な歯の動揺															

午後問題	解答・解説
<p>175 60歳の男性。下顎右側臼歯・前歯の着色が気になる来院した。ときどき冷たい飲食物がしみるという。初診時の口腔内写真(別冊No.21)を別に示す。 この病変の診査に使用するのほどれか、1つ選べ。</p> <p>a CPIプローブ b デンタルフロス c トランスイルミネーター d ファーケーションプローブ</p> <p>▶keyword: 根面う蝕</p>	<p>解答: a</p> <p>写真から、下顎右側犬歯～第二小臼歯の唇・頬側露出根面にう蝕を疑う病変が認められる。WHOによる2013年の根面う蝕の診断基準では、病変部位をCPIプローブで触れて触診し、ソフト感あるいはざらついた感じがあり、かつう蝕が歯冠部から独立して、根面のみ治療が必要な場合に根面う蝕と記録するとされている。</p> <p>a○ b× 隣接面う蝕の検査に用いることがある。 c× 透視診に用いる機器であり、隣接面う蝕の検査あるいは亀裂や破折の確認に用いられる。根面う蝕の診査には用いない。 d× ファーケーションプローブは根分岐部病変の診査に使用する器具である。計測部が彎曲しているため根面う蝕の診査には用いられない。</p> <p>▶文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 32-33, 35 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 66-67</p>
<p>176 57歳の男性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。心臓弁膜症の既往がある。初診時の歯周組織検査結果(別冊No.22)を別に示す。 初診時に実施する歯周基本治療として適切なのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a PTC b SRP c 口腔衛生指導 d スケーリング</p> <p>▶keyword: 心臓弁膜症、感染性心内膜炎、観血処置</p>	<p>解答: a, c</p> <p>心臓には血液の逆流を防ぐために弁がある。心臓弁膜症は、心臓の弁に異常が生じて血液の流れが正常に機能しなくなる疾患である。心臓弁膜症は感染性心内膜炎(IE)に罹患するリスクが高いため、観血的処置(抜歯、感染根管治療、スケーリング、SRPなど)を行う際は、処置の30分～1時間前に予防投薬(抗生薬の服用)を行うことが強く推奨されている。また、普段から口腔衛生状態が悪い場合、IEが引き起こされやすいと考えられているため、IEの発症を抑制するうえで日常の口腔衛生状態の管理はきわめて重要である。</p> <p>a○ PTCは歯肉出血を伴わない処置で、予防投薬が必要ないため初診時に行う処置として適切である。 b× SRPは観血的処置に含まれ、予防投薬が必要となるため初診時には避ける。 c○ 日常の口腔衛生状態の管理はIEの発症を抑制するうえできわめて重要である。この患者はPCRが54.5%と高いため、口腔衛生指導が必要であり、初診時に行うとよい。 d× スケーリングは観血的処置に含まれるため初診時には避ける。PD 4 mmおよびBOP(+)の部位があるので、次回以降は抗生薬事前投与のうえスケーリングを行う。</p> <p>▶文庫: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 69-71 日本循環器病学会: 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017年改訂版) https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2017_nakatan_i.pdf</p>

午後問題	解答・解説
<p>177 あるスケーラーの特徴を示す。</p> <p>・シャングの形状: スタンダードと同じ長さで3mm長い ・第1シャングとフェイスのなす角度: 70度(オフセットブレード) ・刃部の幅: スタンダードと同じ</p> <p>このスケーラーはどれか、1つ選べ。</p> <p>a ユニバーサルタイプキュレット b ミニファイブグレイシータイプキュレット c アフターファイブグレイシータイプキュレット d エクストラリジッドグレイシータイプキュレット</p> <p>▶keyword: グレイシータイプキュレット, ユニバーサルタイプキュレット</p>	<p>解答: c</p> <p>キュレットタイプスケーラーは、刃部の先端や背面に丸みをもたせ、歯肉縁下操作時に歯周ポケットの内面を損傷させないように設計されている。そのため、歯肉縁下の歯石除去や歯根面の滑沢化に用いられる。第1シャングに対するフェイスの角度の違いにより、グレイシータイプとユニバーサルタイプの2種類がある。</p> <p>グレイシータイプキュレットは、第1シャングに対するフェイスの角度が70度に傾斜し、傾斜したほうにだけ切縁が付与されている。歯肉縁下においても操作の適正角度を確認しやすい。</p> <p>ユニバーサルタイプキュレットは、第1シャングに対するフェイスの角度が90度になっており、両方に切縁が付与されている。1本のスケーラーで口腔内すべての部位のスケーリングが可能である。</p> <p>a× ユニバーサルタイプキュレットは、シャングの形状および刃部の幅はグレイシータイプのスタンダードと同じで、第1シャングとフェイスのなす角度は90度である。 b× ミニファイブの刃部の幅は、スタンダードやアフターファイブの1/2程度と細く設計されている。 c○ エクストラリジッドは、グレイシータイプキュレットの頭部が固く、太く設計されたものである。</p> <p>▶文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 167-168 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 164-165</p>
<p>178 50歳の男性。歯内からの出血を主訴として来院した。歯周組織検査後、スケーリングを行うよう歯科医師から指示を受けた。実歯部位のエックス線画像(別冊No.23)を別に示す。 矢印で示した歯肉縁下歯石の除去をサイドポジションで頬側から行うときに使用するグレイシータイプキュレットはどれか、1つ選べ。</p> <p>a #11 b #12 c #13 d #14</p> <p>▶keyword: グレイシータイプキュレット, エックス線画像</p>	<p>解答: c</p> <p>写真は上顎右側臼歯部のエックス線画像である。矢印で示しているのは上顎右側第一大臼歯の遠心部に沈着している歯石である。臼歯部遠心の歯石を除去するのに適しているグレイシータイプキュレットは、頬側からの場合は#13、口蓋側からの場合は#14である。</p> <p>a× #11は臼歯部近心用である。 b× #12は臼歯部近心用である。 c○ d× #14は口蓋側からスケーリングを行う場合に使用する。</p> <p>▶文庫: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 167-176 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 164-165</p>

午後問題	解答・解説
<p>179 超音波スケーラーで歯周ポケット内の洗浄を行うことになった。</p> <p>操作法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a インサートチップは歯根面の1箇所に沿わせ操作する。</p> <p>b インサートチップの先端2mm程度の側面を用いて操作する。</p> <p>c 水量はインサートチップの先端から噴霧状に出る状態に調整する。</p> <p>d ポビドンヨード溶液を希釈してポケット洗浄に用いることもある。</p> <p>▶keyword: 歯周ポケット内洗浄(ポケットイリゲーション)</p>	<p>解答: b, d</p> <p>超音波スケーラーを用いた歯周ポケット内洗浄(ポケットイリゲーション)は、注水による歯石片などの除去に加え、超音波スケーラーのキャビテーション効果により、歯根面を傷つけずに表面の付着物を効果的に除去できる。歯根面や歯周ポケット内の細菌を取り除くことで、歯周ポケット内の環境改善に有効である。</p> <p>a × 超音波スケーラーのインサートチップは、歯根面をできるだけなでるように上下左右のゆっくりとしたストロークで数回動かす。</p> <p>b ○</p> <p>c × 超音波スケーラーの水量はインサートチップの先端から線状に出る状態に調整することが望ましい。インサートチップにはさまざまな種類があるが、専用のインサートチップを選択し操作する。</p> <p>d ○ 0.1%ポビドンヨード溶液、0.01%グルコン酸クロルヘキシジン溶液などの洗浄・消毒薬を使用する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 177 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 162-163, 177</p>
<p>180 機器の写真(別冊No.24)を別に示す。歯面清掃器として炭酸水素ナトリウムを用い、歯肉縁上の沈着物を除去するときの使用法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ノズルの先端は歯面から2~5mm離す。</p> <p>b ノズルで大きな円を描くように使用する。</p> <p>c 臼歯部頬側は歯面に対して60度の角度で噴射する。</p> <p>d 咬合面は咬合平面に対して90度の角度で噴射する。</p> <p>▶keyword: 歯面清掃器</p>	<p>解答: a, d</p> <p>写真は歯肉縁上用のノズルを装着した歯面清掃器である。歯面清掃器は、空気、水と歯面清掃剤(炭酸水素ナトリウム、グリシン、エリスリトールなど)を用いて歯面に粒子を噴射させ、プラークや色素沈着を除去する機器である。歯肉縁上周辺で炭酸水素ナトリウムを使用する場合、ノズルは歯面から2~5mm離して切縁方向に向け噴射する。グリシン、エリスリトールを歯肉縁下に使用の場合は、歯肉縁下用のノズルを装着し、歯面から2~5mm離して30~60度の角度で噴射する。</p> <p>a ○</p> <p>b × 一箇所に噴射を集中させずに、小さな円を描くように使用する。</p> <p>c × 臼歯部頬側、舌・口蓋側は歯面に対して80度の角度で噴射する。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 203-206</p>
<p>181 キュレットスケーラーのシャープニングの図を示す。</p>  <p>砥石の当て方で正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▶keyword: シャープニング</p>	<p>解答: a</p> <p>刃部のフェイスの角度から、①と④はユニバーサルタイプキュレット、②と③はグレーシートタイプキュレットのシャープニングを示している。グレーシートタイプキュレット、ユニバーサルタイプキュレットのシャープニングは、どちらもスケーラー固定法で行う。フェイスを床面と平行にし、砥石をラテラルサーフェイスに適合するように砥石を10~20度傾けて、フェイスと砥石のなす角度を100~110度にする。2cm程度の幅で、砥石を上から下にダウンストロークで研ぎ、スラッジが出たら砥石を下げて終わる。</p> <p>a ○</p> <p>b × ハンドルを傾斜し、フェイスを床と平行にしてシャープニングを行う。</p> <p>c × 砥石が刃部ではない側に当てられている。</p> <p>d × フェイスと砥石のなす角度が90度で当てられている。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 191, 194-195 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 37-39</p>

午後問題	解答・解説										
<p>182 PMTCで使用する器具の写真(別冊No.25)を別に示す。</p> <p>この器具の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉部隣接面の清掃に適している。</p> <p>b 歯内のマッサージ効果が期待できる。</p> <p>c チップ先端を歯肉縁下に挿入して操作する。</p> <p>d 往復運動するコントラアングルハンドピースにチップを装着する。</p> <p>▶keyword: エバチップ、PMTC</p>	<p>解答: a, d</p> <p>写真はエバチップが装着されたコントラアングルハンドピース(往復運動)である。歯肉部にフッ化物配合ペーストを注入後、歯肉乳頭を下げないようにチップを近心面または遠心面に適合させ、適切なスピードで使用する。PMTCは、患者自身によるセルフケアではコントロールしにくく、プラーク除去が困難な部位を集中的に処置することを目的としている。</p> <p>a ○</p> <p>b × プラークの除去には適しているが、歯内のマッサージ効果は期待できない。</p> <p>c × チップの先端をやや歯冠方向に向け、チップ底辺で歯肉乳頭を下げながら側面を近心面または遠心面に適合させて操作する。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 201-203</p>										
<p>183 33歳の男性。う蝕予防を希望して来院した。う蝕活動性試験の結果を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1481 656 1783 830"> <thead> <tr> <th>試験名</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RDテスト*</td> <td>ピンク</td> </tr> <tr> <td>Dentobuff®-Strip</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>唾液分泌速度</td> <td>1.3 mL/min</td> </tr> <tr> <td>Dentocult®-SM</td> <td>>10⁶ CFU/mL</td> </tr> </tbody> </table> <p>得られた情報はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 乳酸菌数が多い。</p> <p>b 唾液の粘稠度が低い。</p> <p>c グラム陽性菌数が多い。</p> <p>d 唾液分泌量は正常である。</p> <p>▶keyword: う蝕活動性試験</p>	試験名	結果	RDテスト*	ピンク	Dentobuff®-Strip	黄	唾液分泌速度	1.3 mL/min	Dentocult®-SM	>10 ⁶ CFU/mL	<p>解答: c, d</p> <p>う蝕活動性試験は、今後新たなう蝕が発生する可能性が高いか、現在のう蝕が進行する可能性が高いかを予測するために行う。試験結果は、う蝕予防プログラムの立案や評価、リコール間隔や治療方針の決定、プラークコントロールの動機づけなど幅広く活用することができる。</p> <p>a × この結果から乳酸菌数はわからない。乳酸菌数の測定にはHadley test, Rogosa test, Dentocult®-LBなどの試験を行う必要がある。Dentocult®-SMはStreptococcus mutans菌数を測定する。結果はClass 3 (>10⁶ CFU/mL)で、菌数が非常に多いことを示している。</p> <p>b × この結果から唾液の粘稠度はわからない。唾液の粘稠度を測定するためには唾液粘稠度テストを行う必要がある。Dentobuff®-Stripは唾液緩衝能を測定する。結果は黄色で、唾液緩衝能が低いことを示している。</p> <p>c ○ RDテスト*は唾液中のグラム陽性菌数を調べる試験である。色がピンク色に近いほどグラム陽性菌数は多い。</p> <p>d ○ 1分間の唾液分泌量が1.0 mL以上は正常(Normal)である。0.7 mL未満が非常に少ない、0.7~1 mL未満は少ないと評価する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 140-149 歯科衛生学シリーズ 保健衛生学 149-151</p>
試験名	結果										
RDテスト*	ピンク										
Dentobuff®-Strip	黄										
唾液分泌速度	1.3 mL/min										
Dentocult®-SM	>10 ⁶ CFU/mL										
<p>184 3歳の女兒。3歳児歯科健康診査でO型と判定され、保護者と来院した。保護者の希望により、リン酸酸性フッ化ナトリウムゲルによるフッ化物歯面塗布を行った。</p> <p>次回の来院時期として適切なものはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 1週間後</p> <p>b 2週間後</p> <p>c 1か月後</p> <p>d 6か月後</p> <p>▶keyword: リン酸酸性フッ化ナトリウム、フッ化物歯面塗布</p>	<p>解答: d</p> <p>リン酸酸性フッ化ナトリウムゲルは、現在最もよく使用されている製剤で、2%フッ化ナトリウムにリン酸を加えて酸性にし、歯質との反応性を高めたものである。形状には、溶液、フォーム、ゲルがあり、通常、年1~2回の塗布を行う。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ○ 3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型におけるO型は、う蝕がない状態を示し、今後のう蝕リスクも比較的低いと考えられる。そのため塗布間隔を極端に短縮する必要はなく、半年後以降を目処にリコールする。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 209-210 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 51-52</p>										

午後問題	解答・解説
185 0.05%のフッ化ナトリウム溶液10 mLに含まれるフッ化物イオン量はどれか、1つ選べ。 a 1.0 mg b 2.25 mg c 10 mg d 22.5 mg	解答：b 0.05%フッ化ナトリウムのフッ化物イオン濃度は225 ppmである。225 ppm=225 mg/1000 mLなので、10 mLでは2.25 mgのフッ化物イオン量となる。 a × b ○ c × d × 文獻：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 217-223 歯科衛生学シリーズ 保健生化学 173-177 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 53-54
▶keyword: フッ化物洗口、フッ化物イオン量	
186 2歳の女児。歯科健診に訪れた。歯科医師が確認したところ、上顎乳歯切歯頸部に脱灰が認められたが、実質欠損はない。この女児に対する適切な対応はどれか、2つ選べ。 a 小窩裂溝充填 b フッ化物洗口 c フッ化物歯面塗布 d フッ化物配合歯磨剤の使用	解答：c、d 実質欠損を伴わない初期のう蝕の場合、直接フッ化物を作用させることにより再石灰化が期待できる。ただし、この女児は2歳児であるためフッ化物洗口は適切でない。 a × 小窩裂溝充填の適応歯は、萌出直後で、臼歯の小窩裂溝や頸切歯口蓋側面の盲孔などう蝕罹患傾向の高い形態をしている歯である。 b × フッ化物洗口は、洗口が可能な4歳以上に適した方法である。 c ○ フッ化物歯面塗布は歯の萌出直後から応用可能である。 d ○ 歯の萌出後はフッ化物配合歯磨剤の使用が推奨されている。 文獻：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 234-237
▶keyword: ライフステージに応じたフッ化物応用	
187 6歳の女児。う蝕予防を希望し、母親と一緒に来院した。口腔内写真(別冊No. 26A)と器具の写真(別冊No. 26B)を別に示す。歯科医師より上顎右側第一大臼歯の小窩裂溝充填を行うよう指示があった。使用する器具はどれか、2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答：c、d 写真の口腔内は上顎右側第一大臼歯が半萌出である。半萌出歯はラバーダムをかけられないため、レジン系の充填材は使用できない。そのため、セメント系の充填材を使用することになる。 a × ①はラバーダム防湿に用いる器材である。半萌出の歯にはラバーダム防湿を行うことは不可能である。 b × ②は酸処理材である。セメント系の充填材を使用する際、酸処理は不要である。 c ○ ③はマイクロブラシである。セメント系充填材の充填後にパーニッシュを塗布する際に使用する。 d ○ ④は紙練板である。セメント系充填材練和時に使用する。 文獻：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 236-242
▶keyword: 小窩裂溝充填、セメント系充填材	

午後問題	解答・解説										
歯科保健指導論											
188 35歳の男性。歯磨き時の出血を訴えて来院した。歯科医師より歯科保健指導を行うよう指示された。口腔内を観察すると全顎的にブラークが付着し、歯肉の発赤・腫脹も認められた。染め出しを行ったところPCRは85%であった。普段の歯磨きについて確認すると、1日3回、水方法で磨いており、歯ブラシ以外の用具は使用していないとのことであった。ブラークを効果的に除去できていないと考えられることから、スクラビング法とデンタルフロスの使用方法について指導した。 SOAP形式での業務記録で、Aに記載する内容はどれか、1つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答：c SOAPは、問題志向型診療録で用いる記述方式である。S (Subjective Data) は主観的情報で、対象者の自覚症状、対象者の言葉で表現された対象者から聴取した情報である。O (Objective Data) は客観的情報で、主観的情報に対する専門家による多角的所見、検査結果や歯科衛生士による観察結果である。A (Assessment) はアセスメントで、SとOから歯科衛生士が考え、判断したことである。P (Plan) はプランで、歯科衛生士が判断したことに基づいた治療方針、計画したこと、実施したことである。 a × ①は患者の主訴であり、Sに記載する。 b × ②は検査結果で、Oに記載する。 c ○ ③はSとOから歯科衛生士が判断したこと、Aに記載する。 d × ④はアセスメントに基づいて実施した内容で、Pに記載する。 文獻：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 86 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 34-39 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 61										
▶keyword: 業務記録、POS、SOAP											
189 歯垢染色後の口腔内写真(別冊No. 37)を別に示す。 OHIのDIで歯面を評価したときの歯面と評価の組合せで正しいのはどれか、1つ選べ。 a 上顎中切歯—0点 b 上顎側切歯—1点 c 下顎側切歯—2点 d 下顎大歯—3点	解答：b OHI (Oral Hygiene Index) は、ブラークなどの軟性付着物の付着状態を示すDI (Debris Index) と歯石の付着状態を示すCI (Calculus Index) から、口腔衛生状態を評価する。DIのスコアの判定基準を下図に示す。  (スコア) 0 1 2 3 <table border="1" data-bbox="1907 1246 2593 1420"> <thead> <tr> <th>スコア</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>デブリ付着やほかの外來性沈着物(色素も含める)が認められない。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>歯面の1/3以下にデブリが付着、または外來性沈着物が存在する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>歯面の1/3~2/3にデブリが付着している。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>歯面の2/3以上にデブリが付着している。</td> </tr> </tbody> </table> デブリの付着状態とスコア (DI) a × 1点である。 b ○ 1点である。 c × 1点である。 d × 2点である。 文獻：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 126-127	スコア	判定基準	1	デブリ付着やほかの外來性沈着物(色素も含める)が認められない。	2	歯面の1/3以下にデブリが付着、または外來性沈着物が存在する。	3	歯面の1/3~2/3にデブリが付着している。	4	歯面の2/3以上にデブリが付着している。
スコア	判定基準										
1	デブリ付着やほかの外來性沈着物(色素も含める)が認められない。										
2	歯面の1/3以下にデブリが付着、または外來性沈着物が存在する。										
3	歯面の1/3~2/3にデブリが付着している。										
4	歯面の2/3以上にデブリが付着している。										
▶keyword: OHI											

午後問題	解答・解説						
<p>190 令和4年度歯科疾患実態調査で前回調査(平成28年)と比較して減少したのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 55歳以上のう歯をもつ者の割合 b 80歳以上の20本以上の歯を有する者の割合 c 15歳以上の1人平均DMF歯数(DMFT指数) d 75歳以上の4mm以上の歯周ポケットをもつ者の割合</p> <p>▶keyword: 歯科疾患実態調査、う歯、DMF歯数(DMFT指数)</p>	<p>解答: c</p> <p>歯科疾患実態調査は、歯科保健状況を把握するために5年ごとに実施されている。平成28年調査後は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年に実施された。</p> <p>a × 永久歯のう歯有病者率の年次推移では、35～44歳頃までは減少傾向にあるが、55歳以上ではすべての年代で増加傾向を示している。</p> <p>b × 8020達成者の割合は、75歳以上85歳未満の20本以上歯を有する者の割合から推計される。令和4年の8020達成者率は51.6%であり、平成28年の51.2%よりわずかに増加していた。</p> <p>c ○ DMF歯数(DMFT指数)は永久歯のう歯の指標である。年次推移をみると各年齢で減少傾向にある。</p> <p>d × 歯周ポケット(4mm以上)を有する者の割合は加齢とともに増加する。35～74歳の年齢階級においては前回よりも減少しているが、75歳以上の年齢階級では50.6%から56.0%に増加した。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 保健衛生学 120-123 厚労省 HP 令和4年度歯科疾患実態調査 結果の概要 https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf</p>						
<p>191 70歳の女性。定期健康診査のために来院した。5年前に副鼻腔を炎症し、鼻痔などの後遺症はないが、細かい操作はやや困難なときがあるという。上顎には部分床義歯、下顎にはブリッジを装着している。歯垢染色後のO'LearyのPCRの結果と口腔清掃習慣を表に示す。</p>  <table border="1"> <tr> <td>歯磨き習慣</td> <td>3回/日、3分/回</td> </tr> <tr> <td>歯ブラシ以外の使用清掃用具</td> <td>デンタルフロスを使用しているがうまく使えないことがある。</td> </tr> <tr> <td>歯磨き方法</td> <td>水平法</td> </tr> </table> <p>適切な口腔清掃指導はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯磨きにかかる時間を長くすると磨き残しが減少します。 b 歯と歯の間のプラーク除去には歯間ブラシを使いましょう。 c 入れ歯の金属製の留め具の清掃にはタフトブラシを用いると効果的です。 d 細かく動かすスクラッピング法を用いると歯部のプラークまで除去できます。</p> <p>▶keyword: ブラッシング法、歯間ブラシ、タフトブラシ、IADL</p>	歯磨き習慣	3回/日、3分/回	歯ブラシ以外の使用清掃用具	デンタルフロスを使用しているがうまく使えないことがある。	歯磨き方法	水平法	<p>解答: b, c</p> <p>O'LearyのPCRの結果から、歯間部とブリッジのボンティック周囲、歯歯にプラークの付着を認めた。歯磨き回数や1回あたりにかける時間に大きな問題はないことから、適切な清掃用品の選択とブラッシング法への指導が必要となる。</p> <p>①と⑤が欠損なので、②が部分床義歯の歯歯、④がブリッジの支台歯と考えられる。</p> <p>a × 歯磨きの時間を延長したからといって、磨き残しが減少するとは限らない。</p> <p>b ○ 歯間ブラシは、歯間部に十分なスペースがある場合や、欠損歯、孤立歯の周囲などの通常の歯ブラシでは清掃困難な部位の清掃に使用する。歯間ブラシのサイズの決定、指導を行う必要がある。</p> <p>c ○ 欠損歯や孤立歯の周囲などの部分磨きのために使用する。義歯の歯歯やブリッジのボンティック周囲に磨き残しを認めるため、タフトブラシの使用を勧める。</p> <p>d × IADL(手段的日常動作)の状態によっては、細かいブラッシング操作が困難であるため、小さざみに動かす操作が必要なスクラッピング法は適切ではない。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 126、246-260</p>
歯磨き習慣	3回/日、3分/回						
歯ブラシ以外の使用清掃用具	デンタルフロスを使用しているがうまく使えないことがある。						
歯磨き方法	水平法						

午後問題	解答・解説																											
<p>192 60歳の女性。脳血管障害で集中治療室に入院しており、経口挿管をし、人工呼吸器で管理中である。病棟の看護師より、口腔からの出血があり、ブラッシングができないとのことから口腔衛生管理を依頼された。口腔内のアセスメントを表に示す。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>OHATスコア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>口腔</td> <td>1</td> <td>乾燥を認める</td> </tr> <tr> <td>舌</td> <td>1</td> <td>舌苔の付着を認める</td> </tr> <tr> <td>歯肉・粘膜</td> <td>2</td> <td>歯肉の腫脹を認め、出血がある</td> </tr> <tr> <td>唾液</td> <td>1</td> <td>少量の唾液で口腔内に乾燥している</td> </tr> <tr> <td>残存歯</td> <td>1</td> <td>3本以上の歯の存在</td> </tr> <tr> <td>義歯</td> <td>無</td> <td>義歯は使用していない</td> </tr> <tr> <td>口腔清掃</td> <td>2</td> <td>多くの歯面と粘膜の付着を認める</td> </tr> <tr> <td>歯周</td> <td>0</td> <td>疼痛を訴えず歯肉なし</td> </tr> </table> <p>必要と考えられるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 保湿剤 b 粘膜ブラシ c デンタルフロス d フッ化物配合歯磨剤</p> <p>▶keyword: 口腔粘膜、OHAT</p>		OHATスコア		口腔	1	乾燥を認める	舌	1	舌苔の付着を認める	歯肉・粘膜	2	歯肉の腫脹を認め、出血がある	唾液	1	少量の唾液で口腔内に乾燥している	残存歯	1	3本以上の歯の存在	義歯	無	義歯は使用していない	口腔清掃	2	多くの歯面と粘膜の付着を認める	歯周	0	疼痛を訴えず歯肉なし	<p>解答: a, b</p> <p>経口挿管による人工呼吸器管理では、口腔乾燥や口腔粘膜から出血など粘膜の炎症や損傷を受けやすい。</p> <p>口腔アセスメントシートはいくつか開発されているが、OHATは自分の口腔内の問題を表出できないような要介護高齢者の口腔の問題をみつけて対応するために開発された評価ツールである。OHATを用いた口腔管理の実施は多職種連携においても重要である。</p> <p>a ○ 口腔乾燥の緩和や、保湿による口腔粘膜状態の改善のために使用する。保湿剤の使用により、さらなる口腔内の汚染につながることもあるため、留意する必要がある。</p> <p>b ○ 粘膜ブラシは、歯肉の炎症部位や口蓋、頬粘膜など口腔粘膜全体の清掃に使用する。軟毛、密の穂毛であるため、口腔内に炎症がある場合にも使用できる。</p> <p>c × 経口挿管管理中は、口腔内に挿管チューブが残存しており、口腔内での操作が制限されるため、デンタルフロスの使用は困難なケースが多い。</p> <p>d × OHATでは残存歯1のスコアであること、経口挿管中で口腔内の出血があることから、ブラッシングが困難な状況であり、フッ化物配合歯磨剤は適していない。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 142、299-300</p>
	OHATスコア																											
口腔	1	乾燥を認める																										
舌	1	舌苔の付着を認める																										
歯肉・粘膜	2	歯肉の腫脹を認め、出血がある																										
唾液	1	少量の唾液で口腔内に乾燥している																										
残存歯	1	3本以上の歯の存在																										
義歯	無	義歯は使用していない																										
口腔清掃	2	多くの歯面と粘膜の付着を認める																										
歯周	0	疼痛を訴えず歯肉なし																										
<p>193 健康日本21(第三次)の栄養・食生活に関する目標で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 食塩摂取量は7g未満とする。 b 野菜の摂取量は平均350g以上とする。 c 果物の摂取量は1日あたり150gを上限とする。 d BMI25以上を基準とした適正体重者の割合を増加させる。</p> <p>▶keyword: 健康日本21(第三次)、目標</p>	<p>解答: a, b</p> <p>健康日本21(第三次)は「すべての国民が穏やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンにあげて取り組まれている。第二次同様、具体的な目標が各項目であげられている。</p> <p>a ○ 食塩(ナトリウム)の摂取量を男女ともに1日平均7gに抑えることを数値目標として設定している。減塩は高血圧予防や循環器疾患対策における最重要課題の一つである。</p> <p>b ○ 野菜の摂取量は、平均350g以上を目標にしている。日本人の野菜摂取量は長年不足傾向にあり、生活習慣病予防の観点から重要な指標とされる。</p> <p>c × 果物摂取量の目標は平均200g/日以上である。</p> <p>d × 適正体重の基準はBMI18.5以上25未満であり、BMI25以上は肥満に該当する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 4、349 歯科衛生学シリーズ 栄養学 62-64</p>																											

午後問題	解答・解説
<p>194 34歳の女性。強い口臭を主訴に来院した。1年前より昼夜を問わず口臭を自覚しているという。口臭検査では、官能検査および機器による測定値はいずれも検出閾値以下であり、う蝕や歯周炎などの口腔疾患および舌苔は認められなかった。</p> <p>適切な対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 別の日に再検査を行う。 b 検査結果の説明をする。 c 消化器内科の受診を勧める。 d 生理的口臭の一種であることを説明する。</p> <p>▶keyword: 口臭診断の分類</p>	<p>解答: a, b</p> <p>口臭症は、真性口臭症(生理的口臭と病的口臭)、仮性口臭症、口臭恐怖症に分類される。このうち明らかな口臭が認められるのは真性口臭症である。仮性口臭症は、明らかな口臭と認められないが口臭を訴える患者で、検査結果を含めた説明で納得し改善が期待できる状態をいう。口臭恐怖症は、明らかな口臭が認められないにもかかわらず口臭があると訴え、検査結果の説明では納得せず、治療による改善が期待できない状態にある場合をいう。この女性の場合、口臭が認められないのに口臭を訴えているので、仮性口臭症または口臭恐怖症が疑われる。</p> <p>a○ b○ c× 消化器系疾患を疑い消化器内科の受診を勧めるのは、全身由来の病的口臭を有する場合である。 d× 生理的口臭では、明らかな口臭が検出される。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 119-122</p>
<p>195 特定保健用食品に含まれる成分と機能の表示との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a オリゴ糖——血圧が高めの人に適しています。 b パラチノース——むし歯の原因になりにくいです。 c 大豆イソフラボン——体脂肪が気になる人に適しています。 d 難消化性デキストリン——食後の血糖値が気になる人に適しています。</p> <p>▶keyword: 特定保健用食品、トクホ</p>	<p>解答: b, d</p> <p>特定保健用食品(トクホ)とは、からだの生理学的機能などに影響を与える保健機能成分(関与成分)を含み、その摂取により、特定の保健の目的が期待できる旨の表示(保健の用途の表示)をする食品である。特定保健用食品として販売するには、食品ごとに食品の有効性や安全性について国の審査を受け、消費者庁長官の許可を受ける必要がある。</p> <p>a× オリゴ糖は、「お腹の調子を整えます。」などと表示される。 b○ c× 大豆イソフラボンは、「骨のカルシウムの維持に役立つので、骨の健康が気になる方に適しています」などと表示される。 d○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 287 歯科衛生学シリーズ 栄養学 91-92</p>
<p>196 国民健康・栄養調査による脂質、炭水化物、カルシウムおよびエネルギーの摂取量の年次推移(1946年の数値を100としたもの)を図に示す。</p> <p>炭水化物はどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 国民健康・栄養調査、栄養素</p>	<p>解答: d</p> <p>国民健康・栄養調査は、国民の健康増進を推進するために、厚生労働省が健康増進法に基づいて、1946(昭和21)年以降毎年実施している。栄養素等摂取量の年次推移において、戦後の1946年以降、食生活の変化や食環境の発展により、動物性のタンパク質や脂質の摂取量が急激に増加した。その一方で、米類の摂取量が著しく減少したことに伴い、炭水化物の摂取量が減少するなど、全体的なエネルギー摂取量は大きく変化していないが、栄養バランスの乱れが顕著になり、肥満や糖尿病、高血圧、脂質異常症といった生活習慣病のリスクが増加している。</p> <p>a× ①は脂質である。脂質の摂取量は1946年に比べて約4倍以上に増加し、近年も増加傾向にある。 b× ②はカルシウムである。カルシウムの摂取量は1946年に比べて約2倍に増加しているが、近年は減少傾向にある。 c× ③はエネルギーである。エネルギーの摂取量は1946年に比べて大きく変化しておらず、近年は現状維持で推移している。 d○ ④は炭水化物である。炭水化物の摂取量は1946年に比べて減少しており、ほぼ一貫して減少傾向にある。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 栄養学 6</p>

午後問題	解答・解説
<p>197 20歳の女性。BMIは20である。1週間の食事摂取記録をとり、食事バランスガイドで1日平均摂取SV数をみたところ「主食5、副菜4、主菜3、牛乳・乳製品2、果物2」であった。</p> <p>摂取したほうがよいのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 納豆 b 冷奴 c ヨーグルト d ほうれんそうのお浸し</p> <p>▶keyword: 食事バランスガイド</p>	<p>解答: d</p> <p>食事バランスガイドは、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかのわかる食事量の目安である。「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」「果物」の5グループの料理や食品を組み合わせて摂れるよう、コマに例えて、それぞれの適量をイラストでわかりやすく示している。</p> <p>成人では「主食」が5~7、「副菜」が5~6、「主菜」が3~5、「牛乳・乳製品」が2、「果物」が2である。対象者の場合、副菜が4で不足している。</p> <p>a× 大豆料理なので主菜である。 b× 大豆料理なので主菜である。 c× 牛乳・乳製品である。 d○ 野菜料理なので副菜である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 栄養学 75-76</p>
<p>198 75歳の女性。家族から「最近、食事に時間がかかり、食事にむせることが増えた。食事内容や注意など教えてほしい」と相談があった。</p> <p>適切な対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 味付けは濃いめにする。 b 口の中でペースト状になるものを選ぶ。 c 大きなスプーンを使用し、一口量を多くする。 d 食事の際は椅子に座らせ、足裏は全面床につける。</p> <p>▶keyword: 高齢者、嚥下困難者</p>	<p>解答: b, d</p> <p>高齢者の健康を維持するのに食事は重要である。食事に時間がかかるようになったり、食事にむせることが増えた人への指導は食事時の姿勢や食品の形態などに注意する必要がある。また、摂食嚥下訓練を実施することも選択肢の一つとなる。摂食嚥下機能の低下の状態は個人によってさまざまなため、対象者をよく観察し、それぞれに適した対応をする必要がある。</p> <p>a× 味付けは薄味で、本人の好みの食材を入れると飲み込みやすい。 b○ 咀嚼時に口腔内でバラバラになるものは嚥下しづらい。咀嚼後まとまりのある食材を選ぶ。 c× 大きなスプーンで一口量を多くすると咀嚼に時間がかかり、嚥下しにくい。 d○ 摂食嚥下時に足裏を全面しっかり床につけるようにする。不適切な姿勢は、むせや食べこぼし、誤嚥を引き起こす危険性がある。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 359 歯科衛生学シリーズ 栄養学 143 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 103-104</p>

午後問題	解答・解説																																	
<p>199 小学校高学年に集団歯科保健指導を行うことになった。講話の内容として適切なのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 歯の機能とよく噛むことの大切さについて</p> <p>b 第一大臼歯の歯の生え方とむし歯について</p> <p>c 歯肉炎は体の病気と関係があることについて</p> <p>d 歯肉炎の原因となるのは歯肉に近い歯の汚れであることについて</p> <p>▶keyword: 発達、小学校、歯の萌出</p>	<p>解答: a, d</p> <p>小学生では、低学年、中学年、高学年で発達段階が異なるため、その発達段階を理解して、指導内容を考える必要がある。</p> <p>a○ 第二大臼歯が萌出し、すべての永久歯が噛み合う時期であるため、咀嚼機能と歯の役割について理解するのが望ましい。</p> <p>b× 第一大臼歯の萌出は低学年であり、タイミングとして不適切である。</p> <p>c× 歯肉炎の基本的な知識の習得が必要な時期であるため、歯周病と全身疾患との関連についてはタイミングが不適切である。</p> <p>d○ 永久歯が萌出してくる時期であるため、う蝕予防に加え、歯肉炎に関する知識の習得が必要である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 404-407、409-411</p>																																	
<p>200 事業所で40～50歳の特定健康診査受診者へ、歯科衛生士が30分ほどの講話をすることになった。受診者に実施する「標準的な質問票」の結果の一部を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>回答</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在の薬の使用の有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>血圧を下げる薬</td> <td>はい</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>血糖を下げる薬またはインスリン注射</td> <td>はい</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>コレステロールや中性脂肪を下げる薬</td> <td>はい</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>食事や飲み物で歯を白くするものや歯を黒くするものを使用しているかどうか</td> <td>何でもかんでも白くできる</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歯を白くでき、かみあわすなど気になる部分があり、かみにくいことがある</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほとんどかめない</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか</td> <td>毎日</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時々</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほとんど摂取しない</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>この結果をもとに講話の内容を設定する場合、適切なのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a 喫煙習慣と歯周病について</p> <p>b 食事摂取基準と口腔機能について</p> <p>c HbA1cの値と歯科治療との関連について</p> <p>d 咀嚼などの口腔機能と栄養摂取について</p> <p>▶keyword: 特定健康診査・特定保健指導</p>	質問項目	回答	%	現在の薬の使用の有無			血圧を下げる薬	はい	15	血糖を下げる薬またはインスリン注射	はい	3	コレステロールや中性脂肪を下げる薬	はい	15	食事や飲み物で歯を白くするものや歯を黒くするものを使用しているかどうか	何でもかんでも白くできる	30		歯を白くでき、かみあわすなど気になる部分があり、かみにくいことがある	40		ほとんどかめない	10	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか	毎日	10		時々	60		ほとんど摂取しない	25	<p>解答: c, d</p> <p>事業所を対象に、2008年より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳以上には特定健康診査・特定保健指導が実施されている。保険者は健康診査受診者に「情報提供」を行うなどの健康的な生活習慣の維持のためのポピュレーションアプローチによる支援を行う必要がある。特定健康診査には「標準的な質問票(22項目)」があり、2018年からは歯・口腔について「かむこと」「甘い飲み物」などが追加された。</p> <p>a× 質問項目に喫煙に関する情報がないので、講話内容としては適切でない。</p> <p>b× 質問項目に食事摂取と口腔機能に関する情報がないので、講話内容としては適切でない。</p> <p>c○ 「血圧を下げる薬」使用が15%、「血糖を下げる薬、またはインスリン注射」使用が3%、「コレステロールや中性脂肪を下げる薬」使用が15%と、生活習慣病に関連した治療を受けている者が多くはないが一定数あり、間食習慣のあるものの割合も75%であることから、歯周病と糖尿病との関連についての基礎的知識の習得と糖尿病の指標となるHbA1cに対する歯科治療の効果などの講話の必要性は高い。</p> <p>d○ 「かみにくい」「ほとんどかめない」が50%であり、咀嚼に関する課題を抱えている者も多い。また口腔機能の低下は50歳代の壮年期からも予防が重要であり、口腔機能に関する理解は重要である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 418-419 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 284-288</p>
質問項目	回答	%																																
現在の薬の使用の有無																																		
血圧を下げる薬	はい	15																																
血糖を下げる薬またはインスリン注射	はい	3																																
コレステロールや中性脂肪を下げる薬	はい	15																																
食事や飲み物で歯を白くするものや歯を黒くするものを使用しているかどうか	何でもかんでも白くできる	30																																
	歯を白くでき、かみあわすなど気になる部分があり、かみにくいことがある	40																																
	ほとんどかめない	10																																
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか	毎日	10																																
	時々	60																																
	ほとんど摂取しない	25																																

午後問題	解答・解説																				
歯科診療補助論																					
<p>201 アネロイド型血圧計による聴診法実施時の注意点で正しいのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a マンシュエツは強く巻く。</p> <p>b 上腕の測定位置は肩と同じ高さにする。</p> <p>c 上腕動脈の拍動は肘を伸展させて触知する。</p> <p>d 送気球の操作時は第5指の側面をテーブルなどに密着させる。</p> <p>▶keyword: 生体検査、アネロイド型血圧計、聴診法</p>	<p>解答: c, d</p> <p>アネロイド型血圧計は、聴診器により脈音を聴き、マンシュエツ内の空気圧が表示される目盛りを読むことで、収縮期血圧と拡張期血圧を測定する。</p> <p>a× マンシュエツの巻き方は強すぎると実際の血圧より低く表示されやすいため、指1～2本分の余裕をもたせて巻く。逆に緩すぎると実際よりも高く表示される。</p> <p>b× 上腕の測定部位は心臓と同じ高さになるように調整する。</p> <p>c○</p> <p>d○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 60-62</p>																				
<p>202 消毒薬の抗菌スペクトルと適応対象を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>消毒薬</th> <th>HIV</th> <th>手指・皮膚</th> <th>粘膜</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>有効</td> <td>不適</td> <td>不適</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>有効</td> <td>使用可能</td> <td>使用可能</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>有効</td> <td>使用可能</td> <td>不適</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>無効</td> <td>使用可能</td> <td>使用可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>③はどれか、1つ選べ。</p> <p>ただし、①～④はa～dのいずれかに該当する。</p> <p>a グルタラール</p> <p>b ポビドンヨード</p> <p>c 消毒用エタノール</p> <p>d ベンゼトニウム塩化物</p> <p>▶keyword: 消毒薬</p>	消毒薬	HIV	手指・皮膚	粘膜	①	有効	不適	不適	②	有効	使用可能	使用可能	③	有効	使用可能	不適	④	無効	使用可能	使用可能	<p>解答: c</p> <p>消毒用エタノールは中水準消毒薬で、手指や手術野、器具の消毒に使用されるが、粘膜や創傷面には使用できない。</p> <p>a× ①である。消毒薬のなかでは最も強い殺菌作用を有する高水準消毒薬である。手指や皮膚、粘膜には使用禁忌であるが、内視鏡など医療機器の消毒に用いる。</p> <p>b× ②である。中水準消毒薬で、生体への刺激が弱く、副作用も比較的小さいため生体の消毒に用いられる。ただし、ヨード過敏症、甲状腺機能に異常のある患者には慎重に用いる。または使用禁忌である。</p> <p>c○</p> <p>d× ④である。低水準消毒薬で、金属に対する腐食性もないので、手指や器具の消毒に広く使用されている。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 32</p>
消毒薬	HIV	手指・皮膚	粘膜																		
①	有効	不適	不適																		
②	有効	使用可能	使用可能																		
③	有効	使用可能	不適																		
④	無効	使用可能	使用可能																		
<p>203 ワックスと用途の組合せで正しいのはどれか、2つ選べ。</p> <p>a シートワックス—補綴装置のろう付け時の固定</p> <p>b インレーワックス—鑄造用原型材</p> <p>c パラフィンワックス—咬合堤</p> <p>d ユーティリティワックス—鑄造クラスプなどの原型材</p> <p>▶keyword: ワックス</p>	<p>解答: b, c</p> <p>ワックスは、原型用、技工用、印象用などの用途で用いられる。ワックスの種類には、インレーワックス、レディキャストリングワックス、シートワックス、パラフィンワックス、スティッキーワックス、ボクシングワックス、ユーティリティワックス、バイトワックスがある。</p> <p>a× シートワックスは鑄造床の原型材として使用する。ろう付け時の固定はスティッキーワックスを用いる。</p> <p>b○ インレーワックスは鑄造用原型材として使用する。</p> <p>c○ パラフィンワックスは主に咬合堤として使用する。</p> <p>d× ユーティリティワックスは印象用トレー周縁の修正に使用する。鑄造クラスプの原型はレディキャストリングワックスなどを使用する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 310-313 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 128-134 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題標準準拠 141</p>																				

午後問題	解答・解説
<p>204 27歳の女性。下顎左側第一大臼歯の歯内治療後の補綴装置として硬質レジン前装冠を製作することになった。支台歯マージン周囲の精密印象を目的とした印象採得を行う操作を図に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①接着剤の塗布 ②側歯トレーの挿入・圧接 ③個人トレーの挿入・圧接 ④側歯トレーのマージン部調整 ⑤レギュラータイプの印象材の注入 ⑥インジェクションタイプ印象材の注入</p> </div> <p>正しい順序はどれか。1つ選べ。</p> <p>a ①→④→⑤→②→⑥→③ b ④→⑤→⑥→②→③→① c ④→①→⑥→②→⑤→③ d ①→⑤→③→④→⑥→②</p> <p>▶keyword: 個人トレー、合成ゴム質印象材</p>	<p>解答: c</p> <p>前装冠を製作する際には、支台歯周囲のマージン部を精密に記録するため、個人トレーと側歯トレーを併用する必要がある。手順としては、まず側歯トレーを支台歯に適合させ、マージン部の調整を行い精度を確保する(④)。次に、印象材がトレーから剥がれないように、トレー内面に接着剤を塗布する(①)。その後、側歯トレーにインジェクションタイプ(低粘度)の印象材を注入し(⑥)、口腔内に圧接(②)することで支台歯のマージン部の精密印象を採得する。続いて、個人トレーにレギュラータイプの印象材(中等度粘度)を注入し(⑤)、その上に残ったインジェクションタイプの印象材を盛り上げてから口腔内に圧接し(③)、歯列全体の形態や咬合関係を記録する。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 271-272</p>

午後問題	解答・解説										
<p>205 セルフエッチングプライマーシステムのコンポジットレジン修復の手順を図に示す。</p> <div style="text-align: center;"> <p>窩洞形成</p> <p>↓</p> <p>セルフエッチングプライマー塗布</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;">①</div> <p>↓</p> <p>ボンディング(アドヒーズ)塗布</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;">①</div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;">②</div> <p>↓</p> <p>充填</p> </div> <p>①②に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">①</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 水 洗</td> <td>コンディショナー塗布</td> </tr> <tr> <td>b 光照射</td> <td>マイルドエアブロー</td> </tr> <tr> <td>c マイルドエアブロー</td> <td>光照射</td> </tr> <tr> <td>d コンディショナー塗布</td> <td>水 洗</td> </tr> </tbody> </table> <p>▶keyword: 接着システム、セルフエッチングプライマーシステム、コンポジットレジン修復</p>	①	②	a 水 洗	コンディショナー塗布	b 光照射	マイルドエアブロー	c マイルドエアブロー	光照射	d コンディショナー塗布	水 洗	<p>解答: c</p> <p>セルフエッチングプライマーシステムはプライマー中に酸性的接着性モノマーを配合し、歯質のエッチングとプライミングを同時に行い、ボンディング材を塗布する2ステップシステムである。リン酸水溶液を用いるシステムとは異なり、処理面を水洗する必要がない。手順は窩洞形成→セルフエッチングプライマー塗布→マイルドエアブロー→ボンディング(アドヒーズ)塗布→マイルドエアブロー→光照射→充填である。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 107-112 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 50-53</p>
①	②										
a 水 洗	コンディショナー塗布										
b 光照射	マイルドエアブロー										
c マイルドエアブロー	光照射										
d コンディショナー塗布	水 洗										
<p>206 50歳の男性。下顎右側大歯の根管治療を繰り返し行うも治癒が得られないことから、根尖切除術を行うことになった。歯科医師から、逆根管充填も併せて行う説明があった。</p> <p>準備する使用材料はどれか。2つ選べ。</p> <p>a MTAセメント b 根管用シーラー c ガッタパーチャポイント d 強化型酸化亜鉛ユージノールセメント(EBAセメント)</p> <p>▶keyword: 根尖切除術、逆根管充填</p>	<p>解答: a, d</p> <p>根尖切除術は、根尖部の感染源や囊腫性病変などを外科的に除去し、歯根の先端を切除したのち、根管充填が不十分であった場合や、逆行性の感染の防止を目的としてその切断面に逆方向から根管を封鎖する手技(逆根管充填)である。逆根管充填材としては、生体親和性が高く封鎖性に優れるMTAセメントが近年広く用いられている。また、強化型酸化亜鉛ユージノールセメントも、長年使用されてきた逆根管充填材の一つである。一方、ガッタパーチャポイントや根管用シーラーは、通常の根管充填に用いる材料であり、逆根管充填には適さない。</p> <p>a ○ MTAセメントは、高い封鎖性と生体親和性を有し、逆根管充填材として世界的に推奨されている。石灰化誘導能もある。</p> <p>b × 根管用シーラーは、根管内に使用する接着補助材であり、逆根管充填のような外科的操作に対する強度や封鎖性は不十分である。</p> <p>c × ガッタパーチャポイントは、通常の根管充填に使用されるが、逆根管充填の封鎖には削合界面への適合性が悪く、封鎖性も不十分である。</p> <p>d ○ 強化型酸化亜鉛ユージノールセメントは、封鎖性や抗菌性があり、従来より逆根管充填に使用されてきた材料である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 137-139 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 195-196</p>										

午後問題	解答・解説
<p>207 75歳の女性。半年前に比べて固いものが食べにくくなったことを訴え来院した。口腔機能低下症が疑われたため、検査を行うことになった。器材の写真(別冊No.28)を別に示す。</p> <p>咬合圧検査で用いるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 咬合圧検査、デンタルプレスケール</p>	<p>解答: c</p> <p>口腔機能低下症は、7つの下位症状(口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口腔運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下)のうち、3項目以上該当する場合に診断される。</p> <p>a × ①は馬蹄形咬合紙であり、咬合接触検査で用いる。馬蹄形咬合紙を上下歯列で咬合させ、咬合紙と歯面にみられる色の濃淡で咬合接触部位を調べる。咬合接触が強ければ、咬合紙に穴が開くなど、咬合接触が強いかどうかを推測することもできるが、咬合圧の強さを数値的に評価することはできない。</p> <p>b × ②はバイトワックスであり、咬合接触検査で用いる。熱で軟化したバイトワックスを上下歯列間で咬合させ、穿孔部位を確認する。穴が開くなど、バイトワックスが抜けているところが咬合接触部位である。</p> <p>c ○ ③はデンタルプレスケールであり、咬合圧検査で用いる。上下歯列間に専用感圧フィルムを介した状態で最大の力で咬合させる。咬合圧の強さと左右側の咬合バランスを検査する。</p> <p>d × ④は口腔水分計ムーカスである。口腔乾燥の検査で用いられる。舌の先端から約1cm程度の位置に、センサー部を垂直に軽く押し当てて測定する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 54-57 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 392-396 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 71-72</p>
<p>208 部分床歯架製作時の精密印象採得の術式の流れを図に、使用する材料の写真(別冊No.29)を別に示す。</p> <p>図のAで使用するものはどれか。1つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 筋圧形成、精密印象採得</p>	<p>解答: d</p> <p>図のAは筋圧形成である。筋圧形成は棒状のコンパウンド、ラバーボウル、温湯、切り出しナイフ、トーチなどを使用する。</p> <p>a × ①はユーティリティワックスである。残存歯の鼓形空隙などに歯列に大きなアンダーカットがある場合、印象採得を行う前にユーティリティワックスなどでブロックアウトを行う。</p> <p>b × ②はシリコーンゴム印象材である。精密印象採得に使用する。シリコーンゴム印象材は硬化時間が長く、流れがよいため、患者の嘔吐反射などには十分配慮する。</p> <p>c × ③はシリコーンゴム用接着剤である。個人トレーの内面と外側辺縁部まで塗布する。</p> <p>d ○ ④はコンパウンドである。個人トレーの辺縁部の筋圧形成時に使用する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 157-161 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 160-165</p>

午後問題	解答・解説
<p>209 55歳の女性。下顎右側第一大臼歯と下顎右側第二大臼歯の痛みを主訴として来院した。歯科医師の診断の結果、抜歯を行った。抗血栓薬服用中のため、事前に製作した装置を用いて抜歯後の止血を行った。使用した装置の写真(別冊No.30)を別に示す。</p> <p>この装置による止血法はどれか。1つ選べ。</p> <p>a 圧迫包帯法 b 血管結紮法 c 焼灼法(凝固法) d 塞栓法(タンポン法)</p> <p>▶keyword: 止血床(止血シーネ)、出血性素因</p>	<p>解答: a</p> <p>局所止血処置には一時止血法と永久止血法がある。写真は一時止血法の一つである圧迫包帯法で用いる止血床(止血シーネ)である。抜歯後何らかの理由で(抗血栓薬服用中の患者や出血性素因の患者など)で止血するのが困難と予想される場合、あらかじめ印象採得を行い、抜歯部位にレジンあるいはセルロイドを用いて製作する。</p> <p>a ○ 圧迫包帯法は傷口の上から包帯をして持続的に出血点を圧迫する方法である。止血床(止血シーネ)は圧迫包帯法にあたる。</p> <p>b × 血管結紮法は止血剤で血管損傷部位を把持し、これに縫合糸をかけて結紮する方法で、永久止血法の一つである。比較的太い血管からの出血に対しては、一時止血法では止血困難なことがある。永久止血法を用いる。</p> <p>c × 焼灼法(凝固法)は出血点をピンセットや止血鉗子などでつかみ、電気メスやレーザーで凝固する方法で、永久止血法の一つである。</p> <p>d × 塞栓法(タンポン法)は抜歯窩の出血に対して滅菌ガーゼや止血薬などを詰め込む方法で、一時止血法の一つである。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 178-183</p>
<p>210 5歳の男児。舌がうまく挙上できず、構音障害もあるため、舌小帯切除術を行うことになった。</p> <p>準備する器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 鋭匙 b 舌圧子 c ペアン止血鉗子 d メッツェンバウム剪刀</p> <p>▶keyword: 小帯切除術、舌小帯切除</p>	<p>解答: c, d</p> <p>舌小帯の切除は、替刃メスやメッツェンバウム剪刀、レーザーメスなどを使用する。ペアン止血鉗子で小帯付着部をはさみ、舌を固定すると安全に処置できる。舌の伸展を確認し、切離が足りない場合はメッツェンバウム剪刀などで広げる。</p> <p>a × 鋭匙は、抜歯窩の腐爛や不良肉芽組織などの異物の除去に用いる。</p> <p>b × 舌圧子は、手術時に視野の確保や安全確保のため、舌を術野から排除するのに用いる。</p> <p>c ○ d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 206-208</p>
<p>211 矯正歯科治療に使用する材料の写真(別冊No.31A)と器具の写真(別冊No.31B)を別に示す。</p> <p>Aにアーチワイヤーを装着するのに使用するものはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: ブラケット、リガチャーインスルメント</p>	<p>解答: a, b</p> <p>写真Aはマルチブラケット装置の1つで、歯面に接着するブラケットである。</p> <p>a ○ ①はリガチャーインスルメントである。結紮線の結紮および切断後の断端の処理に用いる。</p> <p>b ○ ②はユーティリティプライヤーである。主にマルチブラケット装置でアーチワイヤーの装着・除去に用いる。</p> <p>c × ③はバンドコンタリングプライヤーである。バンドに息筒を付与したり辺縁を彎曲したりして歯面に適合させるのに用いる。</p> <p>d × ④はディスタルエンドカッターである。大白歯のチューブの遠心端から出た余分なアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するのに用いる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 152, 157-160 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 200-204</p>

午後問題	解答・解説
<p>212 9歳の女兒。初めてマルチブラケット装置を装着した。装置装着後の痛みへの対応として患者指導を行うことになった。適切なものはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 痛みは2~3日で消失します。 b 数日間は様子を見てください。 c 軟らかいものを食べるようにしてください。 d 痛みの強いところへ温めたタオルを当ててください。</p> <p>▶keyword: 矯正装置装着、疼痛、患者指導</p>	<p>解答: b, c 矯正装置装着後は矯正力が加わることで痛みを伴うため、痛みに対する指導を行う。 a × 痛みの軽減は通常2~3日程度であり、消失は1週間程度である。 b ○ c ○ d × 疼痛緩和を目的とする場合、冷たいタオルを頬に当てる、あるいは口の中に水を含ませる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 196 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 197-198</p>
<p>213 7歳の男児。自閉スペクトラム症であるという。初診時、歯科治療に対して抵抗があり診療継続が困難であったためトレーニングを行うことになった。適切な対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 複数人で声掛けを行う。 b 毎回同じパターン、同じ手順で行う。 c その日に提示したスケジュールを守る。 d 掲示物や音楽などはにぎやかにしておく。</p> <p>▶keyword: 自閉スペクトラム症</p>	<p>解答: b, c 障害者のトレーニングについては、レディネスにあった目標を立てることが大切である。そのうえで障害の特性と個性に合わせて対応を変えていくことが必要である。一般的に自閉スペクトラム症の人は行動パターンに規則性があることや、提示された時間が守られることで安心感を得られる傾向にあるので、トレーニングにおいても同じパターンで行い、スケジュールを守ることが大切である。 a × 複数人での声掛けは混乱を招くことがあるので、トレーニングは術者と患者の1対1で行うとよい。 b ○ c ○ d × 音や刺激に敏感な人が多いので、掲示物や展示物、院内の音楽や器具を置く音などにも配慮する。聴覚過敏の人についてはイヤーマフの装着なども検討する。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 227 歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 20-24, 57-59</p>
<p>214 81歳の女性。Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症と診断されている。訪問診療時に、歯科医師より口腔清掃をするよう指示があった。開口を嫌がり拒んだため、不安を取り除くために声掛けをして安心感を与えた。</p> <p>次に行う対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 鼻呼吸の抑制 b K-pointの刺激 c バイトブロックの使用 d 口唇からの脱感作の実施</p> <p>▶keyword: 開口誘導、K-point刺激法、脱感作</p>	<p>解答: b, c 開口が難しい患者への対応は、声掛けをしながら安心感を与え、無理やり口を開けないようにする。臼歯三角後縁のやや後方の内側に位置するK-pointを刺激することによって開口を誘導する。口腔組織に負担をかけないバイトブロックを使用して開口を保持する。 a × 鼻呼吸の抑制ではなく、鼻呼吸を促す。 b ○ c ○ d × 脱感作の実施は必要であるが、身体の遠い部分から手のひら→腕→肩→頬→口唇内というように正中に向かって行う。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 237-238 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 176-177</p>

午後問題	解答・解説
<p>215 歯科用エックス線撮影システムで使用する器具の写真(別冊No.32)を別示す。このシステムの特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 画質は劣化する。 b 蛍光増感紙を使用する。 c コントラストを強調できる。 d 画像を電子媒体に保存できる。</p> <p>▶keyword: 口内法エックス線撮影、イメージングプレート(IP)</p>	<p>解答: c, d 写真はイメージングプレート(IP)を示す。口内法エックス線撮影ではデジタル撮影に対応して、①固体半導体検出器であるCCDやCMOSと、②イメージングプレートの2種類が使用されている。我が国で多く使用されているのはイメージングプレートである。イメージングプレートでは専用のスキャナー(読み取り装置)での処理が必要になる。 a × レーザー光で二次元的にスキャンし、電気信号に変換し、パソコンに転送して画像化するため、画質は変わらない。 b × c ○ d ○</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版 16-18</p>
<p>216 12歳の小児の人形を使った一次救命処置(BLS)におけるCPRの写真(別冊No.35)を別示す。</p> <p>胸骨圧迫と人工呼吸の比率で正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 15回:1回 b 15回:2回 c 30回:1回 d 30回:2回</p> <p>▶keyword: 一次救命処置(BLS)、小児・乳児に対するBLS</p>	<p>解答: b 写真から2名の救助者に対応していることがわかる。小児や乳児では心停止発生前から血中酸素の量が低下している可能性が高いため、胸骨圧迫15回に対し2回の人工呼吸を行い呼吸の割合を増やす。ただし、救助者が1名しかいない場合は成人と同じく胸骨圧迫30回に対して2回の人工呼吸を行う。 a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 296</p>
<p>217 心電図波形について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a P波は心房の収縮を表している。 b T波は心房の拡張を表している。 c QRS波は心室の拡張を表している。 d 虚血性心疾患ではST部分に変化がみられることがある。</p> <p>▶keyword: 心電図</p>	<p>解答: a, d 心電図とは、心臓の収縮と拡張によって生じる電位変化(活動電位)の大きさと向き、時間的変化を、体表面に貼付した電極を通して経時的に記録した波形のことである。 a ○ P波は心房の電氣的興奮(収縮の準備)を示しており、実質的に心房収縮を反映する波形である。 b × T波は心室の電氣的回復(拡張の準備)を示す波形であり、心室の拡張を反映する波形である。 c × QRS波は心室の電氣的興奮(収縮の準備)を示し、心室の収縮に対応する波形である。 d ○ ST部分が基線よりも上昇あるいは低下(下降)している場合には、虚血性心疾患が疑われる。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 323 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 22-25 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 135</p>

午後問題	解答・解説														
<p>218 76歳の男性。介護老人保健施設に入所している。認知機能の低下はなく、食事は自立摂取している。介護職員より食事のむせがあるとのことと情報収集を行った。収集した内容を表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="164 338 521 608"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BMI</td> <td>21.3 kg/m²</td> </tr> <tr> <td>6か月の体重減少</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>食形態</td> <td>常食</td> </tr> <tr> <td>食事摂取方法</td> <td>自立</td> </tr> <tr> <td>食事時の状況</td> <td>むせ、食べこぼしや詰り込みはない</td> </tr> <tr> <td>食後の状況</td> <td>がらがら声になることがある</td> </tr> </tbody> </table> <p>ミールラウンドを実施する際に注意して観察する事項で最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 食の嗜好 b 食具の種類 c 食事時の姿勢 d 食べ物の認知</p> <p>▶keyword: ミールラウンド、食事指導</p>	項目	状況	BMI	21.3 kg/m ²	6か月の体重減少	なし	食形態	常食	食事摂取方法	自立	食事時の状況	むせ、食べこぼしや詰り込みはない	食後の状況	がらがら声になることがある	<p>解答: c</p> <p>ミールラウンド(食事の観察)は、施設や在宅へ訪問する際に、他職種とともに対象者の食事を観察し、その所見を多職種で話し合い、得た情報を踏まえ、よりよいケアプランやリハビリプランの提案につなげていくものである。</p> <p>BMIは普通体重で、6か月の体重減少もないが、食事の際にむせがあり、がらがら声になることがあるということから嚥下障害である可能性が高い。嚥下しやすい食形態や姿勢の保持が重要である。</p> <p>a × 対象者の嗜好に合った食事の提供は重要であるが、現時点では最も適切とはいえない。</p> <p>b × 食べこぼしや詰り込みはないため、現時点では最も適切とはいえない。</p> <p>c ○ 姿勢は摂食嚥下機能に大きく影響する。体幹の安定により頭部の支持が得られやすい。安全に食事をするために、姿勢やテーブルの高さ、位置などを調整する。</p> <p>d × 対象者は認知機能の低下はみられず、食事の自立摂取ができていることから、現時点では最も適切とはいえない。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 315 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 198-201 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 254-255</p>
項目	状況														
BMI	21.3 kg/m ²														
6か月の体重減少	なし														
食形態	常食														
食事摂取方法	自立														
食事時の状況	むせ、食べこぼしや詰り込みはない														
食後の状況	がらがら声になることがある														
<p>219 80歳の男性。要介護1である。歯科受診時の問診で、「最近食欲がなく普段の食事でもせる場合が多くある」という。口腔機能低下症を疑い、検査を行うことになった。行うのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 官能検査 b サクソントンテスト c 濾紙ディスク法 d オーラルディアドコキネシス</p> <p>▶keyword: 口腔機能低下症、スクリーニングテスト</p>	<p>解答: b, d</p> <p>口腔機能低下症は7つの下位症状(口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下)のうち3項目以上が該当する場合に診断される。</p> <p>a × 官能検査は、評価者の嗅覚によって口臭の強度を評価する口臭検査である。</p> <p>b ○ サクソントンテストは口腔乾燥を診断するための唾液量の検査である。</p> <p>c × 濾紙ディスク法は、4基本味(甘味、塩味、酸味、苦味)についてそれぞれ5段階の濃度の溶液を薄味から順に検査する味覚検査である。</p> <p>d ○ オーラルディアドコキネシスは、舌、口唇の運動の速度と、規則性、巧緻性を評価する舌口唇運動機能低下を診断するための検査である。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 187-188、193-198 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 392-396</p>														

午後問題	解答・解説
<p>220 75歳の男性。市が実施した介護予防教室でオーラルフレイルの可能性を指摘され、歯科を受診した。最近、やわらかいものばかりを好むようになり、過去半年で3kgの体重減少もみられたという。</p> <p>この患者への対応で適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>a 加齢による自然な変化のため経過観察とする。</p> <p>b 咀嚼能力だけ確認し、問題なければ対応しない。</p> <p>c 複数の口腔機能を評価し、必要に応じて訓練を検討する。</p> <p>d オーラルフレイル(OP-5)の診断基準に達してから支援を開始する。</p> <p>▶keyword: オーラルフレイル</p>	<p>解答: c</p> <p>対象者は、食の選択の変化・体重減少・高齢という複数のフレイル兆候を含んでおり、オーラルフレイルの可能性が高いと考えられる。オーラルフレイルは、5つの項目のうち2項目に該当する場合やディアドコキネシスの実施により評価する。さらに口腔機能低下症は、7つの下位症状(口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下)によって判断され、介入のタイミングとしても「プレフレイル」の段階が最も効果的とされている。歯科衛生士は、義歯の有無や一部の評価だけで判断するのではなく、包括的な視点で評価と支援を行う必要がある。</p> <p>a × 加齢により口腔機能は徐々に低下するが、「やわらかい物ばかり好む」「体重減少」といった変化はオーラルフレイルの兆候であり、放置せず早期対応が求められる。</p> <p>b × オーラルフレイルは複合的な機能低下によって起こる。咀嚼能力だけでなく、舌圧、発音、嚥下機能、唾液量など多面的な機能評価が必要である。</p> <p>c ○ オーラルフレイルの兆候がみられるため、咀嚼能力・舌圧・舌口唇運動などの評価を行い、評価結果をもとに早期に対応する必要がある。</p> <p>d × オーラルフレイルは「診断後」ではなく、「兆候が出た段階」での早期対応が重要である。診断基準に達してからではなく、プレフレイルの時点で予防的な介入(評価・訓練・生活指導など)を行うことで進行を防ぐ必要がある。</p> <p>文献: 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 70、392-396 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 94-96 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 84-85</p>

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生理学	6	問 5~7	問 114~116
生化学	3	問 8	問 117~118
病理学	5	問 9~11	問 119~120
微生物学	5	問 12~13	問 121~123
薬理学	5	問 14~16	問 124~125
口腔衛生学	15	問 17~23	問 126~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 24~31	問 134~141
歯科衛生士概論	7	問 32~35	問 142~144
臨床歯科総論	4	問 36~37	問 145~146
保存修復学	5	問 38~39	問 147~149
歯内療法学	5	問 40~42	問 150~151
歯周治療学	5	問 43~44	問 152~154
歯科補綴学	7	問 45~48	問 155~157
口腔外科学	7	問 49~51	問 158~161
歯科矯正学	7	問 52~55	問 162~164
小児歯科学	5	問 56~57	問 165~167
高齢者歯科学	5	問 58~60	問 168~169
障害児者歯科学	5	問 61~62	問 170~172
歯科予防処置	30	問 63~77	問 173~187
歯科保健指導	26	問 78~90	問 188~200
歯科診療補助	40	問 91~110	問 201~220
計	220		

(出題数は当社予測による)

国家試験直前まで頼りになる「直前マスター」シリーズ全4巻

歯科衛生士国家試験 直前マスター チェックシートでカンペキ!

令和4年版
出題基準
対応

歯科衛生士国試問題研究会 編

「直前マスター」シリーズは新しくなりました!

- 旧シリーズでは3冊に分かれていた主要三科(歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助)を1冊にまとめました。国家試験で重要な科目を、1冊でカバーできます。
- 重要ワードを赤色の文字で記載。赤い文字を消せるシートを入れてありますので、大切な箇所をしっかりと覚えたり確認できます。
- 重要なポイントをまとめた“Check Point”を要所に記載。効率よく学習が進みます。
- 国家試験対策の追い込み～試験直前に「直前マスター」シリーズはしっかりとご活用いただけます!

① 基礎科目

- A5判 / 220頁
定価 2,970円 (本体 2,700円+税 10%)

② 社会歯科

- A5判 / 120頁
定価 2,420円 (本体 2,200円+税 10%)

③ 臨床科目

- A5判 / 240頁
定価 3,300円 (本体 3,000円+税 10%)

④ 主要三科

- A5判 / 368頁
定価 4,950円 (本体 4,500円+税 10%)



歯科衛生士国家試験 ポイントチェック 1~5

歯科衛生士国家試験対策検討会 編

令和4年版歯科衛生士国家試験出題基準に完全準拠！

教科書に出てくる重要ポイントを、効率よく学べるように整理してあります。

- 1 人体の構造と機能**
歯・口腔の構造と機能
疾病の成り立ち及び回復過程の促進

●B5判 / 248頁 / 2色
定価 2,970円 (本体 2,700円+税10%)

- 2 歯・口腔の健康と
予防に関わる人間と社会の仕組み**

●B5判 / 176頁 / 2色
定価 2,310円 (本体 2,100円+税10%)

- 3 歯科衛生士概論 / 臨床歯科医学 1**

●B5判 / 200頁 / 2色
定価 2,420円 (本体 2,200円+税10%)

- 4 臨床歯科医学 2**

●B5判 / 208頁 / 2色
定価 2,420円 (本体 2,200円+税10%)

- 5 歯科予防処置論
歯科保健指導論
歯科診療補助論**

●B5判 / 296頁 / 2色
定価 3,300円 (本体 3,000円+税10%)

